

パブリックディスプレイ

取扱説明書

MultiSync V404-T

MultiSync V484-T

MultiSync V554-T

MODEL: V404-T, V484-T, V554-T

目次

安全のために必ず守ること	日本語 -1
ご使用前に	日本語 -7
付属品の確認	日本語 -8
設置	日本語 -8
壁掛け用や天吊り用として使用する場合	日本語 -9
ウォールマウントアダプターの使い方	日本語 -12
オプションボードを使用する場合	日本語 -13
別売の自立スタンドを使用する場合	日本語 -13
各部の名称	日本語 -14
リモコン	日本語 -17
リモコンの使用範囲	日本語 -18
リモコンの取り扱い	日本語 -18
接続	日本語 -19
外部機器を接続する	日本語 -19
電源を接続する	日本語 -19
本機の電源を入れる	日本語 -20
調節	日本語 -21
接続方法について	日本語 -22
機能	日本語 -26
パワーマネージメント機能	日本語 -26
アスペクト変更	日本語 -27
メディアプレーヤーでできること	日本語 -28
ピクチャーモード	日本語 -36
インフォメーション	日本語 -38
Plug&Play 機能 (DVI、DisplayPort、HDMI および VGA)	日本語 -38
画面調節 (OSD 機能)	日本語 -39
困ったとき	日本語 -59
故障かな?と思ったら...	日本語 -59
本機を廃棄するには (リサイクルに関する情報)	日本語 -64
保証とアフターサービス	日本語 -64
付録	日本語 -65
リモコン ID モード機能について	日本語 -65
マルチ接続について	日本語 -66
RS-232C リモートコントロール	日本語 -67
LAN コントロール	日本語 -68
外部制御	日本語 -74
ポイントズーム機能	日本語 -77
Proof of Play 機能	日本語 -78
Intelligent Wireless Data 機能	日本語 -78
PIP (Picture in picture) 機能の親画面と子画面の制限	日本語 -79
映像出力	日本語 -80
用語解説	日本語 -81
仕様	日本語 -83




安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
--	--	---	--------------------------------------

図記号の意味は次のとおりです。

	△ 記号は注意(警告を含む)をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜きディスプレイを安全な場所に移動する!!

異常のまま使用すると、ディスプレイの落下・火災・感電・火傷の原因となります。

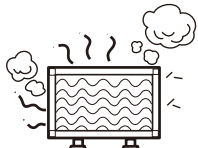
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ディスプレイを安全な場所に移動させ、販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く

地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策をおこなってください。転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したのですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

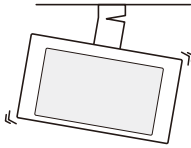
故障(画面が映らないなど)や煙、異常な発熱、変な音・においがするときは使わない



使用禁止

火災・感電・火傷の原因となります。

ディスプレイがぐらつく、またはスタンド部にひびや亀裂がある場合は近づかない



使用禁止

お買い上げの販売店か、工事専門業者にご連絡ください。

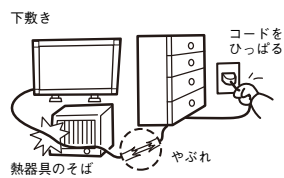
傾斜面や不安定な場所に置かない



禁止

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

電源コードを傷つけない



傷つけ禁止

重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

裏ぶたをはずさない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。

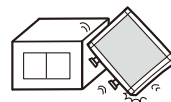
修理・改造をしない

けが・火災・感電の原因となります。



修理・改造禁止

キャビネットを破損したときは使わない



使用禁止

火災・感電の原因となります。

異物をいれない

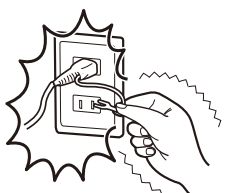
特にお子さまにご注意



禁止

火災・感電の原因となります。

アースリード線を挿入・接触しない



禁止

電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因となります。

正しい電源電圧で使用する

指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。

一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外で使用しないでください。本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。



指示

ポリ袋で遊ばない

特にお子さまにご注意
本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因となります。



禁止

液晶を口にしない

液晶パネルが破損し、液晶がもれ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりしないようにしてください。

中毒を起こすおそれがあります。万一口に入ってしまったら、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。



禁止

風呂場や水のかかるところに置かない



水ぬれ禁止

水などがディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因となります。

雷が鳴り出したら、電源コード・アンテナ線などには触れない

雷が鳴り出したら電源コード・アンテナ線には触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

据え付け、取り付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。



指示

工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

⚠ 注意

設置のときは次のことをご守りください。



床面に対して垂直置きになるように設置する

垂直置き

ななめ置きや水平置きに設置すると故障の原因となることがあります。



自立スタンド(別売)を使って設置するときスタンドを引きずらない

禁止

スタンドを取り付けた後でディスプレイを動かす場合は、スタンドが床に接した状態でディスプレイを引きずらないでください。筐体にストレスが加わり、筐体および前面ガラスに歪みが生じる場合があります。そのまま使用するとタッチパネルが反応しない原因となることがあります。

<設置時のご注意>

- ・ 移動するときスタンドを引きずらないように複数人で持ち上げてください。
- ・ タッチパネルが反応しないときは、筐体および前面ガラスに歪みが生じている可能性があります。タッチパネル内蔵液晶ディスプレイを一度持ち上げることで歪みが解消される場合があります。

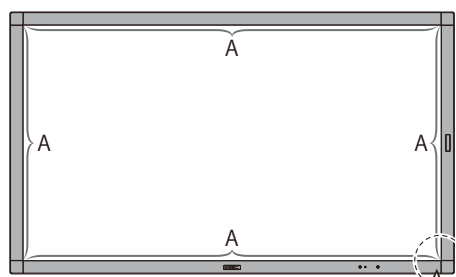
タッチパネルのお手入れ



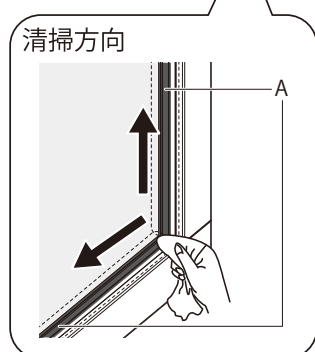
センサー部の定期的な清掃をお願いします

ほこりを取る

タッチパネル内蔵液晶ディスプレイは、赤外線センサーをベゼル内側の受光部で検知しています。センサー部に埃などが付着するとタッチパネルの反応が悪くなったりする場合がありますので、定期的な清掃をお願いします。



A：センサー部





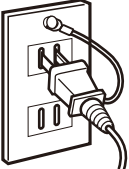

<お手入れの際の注意点>

- ・ センサー部が汚れた場合には、コーナーを始点に綿棒や乾いた布で軽くふきとってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用は避けください。
- ・ センサー部は傷つきやすいので、固いもので押しったりこすったりしないように、お手入れの際には十分注意してください。
- ・ センサー部は触指などにより汚れることがないようにご注意ください。

⚠ 注意

設置のときは次のことをお守りください。

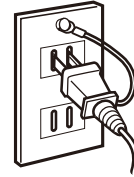
風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。

<p>布などで通風孔をふさがない</p>  <p>設置禁止</p>	<p>さかさまにしない</p>  <p>禁止</p>	<p>直射日光や熱器具のそばに置かない</p>  <p>設置禁止</p>
<p>屋外での使用禁止 本商品は屋内での使用を想定しています。屋外では使用しないでください。故障の原因となることがあります。</p>  <p>屋外での使用禁止</p>	<p>ガラスに衝撃を加えない ガラス面を硬いものでたたいたりして衝撃を加えないでください。破損してけがや故障の原因となることがあります。 破損した場合は割れたガラスに触れないでください。 また、ガラス表面をペンや鉛筆など鋭利なもので触れないでください。移動する際も、ガラスに手などが接触しないようにしてください。</p>  <p>禁止</p>	
<p>車載用禁止 車載用など移動用途には使用できません。故障の原因となることがあります。</p> <p>設置禁止</p>	<p>電源コードやケーブル類をつけたまま移動しない 火災・感電の原因となることがあります。電源プラグや機器間の接続をはずしたことを確認のうえ、移動してください。</p> <p>禁止</p>	<p>ディスプレイや置き台には乗らない ディスプレイや置き台には乗らないでください。また、キャスター付き置き台にディスプレイを設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。ディスプレイが倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない 温度・湿度が急激に変化する環境で使用しない 結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。</p> <p>設置禁止</p>	<p>狭い所に置かない</p> <p>設置禁止</p>	
<p>電源プラグを持って抜く コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。</p>  <p>プラグを持つ</p>	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。</p>  <p>ぬれ手禁止</p>	<p>お手入れの際は電源プラグを抜く 感電の原因となることがあります。</p>  <p>プラグを抜く</p>
<p>電源プラグを奥までさしこむ 電源プラグは奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。</p>  <p>抜けかかり禁止</p> <p>しっかり差し込んで</p>	<p>電源コードが容易に抜けるのを防止する 電源コードをディスプレイ本体付属のクランプとネジで固定することで本体の電源入力コネクタから容易に抜けるのを防止することができます。</p> <p>本機の使用に十分な電源容量が供給されることを確認する 電源コンセントに本器を接続するときには、使用に十分な電源容量が供給されていることを確認してください。</p>	
<p>長期間で使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグを抜く</p>  <p>プラグを抜く</p>	<p>過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない 本機のLANポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LANポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。</p> <p>設置禁止</p>	

⚠ 注意

アースリード線を接続する

本機は電源コードのアース端子を大地アースに接続することを前提に設計されているアースつき2芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース接続線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実にとってご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前におこなってください。また、アースを外す場合は、必ず電源コンセントから抜いてからおこなってください。



アースリード線
を接続せよ

キャビネットの通気口を掃除する

キャビネットの通気口がごみやほこりでふさがると故障の原因となることがあります。1年に一度はキャビネットの通気口を掃除してください。

特に冷却ファンを動作させて使用する場合は、通気口にごみやほこりが付着しやすくなりますので、月に一度以上は、通気口を掃除してください。



通気口の掃除

1年に一度は内部掃除を

内部にほこりがたまったらそのまま使うと、火災や故障の原因となることがあります。内部掃除は販売店にご依頼ください。



内部掃除

電源プラグのほこりなどは定期的に取り

火災の原因となることがあります。

1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。



ほこりを取る

推奨の溶剤でお手入れする

ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・ひび割れしたり、塗装がはげる原因となることがあります。(化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。)また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットおよびスタンドが変色したり、変質・ひび割れるなどの原因となることがあります。

パネル表面のお手入れに溶剤を使用される場合は水、エタノール、イソプロピルアルコールを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。推奨以外の溶剤(酸、アルカリ、アセトン等)は使用しないでください。溶剤類や水滴等がディスプレイ内部に入ったり表示面以外のディスプレイ表面に付着すると、商品を破壊するおそれがありますのでご注意ください。

タッチパネルのガラス板は、反射防止を目的としたAGコーティング処理が施されているため、表面にほこりや汚れがついているときは、やらかい布でやさしく拭いてください。ティッシュや硬いもので拭かないでください。また、表面が変色したり、不透明になる原因となりますので、タッチパネルのお手入れにベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対使用しないでください。



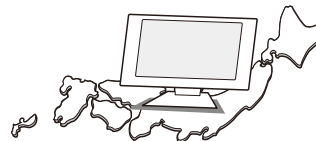
使用禁止

ディスプレイの上手な使い方

日本国内専用です

この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。
日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
またこの商品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。

This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.



For use in Japan only



国内専用

キャビネットのお手入れ

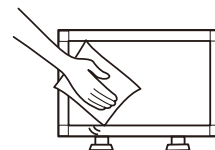
お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
溶剤をご使用の際は「推奨の溶剤でお手入れする」にて使用できる溶剤をご確認ください。



プラグを抜く

液晶パネルのお手入れ

パネル表面は傷つきやすいので、硬いもので押しったりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面は触指などにより汚れることのないようご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふき取ってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。



上手な見方

明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。
また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

⚠ 重要なお知らせ

残像について

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが、故障ではありません。

残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。

「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

また、ディスプレイを使用しないときは、パワーマネージメント機能(パワーセーブ)やスケジュール機能を使ったり、リモコンや電源ボタンを操作してディスプレイをスタンバイ状態にすることをおすすめします。

ご使用前に

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

⚠ 注意

添付のケーブルを使用してください。ミニD-Sub 15ピン、USB、DVIはシールドタイプでコア付きケーブルを使用してください。HDMI、DisplayPort、D-Sub 9ピン、AUDIOはシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品



グリーンマーク

JIS C 0950 (通称 J-Moss) とは、電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法を規定した日本工業規格です。特定の化学物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE)の含有状況により、次の2種類の表示マークがあります。

- ・含有マーク：特定の化学物質が含有率基準値を超える製品に付与するマーク
 - ・グリーンマーク：同化学物質が含有率基準値以下(但し除外項目あり)である製品にメーカーが任意で表示することができるマーク
- 本製品に表示されているマークは、グリーンマークです。

製品の情報は、<https://www.nec-display.com/jp/environment/j-moss.html> をご覧ください。

AdobeおよびAdobeロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

Windowsは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

DisplayPortおよびDisplayPortロゴは、Video Electronics Standards Associationの米国その他の国における商標または登録商標です。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴはHDMI Licensing Administrator, Inc.の米国その他の国における商標または登録商標です。

PJLinkおよびPJLinkロゴは、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の日本、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。

CRESTRON、CRESTRON ROOMVIEWはCrestron Electronics, Inc.の米国その他の国における登録商標または商標です。

MultiSyncはNECディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。

その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。microSD ロゴ、microSDHC ロゴはSD-3C, LLC の商標です。



本製品に含まれるGPL/LGPL等適用ソフトウェアのライセンスについて

本製品にはGNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「about GPL&LGPL」フォルダー内のreadme.pdfをご参照ください。

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。

お知らせ 液晶ディスプレイに関するご注意

液晶ディスプレイは、精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットが見えることがあります。これは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。本製品のドット抜けの割合は、0.00016%以下です。

本製品は、ISO9241-307基準に従い、ドット抜けの割合基準値は1サブピクセル(副画素)単位で計算しております。

【注】一般的な言い方として「画素」を「ドット」という言葉で表現しておりますが、ISO9241-307に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル(pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル(sub pixels)」となります。つまり、「画素」は実体のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は添付品シートを参照ください。
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご確認ください。

設置

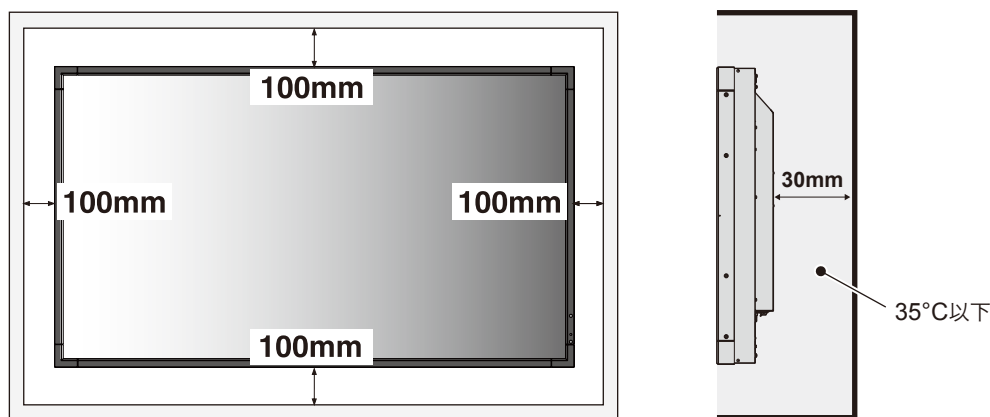
設置する前に、以下の注意事項をお読みになり、正しく安全に設置してください。

⚠ 注意

- ・ 設置する際は、お買い上げの販売店までご相談ください。
- ・ 移動や設置および取り付けの際は、十分な安全を確保できる人数(必ず2名以上)でおこなってください。落下してけがの原因となることがあります。

■ 据付条件

熱がこもるのを防ぐため、狭い場所(壁埋め込みなど)に設置する場合は、ディスプレイの周囲は下図のように壁から離してください。



お知らせ

- ・ 本機の保証環境温度は35°Cです。ケース等に入れて使用される場合は、ケース内部の温度が35°C以下となるよう、ケースにファンを取り付ける、通風口を設けるなどの処置をおこなってください。なお、本機は温度センサーおよび冷却ファンを内蔵し、保証温度を超えると自動的に冷却ファンが動作します。また、冷却ファンが動作しても保証温度を超える環境になると「警告」が表示されます。「警告」が表示された環境での使用は故障の原因となることがありますので、主電源を切ってください。
- ・ 壁やカーテンなどの周りの状況によっては、内蔵スピーカーの音質や音の広がりなどが変わり、内蔵スピーカーからの音が聞こえにくくなる場合があります。

■ 冷却ファン

本機内蔵の冷却ファンは動作保証温度を超えると自動的に動作するほかに、ファン制御[OSDメニュー]→[保護設定]→[ファン制御]で常時動作するよう設定することができます。オプションボードを装着して使用する場合は、本機の動作保証温度内でもオプションボードの冷却のため一部の冷却ファンが自動的に動作する場合があります。ケース内の設置や、液晶画面の表面にアクリル板などをつけてご使用になる場合は本機の内部温度上昇を内部温度[OSDメニュー]→[保護設定]→[内部温度]で確認の上、必要に応じて冷却ファンの動作設定を変更してください。

壁掛け用や天吊り用として使用する場合

■ 設置方法

1. 机の上のような平らな場所にマットや毛布など柔らかいものを敷きます。

お知らせ

・ 必ずディスプレイより大きい場所の上に置いてください。

⚠ 注意

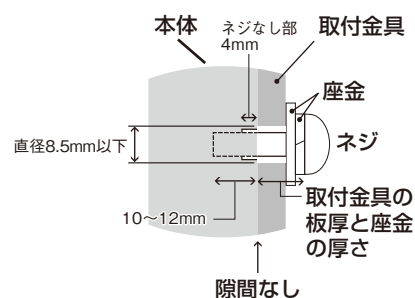
・ 取り付け時に、本体に手を置いたり、力をかけたりしないでください。ディスプレイが変形するおそれがあります。

2. ディスプレイをその上に置きます。

3. 市販の取付金具を取り付けてください。

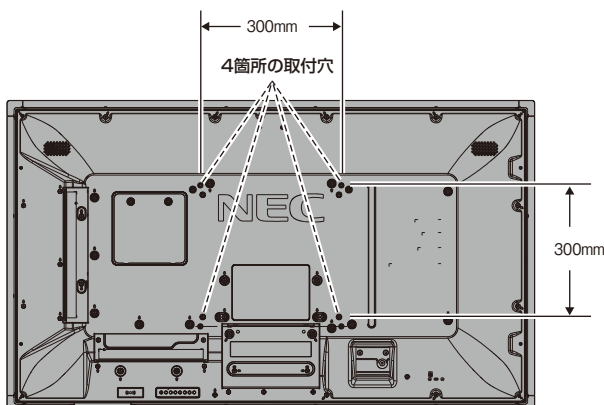
⚠ 注意

- ・ 市販の取付金具は、本機を支えるのに十分なものを選んでください。
- ・ 本機の質量は「仕様」を参照ください。
- ・ ディスプレイへの金具の取り付けには、M6ネジ(長さは取付金具の板厚と座金の厚さ+10～12mm)を使用し、しっかりと締めてください。(締付トルク 470～635N・cm)
- ・ 取付穴は背面に4個あります。取り付けの際は上下左右均等に取り付けてください。(推奨取り付け例は下記をご参照ください)
- ・ 取付金具のネジ穴は直径8.5mm以下にしてください。
- ・ ディスプレイの取付面と取付金具との間には隙間が無いようにしてください。



お願い

● 液晶ディスプレイをマルチスクリーン構成で設置し長時間使用した場合、本体の内部温度の変化により液晶ディスプレイが若干膨張することがあります。隣り合う液晶ディスプレイとの間に1mm以上の隙間をあけて設置されることをおすすめします。



⚠ 注意

取り付け、取り外し方法の詳細は、市販の壁掛け用や天吊り用金具の取扱説明書を参照してください。

■ 壁掛け・天吊り時の注意事項

⚠ 注意

壁掛け・天吊りの設置をする前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

- ・ お客様による壁掛けや天吊りの設置は絶対におやめください。壁掛けや天吊りの設置はお買い上げ販売店か工事専門業者にご依頼ください。
- ・ 壁や天井の構造や強度により取り付けできない場合がありますので、取り付け場所については工事専門業者または販売店にご相談ください。

お願い

設置後のメンテナンス

- ・ ねじのゆるみや部品のすれ・ゆがみなど異常や不具合が発見された場合には、すぐに工事専門業者または販売店に修理を依頼してください。
- ・ 環境によっては経年変化で取り付け部などの強度が不足するおそれがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、メンテナンスをおこなってください。

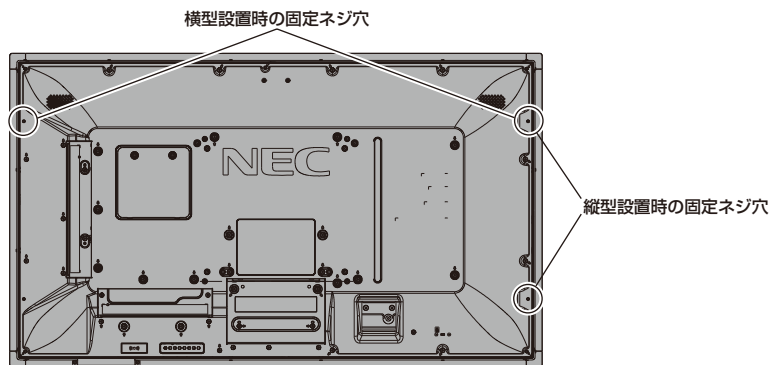
なお、据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損害については、弊社は一切責任を負いません。設置の依頼にあたっては以下の注意点を設置業者にご提示ください。

■ 落下防止対応のお願い

ディスプレイを壁掛けや天吊りで設置する場合は、VESA 規格に準拠した壁掛け・天吊り金具を使用し、さらに落下防止用ワイヤーを設置してください。

⚠ 注意

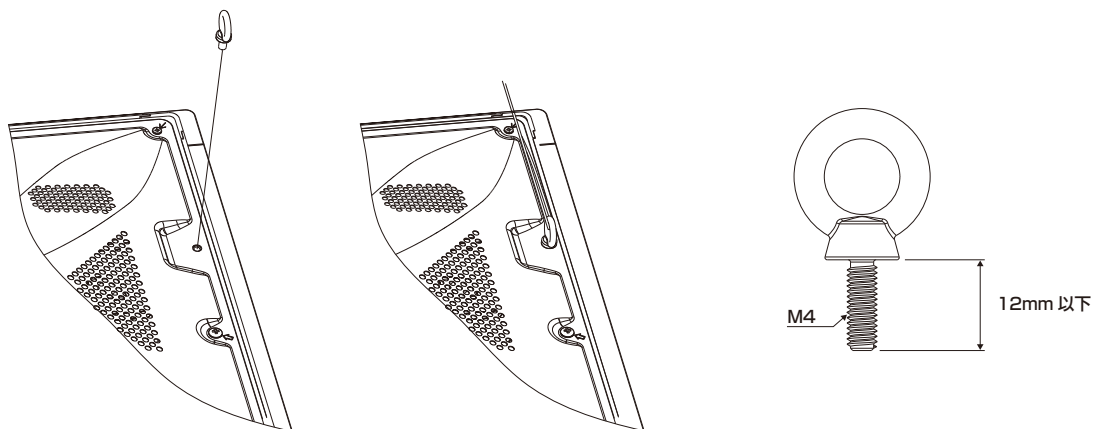
- ・ 落下防止用ワイヤーのみでの壁掛け設置・天吊り設置は絶対におこなわないでください。
- ・ 建物や構造物の丈夫な箇所とディスプレイの所定の箇所を市販のフック、アイボルト、金具などを用いて落下防止用ワイヤーで接続してください。
- ・ 市販のフック、アイボルト、金具、ワイヤーはディスプレイを保持するのに十分強度のある物をご使用ください。
- ・ 落下防止用ワイヤーは少したるませるように設置してください。



設置の際はスピーカー取り付け穴の2箇所を固定してください。(締付トルク 139～189N・cm)

■ ディスプレイ本体にワイヤーを固定する場合

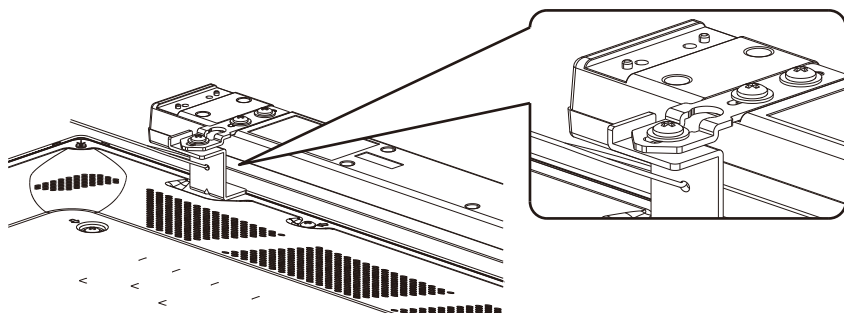
アイボルトを使用してワイヤーを固定します。



■ スピーカーが設置されたディスプレイにワイヤーを固定する場合(横型設置時のみ)

スピーカー取付金具を使用してワイヤーを固定します。

スピーカー背面取り付け時



■ 取り付け場所について

⚠ 注意

- ・ 本機と取付金具の総重量を恒久的に十分に保持できる、強度のある場所を選んでください。強度の不十分なところに設置すると、落下して重大事故の原因となることがあります。
- ・ 人が容易にぶら下がったり、寄り掛かれるような場所、頭や目がぶつかってしまうような場所、振動、衝撃の加わる場所、または、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因となります。
- ・ 荷重は必ず梁などの堅牢な構造材で受けるようにし、確実に取り付けてください。
- ・ 強度が不十分な設置面への直接取り付けはおこなわないでください。

お願い

- 設置の場所や状態によって本機内部に熱がこもらないように、空調や通風には十分配慮してください。

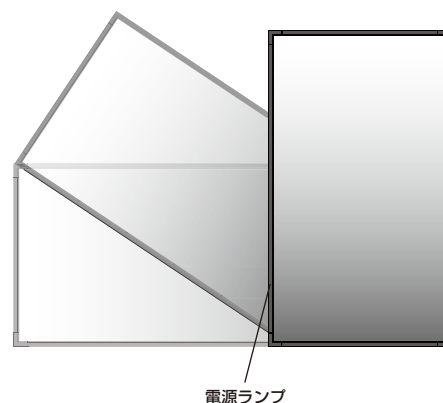
■ 取付金具について

⚠ 注意

- ・ 市販品は必ず VESA 規格に準拠した取付金具を使用してください。
- ・ 金具取り付け面の強度を十分確認して設置してください。
- ・ 市販の取付金具は、本機を支えるのに十分なものを選んでください。
- ・ 取り付け前に、強度など安全性の確認をおこなってください。
- ・ 金具の一部がディスプレイの通風口をふさがないようにご注意ください。
- ・ 取り付け方法、安全な設置方法の詳細は、市販の取付金具の取扱説明書をご参照ください。

■ 取り付け向きについて

本機を縦型の状態で使用するときには、必ず正面から見て左側面を上側にしてください。上下逆さまでの設置はできません。また表示に異常が出る場合がありますので、本機を画面を上向きや下向きにした状態で継続的に使用することは避けてください。



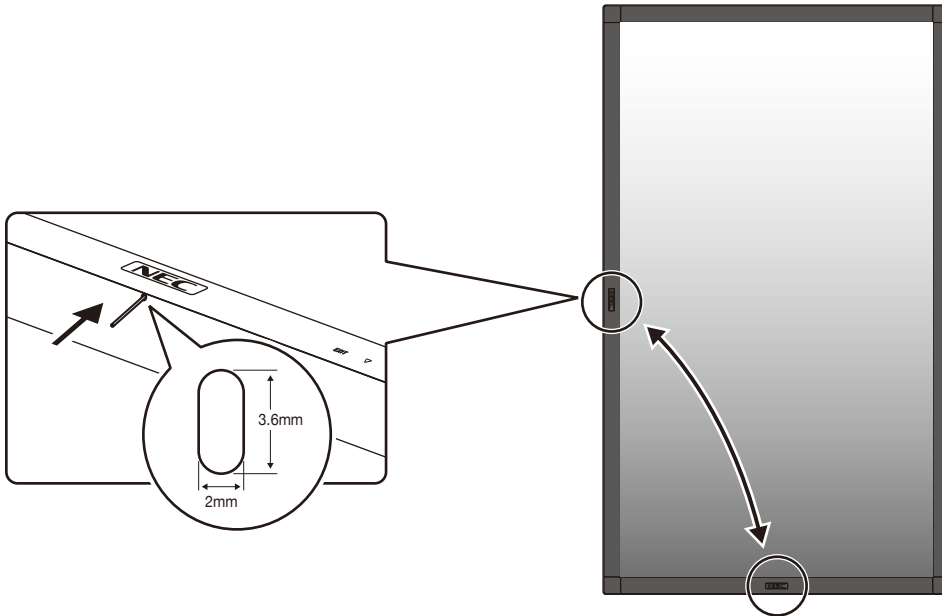
■ NECロゴオーナメント位置の変更

取り外し方法：

NECロゴオーナメント下部の穴に細い棒を刺し、NECロゴオーナメントを下から押して取り外します。

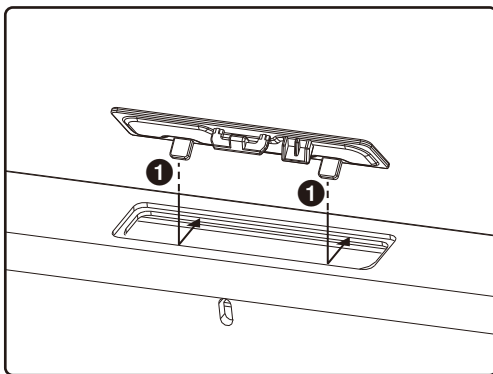
⚠ 注意

- ・ NECロゴオーナメントが勢いよく外れることがあるのでご注意ください。



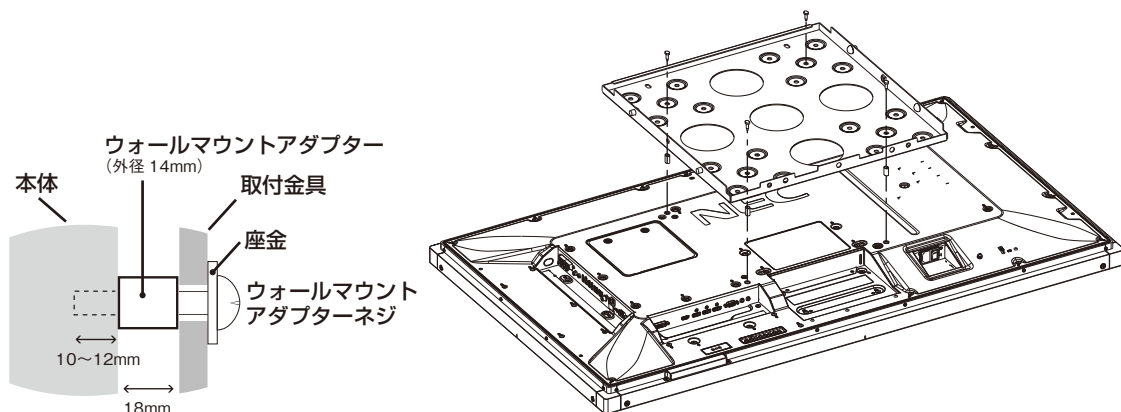
取り付け方法：

- ①のように爪をベゼルにひっかけ、NECロゴオーナメントを押して取り付けます。



ウォールマウントアダプターの使い方

取付金具がディスプレイ本体の放熱口をふさぐ形状の場合に、付属のウォールマウントアダプター(外径 14mm)をお使いください。取り付けの際は、付属のウォールマウントアダプターネジをお使いください。ディスプレイ本体への挿入量が10～12mmになるように座金などを用いて調節してください。



オプションボードを使用する場合

1. 液晶ディスプレイの主電源を切ってください
2. 机の上のような平らな場所にマットや毛布など柔らかいものを敷きます。

お願い

- 必ずディスプレイより大きい場所の上に置いてください。

3. ディスプレイをその上に置きます。
4. オプションボード用スロットのネジを外し(図1)、オプションスロットカバーを取り外します。
5. オプションボードをセットします。取り外したネジで固定します(図2)。
(締付トルク：139～189N・cm)

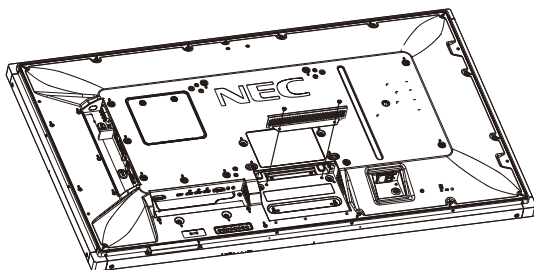


図1

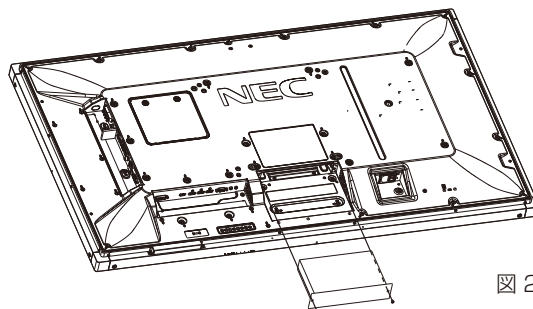


図2

警告

- オプションボードは取り外したネジを使用し、しっかりと固定してください。固定せずに使用すると、落下して重大事故の原因となります。

お願い

- オプションボードをネジで固定する前に、オプションボードに無理な力を加えて前後左右に動かさないでください。故障の原因となります。
- オプションボードの上下を確認してから、オプションボードをセットしてください。

別売の自立スタンドを使用する場合

自立スタンドの取り付け

注意

- スタンドの取り付けは、十分な安全を確保できる人数(必ず2名以上)でおこなってください。落下してけがの原因となることがあります。
- 機器の内部を破損する可能性がありますので、スタンドに付属のネジをお使いください。
- スタンド取り付け時、本体とスタンドの間に手を挟まないように注意してください。

本体をマットや毛布など柔らかいものを敷いた上にディスプレイをパネル面が下になるように置いてください。

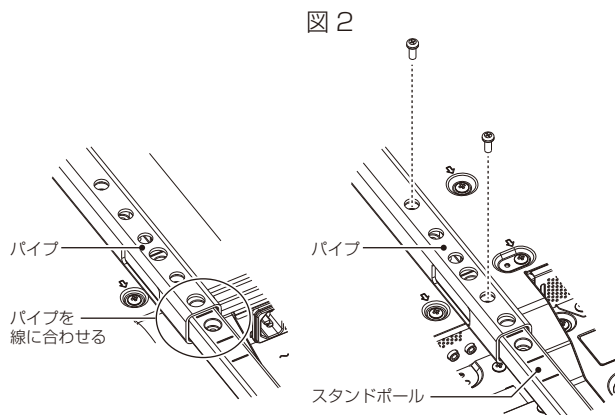
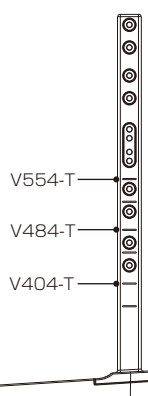
別売のスタンド、ST-401 をご使用ください。

スタンドの取り付けにはスタンドの取扱説明書を良くお読みください。

スタンドの高さを調節する場合

図1

1. パイプ下部をスタンドポールに合わせ、設置高さを決めます。(図1)
2. 高さを決めたらスタンドに付属のネジでスタンドポールを2箇所固定します。
スタンドポールは必ず2箇所を固定してください。(図2)



注意

- 誤った位置にディスプレイを固定すると転倒の原因となるおそれがあります。

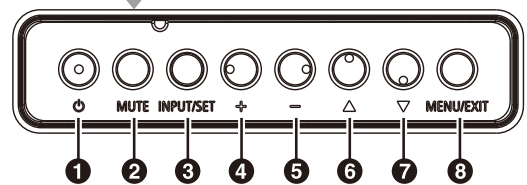
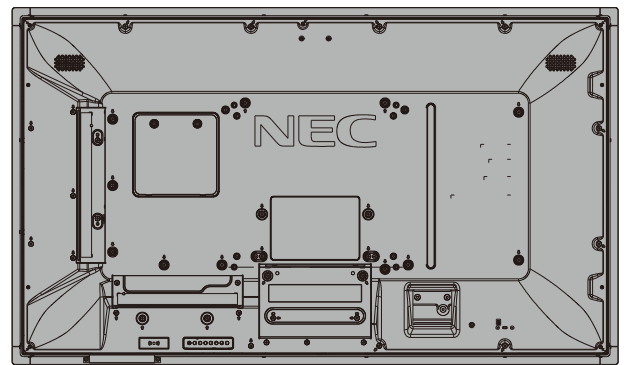
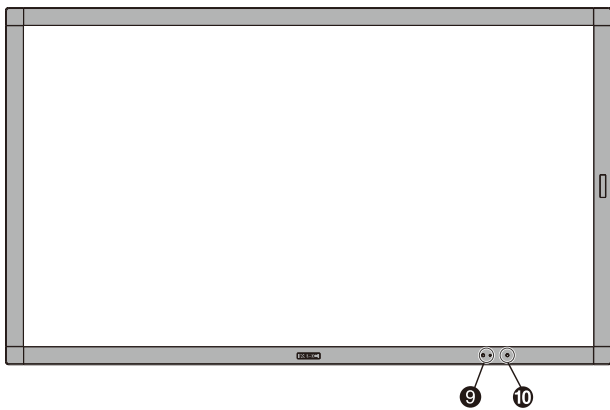
お願い

- 自立スタンドを使用する場合は、床置きしないでください。机等に置いて使用するか、壁掛け金具をご使用ください。
- 一時的にディスプレイを平置きする場合は、パネル面が下になるように置くことをおすすめします。パネル面を上向きに置くと、筐体にストレスが加わり、筐体および前面ガラスに歪みが生じる場合があります。そのまま使用するとタッチパネルが反応しなくなることがあります。

注意

- スタンドを取り付けた後でディスプレイを動かす場合は、スタンドが床に接した状態でディスプレイを引きずらないでください。筐体にストレスが加わり、筐体および前面ガラスに歪みが生じる場合があります。そのまま使用するとタッチパネルが反応しない原因となることがあります。

各部の名称



① 電源ボタン(⏻)

電源をオン/スタンバイするときに押します。

② ミュートボタン(MUTE)

音を消します。もう一度押すと元の音量で音がでます。

③ 入力切替ボタン(INPUT/SET)

INPUT: 以下の映像入力を切り替えます。
[DVI]、[HDMI1]、[HDMI2]、[DisplayPort 1]、[DisplayPort 2]、
[VGA (YPbPr/RGB)]、[VIDEO]、[MP]、[OPTION]*
名称は工場出荷時のものです。

SET: OSD画面の表示時には、OSD画面で調節した内容を決定します。
(OSD画面表示時は、リモコンのSET/POINT ZOOM ボタンと同じ機能になります。)

*対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

④ プラスボタン(+)

主に2つの動作があります。

1. OSD画面が表示されていないときに押すと、音量が大きくなります。
2. OSD画面で調節項目を選択し、このボタンを押して設定値を調節します。

⑤ マイナスボタン(-)

主に2つの動作があります。

1. OSD画面が表示されていないときに押すと、音量が小さくなります。
2. OSD画面で調節項目を選択し、このボタンを押して設定値を調節します。

OSDはオンスクリーンディスプレイの略称です。

⑥ アップボタン(▲)

OSD画面が表示されていないときに押すと、OSD画面を表示します。
OSD画面が表示されているときは、調節項目を選択します。

⑦ ダウンボタン(▼)

OSD画面が表示されていないときに押すと、OSD画面を表示します。
OSD画面が表示されているときは、調節項目を選択します。

⑧ EXIT ボタン(MENU/EXIT)

OSD画面が表示されていないときに押すと、OSD画面を表示します。
OSD画面が表示されているときは、ひとつ前のOSD画面に戻ります。

⑨ リモコン受光部/電源ランプ

リモコン受光部:

リモコンの信号受光部です。

電源ランプ:

電源ボタン入 : 青色点灯*

主電源スイッチ切時 : 消灯

スケジュール待機時 : 緑色と橙色交互に点滅*¹

異常検出時(自己診断) : 赤色点滅または赤色と青色の点滅

* 電源ランプ[OSDメニュー]→[コントロール]→[電源ランプ]でオフが選択されている場合は電源ランプは消灯となります。

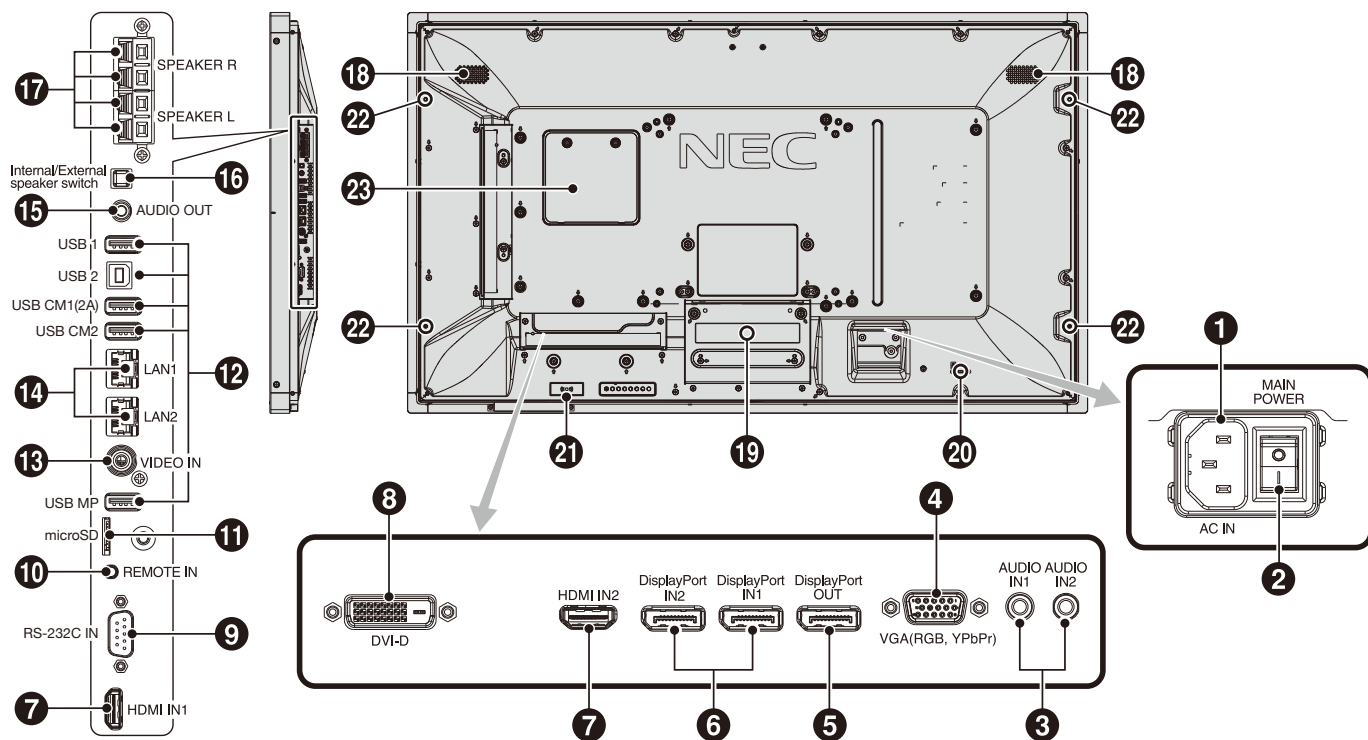
*¹ スケジュールランプ[OSDメニュー]→[コントロール]→[電源ランプ]→[スケジュールランプ]でオフが選択されている場合は電源ランプは消灯となります。

お知らせ

- 電源ランプについては、本取扱説明書の機能「パワーマネージメント機能」を参照ください。

⑩ 外光センサー

周囲の明るさを検知するセンサーです。外光センサーで設定1または設定2を設定した場合に使用します。設定1または設定2選択時には障害物の陰にならないよう注意してください。



① 電源入力コネクタ(3極アース端子付き)

電源コードを接続します。

② 主電源スイッチ

主電源をオン/オフするときに押します。 | : オン ○ : オフ
出荷時はオフになっています。

③ オーディオ入力コネクタ(ステレオミニジャック)

コンピューター、ビデオプレーヤー、DVD プレーヤーなどの音声出力コネクタと接続します。

④ VGA入力コネクタ(ミニD-SUB 15ピン)

アナログ出力のコンピューターの映像出力コネクタと接続します。複合映像同期信号(シンクオングリーン)にも対応しています。YPbPrを接続することもできます。その場合は[OSDメニュー]→[マルチ入力]→[ターミナルモード]→[VGAモード]の設定をおこなってください。YPbPrを接続する場合は適した信号ケーブルをお使いください。不明な点は販売店にお問い合わせください。

⑤ DisplayPort出力コネクタ(DisplayPort)

他のディスプレイのデジタル映像インターフェースのDisplayPort入力コネクタと接続します。DisplayPort IN1の信号を出力します。

⑥ DisplayPort入力コネクタ(DisplayPort)

他のディスプレイのデジタル映像インターフェースのDisplayPort出力コネクタと接続します。

⑦ HDMI入力コネクタ(HDMI)

デジタル映像インターフェースのHDMI規格に準拠した機器と接続します。

⑧ DVI入力コネクタ(DVI-D)

デジタル出力のコンピューターの映像出力コネクタと接続します。

⑨ RS-232C入力コネクタ(D-SUB 9ピン)

コンピューターを接続します。詳細は本取扱説明書の付録「RS-232Cリモートコントロール」を参照ください。

⑩ リモート入力コネクタ(ステレオミニジャック)

コネクタに別売のコントロールキットのセンサーユニットを接続すると、センサーユニット上のリモコン受光部を利用してリモコンで制御できます。

お願い

- 指定のもの以外は使用しないでください。

⑪ microSDカードスロット

microSDメモリーカードを挿入します。microSDメモリーカードに保存されている画像または動画を表示することができます。詳細は本取扱説明書の機能「メディアプレーヤーでできること」を参照ください。microSDカードスロットカバーの取付については「メディアプレーヤーでできること」内の「microSDカードスロットカバーの取り付け」を参照ください。

⑫ USBポート

USB1 : USB ダウンストリームポート(USB Type-A)
USB 機器を接続します。

USB2 : USB アップストリームポート(USB Type-B)
コンピューターを接続します。タッチパネルを使用する場合や接続した機器でディスプレイを制御する場合にはこのポートをご使用ください。

USB CM1 (2A) : 電源供給専用のポートです。本ポートから供給できる電流は最大2Aまでです。
このポートを使用した通信はできません。

USB CM2 : サービスポート(カスタマーサービス用)使用できません。
USB MP : USBストレージデバイスを接続します。またUSBストレージデバイスに保存されている画像または動画を表示することができます。詳細は本取扱説明書の機能「メディアプレーヤーでできること」を参照ください。
MPはMedia Playerの略称です。

13 ビデオ入力コネクタ(RCA- フォノ)

14 LANポート(RJ-45)

HTTPサーバー機能を利用し、コンピューターでWebブラウザを使用して本機のLAN設定を制御することができます。

複数台のディスプレイのマルチ接続(数珠つなぎ)による制御が可能です。

お知らせ

- ポートをひとつ使用する場合は、LAN1のポートを優先してご使用ください。
- マルチ接続(数珠つなぎ)の詳細は本取扱説明書の付録「マルチ接続について」を参照ください。

15 オーディオ出力コネクタ(ステレオミニジャック)

選択されている音声を出力します。ヘッドホン用端子ではありません。

16 内蔵スピーカーと外部スピーカーの切り替えスイッチ

⏮：内蔵スピーカー ⏭：外部スピーカー

お願い

- 内蔵スピーカーと外部スピーカーの切り替えは、主電源をオフした状態でお願いいたします。

17 スピーカー出力端子

外部スピーカーを接続します。

入力端子の極性は赤がプラス(+)、黒がマイナス(-)です。

お願い

- 弊社推奨の専用スピーカーをご使用ください。

18 内蔵スピーカー

19 オプション用スロット

スロット2タイプ対応のオプションボードが装着できます。

お知らせ

- 対応可能なオプションボードについては販売店にお問い合わせください。

20 セキュリティスロット

セキュリティスロットは、市販のケンジントン社製セキュリティケーブルに対応しています。

製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

21 無線通信センサー

本機の情報や設定を無線で送受信するセンサーです。詳細は本取扱説明書の付録「Intelligent Wireless Data機能」を参照ください。

設定は[OSDメニュー]→[コントロール]→[INTELLI.WIRELESS DATA]でおこないます。

22 オプションスピーカー用取り付け穴

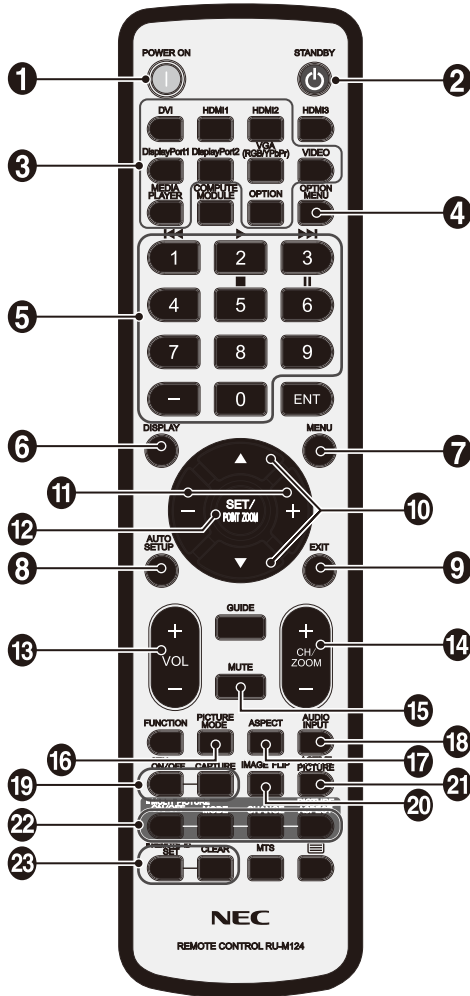
お知らせ

- 対応可能なオプションスピーカーについては販売店にお問い合わせください。

23 メンテナンス用スロット

販売店または工事専門業者以外はメンテナンス用スロットを開けないでください。

リモコン



1 POWER オンボタン(POWER ON)
電源をオンにします。

2 STANDBY ボタン(STANDBY)
ディスプレイをスタンバイ状態にします。

3 入力切替ボタン
入力信号を選択します。
MEDIA PLAYERのみ入力信号名称はMPと表示されます。
入力信号の名称は工場出荷時のものです。

4 オプションメニューボタン(OPTION MENU)*1

5 数字ボタン
パスワードやリモコンIDの番号入力に使用します。
以下の数字ボタンをCEC[OSDメニュー]→[コントロール]→[CEC]
やメディアプレーヤー機能の操作に使用します。
1◀◀ 2▶▶ 3▶▶▶ 5■ 6■

6 DISPLAY ボタン(DISPLAY)
画面情報を表示します。
リモコンロック設定 [OSDメニュー]→[コントロール]→[リモコン
ロック設定]でボタンをロックした場合、DISPLAY ボタンを5秒以上
押し続けるとロックを解除できます。

7 MENU ボタン(MENU)
OSD画面をオン/オフします。

8 AUTO SETUP ボタン(AUTO SET UP)
オートセットアップメニュー画面を表示します。

9 EXIT ボタン(EXIT)
ひとつ前のOSD画面に戻ります。

10 アップボタン(▲) ダウンボタン(▼)
OSD画面の調節項目の選択、OSD画面の表示位置の調節、マルチ画面
面を使用している際に選択画面の位置の調節などに使用します。

11 マイナスボタン(-) プラスボタン(+)
OSD画面で選択した項目の調節、OSD画面の表示位置の調節、マルチ画面
機能使用時の選択画面の位置およびサイズの調節などに使用します。

12 SET/POINT ZOOM ボタン(SET/POINT ZOOM)
SET : OSD画面で調節した内容を決定します。
POINT ZOOM : OSD画面が表示されていないときに、ポイントズーム
機能を有効にします。詳細は本取扱説明書の付録「ポイントズーム機能」
を参照ください。

13 音量調節マイナスボタン (VOL -)
音量調節プラスボタン (VOL+)
音量の大/小を調節します。

14 チャンネル/ズーム調節マイナスボタン(CH/ZOOM-)
チャンネル/ズーム調節プラスボタン (CH/ZOOM+)
選択画面のサイズや、ポイントズーム機能で画像を拡大/縮小します。
ポイントズームの詳細は本取扱説明書の付録「ポイントズーム機能」
を参照ください。

15 ミュートボタン(MUTE)
音を消します。もう一度押すと元の音量で音がでます。

16 ピクチャーモードボタン(PICTURE MODE)
ピクチャーモードを選択します。
STANDARD、sRGB、CINEMA、CUSTOM1、CUSTOM2、
HIGHBRIGHT、SVE-(1-5) SETTINGSから選択できます。
ピクチャーモードについての詳細は本取扱説明書の機能「ピクチャー
モード」を参照ください。

17 アスペクトボタン(ASPECT)
画像のアスペクトを[標準]、[フル]、[ワイド]*、[ダイナミック]*、[1:1]、
[ZOOM]から選択します。
* HDMI1、HDMI2、VGA(YPbPr)入力の場合のみ。

18 音声入力切替ボタン(AUDIO INPUT)
音声入力を各映像入力ごとに切り替えることができます。
[IN1]、[IN2]、[HDMI1]、[HDMI2]、[DisplayPort1]、
[DisplayPort2]、[OPTION*1]、[MP]から選択します。
[OPTION] 音声入力に対応するオプションボードが搭載されている
場合のみ選択可能です。

19 画面静止ボタン(STILL)
ON/OFF ボタン : スチル機能をオン/オフします。
CAPTURE ボタン : 静止画面を更新します。

お知らせ

- スチル機能が動作している場合はクローズドキャプションは動作
しません。
- スチル機能の動作時に映像反転でオフ以外を選択した場合、マル
チ画面モード、テキストティッカー、スクリーンセーバー、ポイント
ズーム機能、入力切替のスーパー、タイルマトリクスを実行すると
スチル機能は解除されます。
- 入力信号にOPTIONを選択している場合は、対応するオプション
ボード装着時のみ切り替わります。対応可能なオプションボード
については販売店へお問い合わせください。

20 映像反転ボタン(IMAGE FLIP)
画像を左右、上下反転、180°回転することができます。
[左右反転]、[上下反転]、[180°回転]、[オフ]の順に切り替わります。

お知らせ

- 映像反転については映像反転[OSDメニュー]→[映像設定]→[回
転]→[映像反転]を参照ください。

21 ACTIVE PICTURE ボタン(ACTIVE PICTURE)
選択画面を表示設定します。

*1 : 対応するオプションボード装着時のみ切り替わります。対応可能なオプシ
ョンボードについては販売店へお問い合わせください。

22 マルチ画面ボタン(MULTI PICTURE)

ON/OFF ボタン： マルチ画面モードをオン/オフします。

MODE ボタン： PIP(Picture in picture)またはPBP(Picture by picture)から表示形態を設定します。

CHANGE ボタン： 選択された2つのマルチ画面間で表示する映像を入れ替えます。

PICTURE ASPECT ボタン： 選択画面の表示枠のアスペクトを設定します。表示される画像のアスペクトはアスペクトボタン (ASPECT) で設定してください。

お知らせ

- マルチ画面表示中にSET/POINT ZOOM ボタンを押すと、選択画面の表示サイズを変更できます。

23 リモコンIDボタン(REMOTE ID)

リモコンのモードを切り替えます。

ノーマルモード： モニターIDに関係なく、すべての弊社リモコンナンバーリンク機能があるディスプレイをリモコンで制御できます。

IDモード： リモコンIDと同じ番号のモニターIDを持つディスプレイのみをリモコンで制御できます。

SET ボタン： 2秒以上押し続けると、リモコンをIDモードにします。ボタンを押しながら0～100までの数字を入力すると、リモコンIDが設定できます。

CLEAR ボタン： 2秒以上押し続けると、ノーマルモードになります。

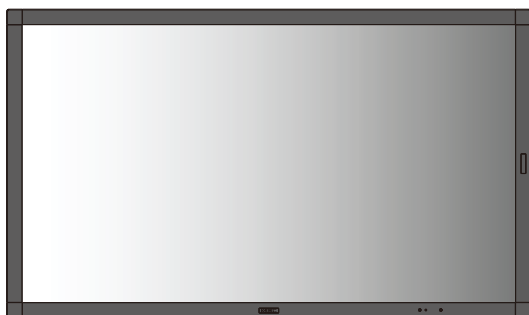
お知らせ

- 説明の無いボタンは、動作しません。

リモコンの使用範囲

リモコンの操作をするときは本機またはセンサーユニット (別売のコントロールキットを接続した場合) のリモコン受光部の方向にリモコンの先を向けてください。

リモコンは、リモコン受光部から7m以内、上下左右30°では3.5m以内でご使用ください。



お知らせ

- 太陽の直射日光や強い光の当たるところ、または、蛍光灯の近くでは、リモコン操作がきかない場合があります。



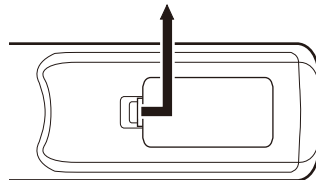
リモコンの取り扱い

リモコンに電池を入れる

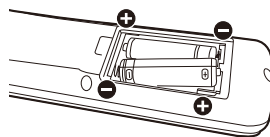
単4形乾電池2つが必要です。

下図に従って電池を入れてください。

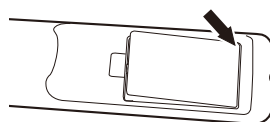
1. ふたを矢印のように押しながら引き上げる



2. ケース内部の表示どおりに⊕⊖を合わせて入れる



3. ふたを元に戻す



⚠ 注意

- 乾電池は誤った使い方をすると液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。
- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
- 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となるおそれがありますのですぐ取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。

お知らせ

- 付属の乾電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して保管しておいてください。

お願い

- 強い衝撃を与えないでください。
- 水に濡らさないでください。もし濡れた場合は、すぐにふき取ってください。
- 熱やスチームなどにあてないでください。
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

接続

外部機器を接続する

- ・接続する外部機器を保護するため、接続の際には主電源を切ってください。
- ・接続する機器のそれぞれの取扱説明書に従って接続してください。

お願い

- 本機または外部機器の主電源がオンの場合、ケーブルの抜き差しはおこなわないでください。

電源を接続する

⚠ 注意

- 電源コンセントに接続するときは、本機の使用に十分な電源容量が供給されることを確認してください。電源容量は「仕様」を参照願います。

お願い

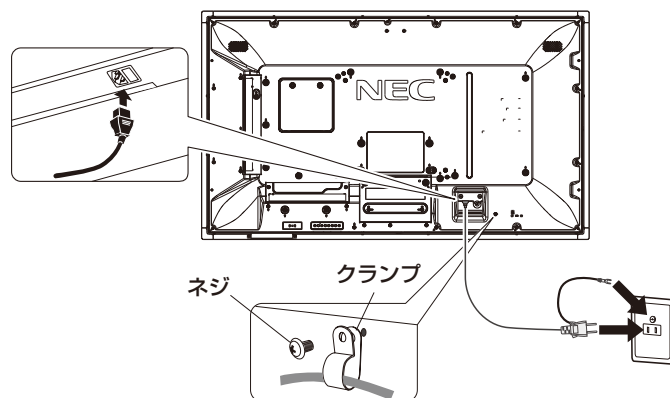
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに接続してください。

1. 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクタに差し込む。

奥までしっかり差し込んでください。

⚠ 注意

- 電源コードをディスプレイ本体付属のクランプとネジ(M4×10)で必ず固定することで本体の電源入力コネクタから容易に抜けるのを防止することができます。(締付トルク 139～189N・cm)
2. アースリード線を接地(アース接続)する。
 3. 電源プラグをAC100V電源コンセントに接続する。



⚠ 警告

- ・表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ・本機には一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外で使用しないでください。
- ・電源プラグのアースリード線は必ず接地(アース)してください。
なお、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。
また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- ・本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

お願い

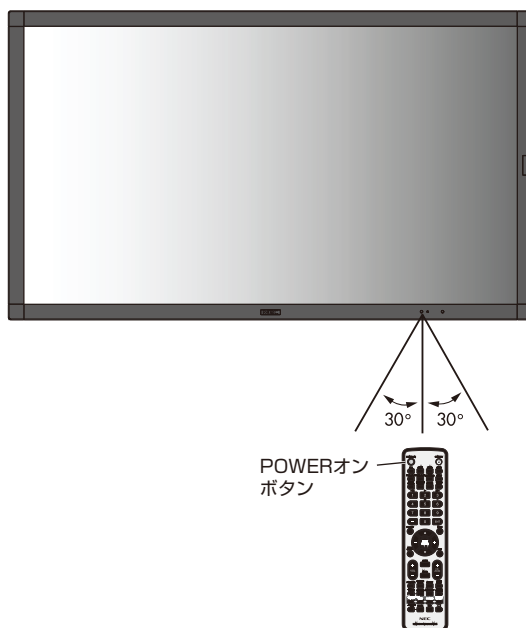
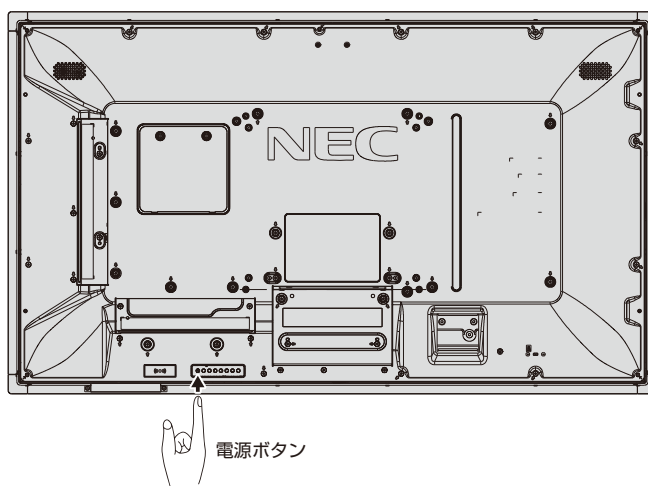
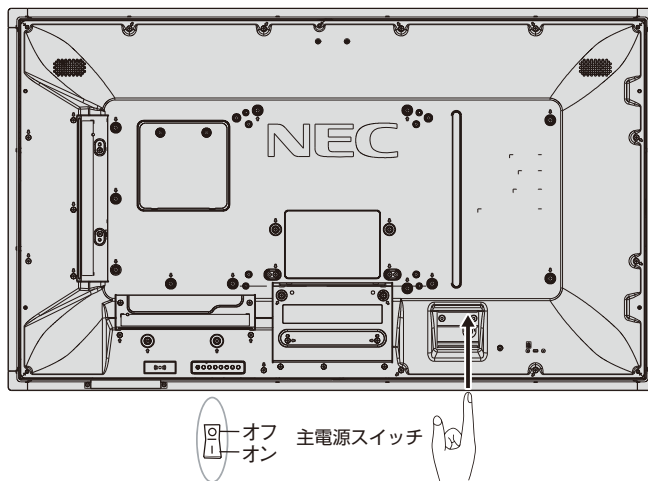
- 電源コンセント周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。

本機の電源を入れる

電源がオンの場合、電源ランプは青色に点灯します。

お知らせ

- 主電源スイッチがオン(|)になっていることを確認してから操作してください。



調節

1. 主電源スイッチをオンにする。
2. 本機の電源を入れてから、コンピューターや映像機器の主電源を入れる。
3. 画面の調節をおこなう。
 - VGA(RGB)の入力コネクタ使用の場合は、「自動調節をする」の手順に従って自動調節をしてください。
自動調節をおこなってもうまく表示されない場合は画面調節 [OSD メニュー] → [映像設定] → [画面調節] をご覧ください。
 - DVI入力コネクタまたはDisplayPort入力コネクタ使用の場合は、信号の情報により自動的に設定をおこないますので画面の調節は不要です。ただし、DVI入力コネクタ使用の場合は、接続する機器により、DVIモード [OSD メニュー] → [マルチ入力] → [ターミナルモード] → [DVIモード] をDVI-PCまたはDVI-HDから最適な設定を選んでください。
 - DisplayPort入力コネクタ使用の場合は、信号の情報により自動的に設定をおこないますので画面の調節は不要です。
 - VIDEO系の入力端子 (HDMI 1、HDMI 2、VGA (YPbPr)、VIDEO、MP) の場合は、調節は不要です。
 - HDMI入力コネクタ使用の場合は、HDMI [OSD メニュー] → [マルチ入力] → [ターミナルモード] → [HDMI] で設定 1 または設定 2 から適切な設定を選んでください。

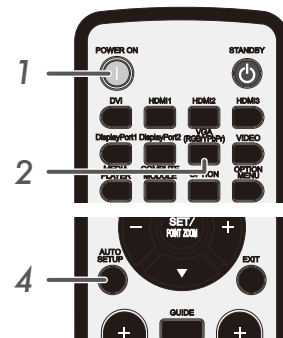
自動調節をする (VGA (RGB) 入力選択時のみ)

本機をコンピューターとアナログ接続の方法で接続したときは、最初に自動調節をおこないません。その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。詳細は本取扱説明書の「画面調節 (OSD 機能)」を参照ください。

お知らせ

- 自動調節はアナログ接続をした際に、適切な画面を表示するよう、画面の水平／垂直位置、クロック周波数、位相、ホワイトレベルを自動で調節します。デジタル接続では自動調節は不要です。

1. 本機の電源を入れてから、コンピューターの主電源を入れる。
2. 本体のINPUT/SET ボタンまたはリモコンの入力切替ボタン (VGA (RGB/YPbPr)) で、映像入力を「VGA (RGB)」に切り替える。
3. 画面全体にワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する。
4. オートセットアップ [OSD メニュー] → [映像設定] → [画面調節] → [オートセットアップ] で設定する、またはリモコンの AUTO SET UP ボタンを押す。



長くお使いいただくために

ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があり、バックライトの明るさは使用時間に応じて低下します。また、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る「残像」という現象が発生する場合があります。残像は画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなります。本機を長くご使用いただくために、次の点にご注意ください。

- 使用していないときは本機の主電源を切ってください。
- 本機の電源ボタンまたはリモコンのSTANDBY ボタンまたは電源ボタンで本機をスタンバイ状態にしてください。
- パワーセーブ [OSD メニュー] → [保護設定] → [パワーセーブ] を使用してください。信号が入力されないときに自動的にパワーセーブモードに切り替わります。
- スケジュール [OSD メニュー] → [スケジュール] を使用して、使用する時間に合わせて自動的に電源をオンまたはスタンバイ状態にしてください。

お知らせ

- ・ スケジュール機能を使用する場合は必ず日付／時刻設定 [OSD メニュー] → [スケジュール] → [日付／時刻設定] の設定をおこなってください。
- 液晶パネルにかかる負担を軽減するため、スクリーンセーバー [OSD メニュー] → [保護設定] → [スクリーンセーバー] を使用してください。

接続方法について

お願い

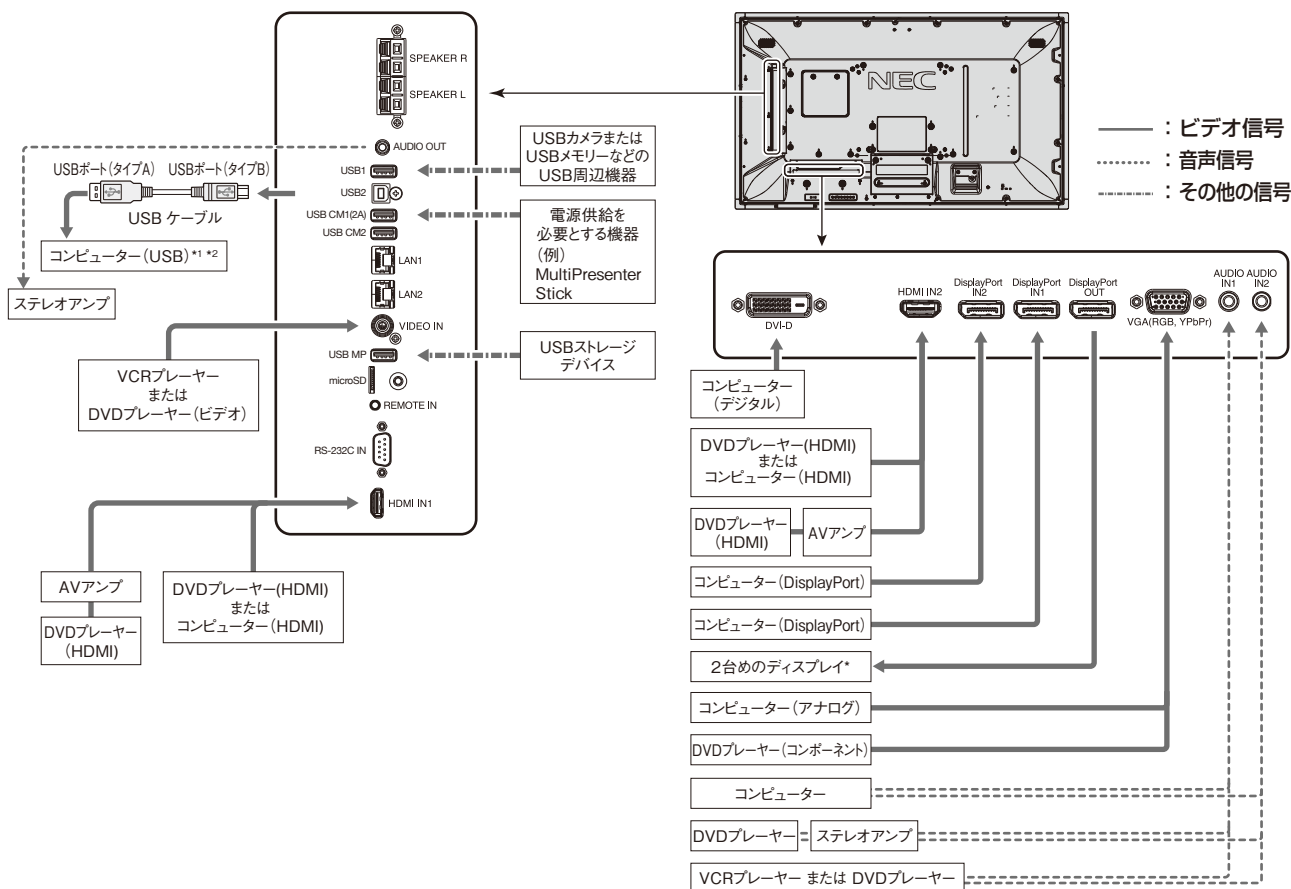
● 本機または外部機器の主電源がオンの場合、ケーブルの抜き差しはおこなわないでください。

接続する前に

- ・ コンピューターに接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の主電源を切ってください。
- ・ それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- 接続するオーディオ機器やコンピューターの音声出力端子の形状がステレオミニジャックの場合は、オーディオケーブルは抵抗なしを使用してください。
- 抵抗ありのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかつたり、音が出ない場合があります。
- microSD メモリーカード、USB ストレージデバイスは本機の主電源がオフのときに抜き差しすることをおすすめします。



* : マルチ接続(数珠つなぎ)をする場合、接続台数に制限があります。

*1 : USB2に接続したコンピューターからUSB1に接続した機器を操作することができます。

*2 : USB2に接続したコンピューターからタッチ機能が使用できます。

接続機器	接続コネクター	ターミナルモードの設定	入力信号名称	音声入力	リモコンの入力切替ボタン
AV 機器	DVI(DVI-D)	DVIモード : DVI-HD	DVI	IN1/IN2	DVI
	HDMI IN1	VIDEO LEVEL : RAW/EXPAND*3	HDMI1	HDMI1	HDMI1
	HDMI IN2	VIDEO LEVEL : RAW/EXPAND*3	HDMI2	HDMI2	HDMI2
	DisplayPort IN1	VIDEO LEVEL : RAW /EXPAND*3	DisplayPort1	DisplayPort1	DisplayPort1
	DisplayPort IN2	VIDEO LEVEL : RAW/EXPAND*3	DisplayPort2	DisplayPort2	DisplayPort2
	VGA(RGB, YPbPr)	VGAモード : RGB	VGA(RGB)	IN1/IN2	VGA(RGB/YPbPr)
	VGA(RGB, YPbPr)	VGAモード : YPbPr	VGA(YPbPr)	IN1/IN2	VGA(RGB/YPbPr)
	VIDEO IN	-	VIDEO	IN1/IN2	VIDEO
Option board slot (SLOT2)	VIDEO LEVEL : RAW/EXPAND*3	OPTION	OPTION (ANALOG/DIGITAL)*3	OPTION	
コンピューター	DVI(DVI-D)	DVIモード : DVI-PC/DVI-HD	DVI	IN1/IN2	DVI
	HDMI IN1	VIDEO LEVEL : RAW/EXPAND*3	HDMI1	HDMI1	HDMI1
	HDMI IN2	VIDEO LEVEL : RAW/EXPAND*3	HDMI2	HDMI2	HDMI2
	DisplayPort IN1	VIDEO LEVEL : RAW/EXPAND*3	DisplayPort1	DisplayPort1	DisplayPort1
	DisplayPort IN2	VIDEO LEVEL : RAW/EXPAND*3	DisplayPort2	DisplayPort2	DisplayPort2
	VGA(RGB, YPbPr)	VGAモード : RGB	VGA(RGB)	IN1/IN2	VGA(RGB/YPbPr)
	VGA(RGB, YPbPr)	VGAモード : YPbPr	VGA(YPbPr)	IN1/IN2	VGA(RGB/YPbPr)
	VIDEO IN	-	VIDEO	IN1/IN2	VIDEO
Option board slot (SLOT2)	VIDEO LEVEL : RAW/EXPAND*3	OPTION	OPTION (ANALOG/DIGITAL)*3	OPTION	

*3: 入力信号によって、適切に設定してください。

コンピューターとの接続

本機はコンピューターのディスプレイとして使うことができます。下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると自動的に適切な画面を表示します。

解像度	走査周波数		VGA	DVI	HDMI		DisplayPort		備考
	水平	垂直			設定 1	設定 2	1.1a	1.2	
640 x 480	31.5 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
800 x 600	37.9 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
1024 x 768	48.4 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
1280 x 720	45.0 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
1280 x 768	47.8 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
1280 x 800	49.7 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
1280 x 960	60.0 kHz	60 Hz	Yes	Yes	No	No	No	No	
1280 x 1024	64 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
1360 x 768	47.7 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
1366 x 768	47.7 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
1400 x 1050	65.3 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
1440 x 900	55.9 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
1600 x 1200	75.0 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	簡易圧縮表示
1680 x 1050	65.3 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	
1920 x 1080	67.5 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	推奨信号タイミング
1920 x 1200	74.6 kHz	60 Hz	Yes	No	Yes	Yes	Yes	Yes	簡易圧縮表示
1920 x 2160	133.3 kHz	60 Hz	No	No	Yes	Yes	Yes	Yes	簡易圧縮表示
3840 x 2160	65.7 kHz	30 Hz	No	No	No	No	Yes	Yes	簡易圧縮表示
3840 x 2160	67.5 kHz	30 Hz	No	No	Yes	Yes	No	No	簡易圧縮表示
3840 x 2160	133.3 kHz	60 Hz	No	No	No	Yes	No	Yes*	簡易圧縮表示
3840 x 2160	135.0 kHz	60 Hz	No	No	No	Yes	No	Yes*	簡易圧縮表示
4096 x 2160	54.0 kHz	24 Hz	No	No	Yes	Yes	No	No	簡易圧縮表示

* : HBR2 選択時のみ

お知らせ

- 入力される信号の解像度によっては、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。

- ・ DVI 入力コネクタは DVI-D - DVI-D ケーブルと接続します。
- ・ DVI^{*1} 規格の TMDS^{*2} に対応しています。

【ミニ解説】

※ 1 DVI : Digital Visual Interface

DVI-A : アナログ RGB 入力のみに対応している DVI 端子

DVI-D : デジタル RGB 入力のみに対応している DVI 端子

DVI-I : デジタル RGB 入力, アナログ RGB 入力の両方に対応している DVI 端子

※ 2 TMDS : Transition Minimized Differential Signaling

デジタル出力機器との接続

DVI コネクタをもったコンピューターに接続して使用することができます。

ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。

- ・ オーディオ入力は音声入力 [OSD メニュー] → [音声設定] → [音声入力] またはリモコンの音声入力切替ボタンで AUDIO INPUT を選択します。
- ・ 接続しているコンピューターの電源を入れ、その後に本機の主電源を入れると映像が表示されないことがあります。その場合は、接続しているコンピューターの電源を入れ直してください。

HDMI 出力端子のある機器との接続

本機はHDMI出力付きプレーヤーやコンピューターなどと接続して使用することができます。詳しくは、プレーヤーなどの取扱説明書を参照してください。

- ・オーディオ入力は音声入力[OSDメニュー]→[音声設定]→[音声入力]またはリモコンの音声切替ボタンでHDMI1 またはHDMI2 を選択します。
- ・HDMIケーブルはHDMIロゴがついているものをご使用ください。
- ・HDMI機器によっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- ・ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。
- ・1920×1080の解像度で全画面に表示されず、縮小されている場合があります。このときは、ビデオカード側の設定をご確認ください。
- ・HDMI出力付きコンピューターと接続して使用する場合は、オーバースキャン[OSDメニュー]→[映像設定]→[アドバンスト]→[オーバースキャン]を自動もしくはオフに設定してください。
- ・接続しているコンピューターの電源を入れ、その後本機の主電源を入れると映像が表示されないことがあります。その場合は、接続しているコンピューターの電源を入れ直してください。
- ・3840x2160 (60Hz) の解像度の場合は、HDMI[OSDメニュー]→[マルチ入力]→[ターミナルモード]→[HDMI] で設定2 を設定してください。

DisplayPort 出力端子のある機器との接続

本機はDisplayPort出力付きコンピューターなどと接続して使用することができます。

詳しくは各コンピューターの取扱説明書を参照してください。

- ・DisplayPort出力端子を使用する場合は、本取扱説明書の付録「映像出力」を参照ください。
- ・DisplayPort出力端子を使用し、接続した複数の画面に個別の映像を表示する場合はDisplayPort[OSDメニュー]→[マルチ入力]→[ターミナルモード]→[DisplayPort]でDisplayport 1.2を選択し、MSTを選択してください。
- ・オーディオ入力は音声入力[OSDメニュー]→[音声設定]→[音声入力]またはリモコンの音声切替ボタンでDisplayPort1 またはDisplayPort2を選択します。
- ・DisplayPortケーブルはDisplayPort 認証ロゴがついているものを使用することを推奨します。
- ・コンピューターによっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- ・DisplayPortケーブルはロック付きのものがあります。ケーブルを取り外す際は、ケーブルコネクタ上部にあるボタンを押しながら、ケーブルを抜いてください。
- ・信号変換アダプターを使用した機器からの信号をDisplayPortに接続しても映像が表示されない場合があります。
- ・接続しているコンピューターの電源を入れ、その後本機の主電源を入れると映像が表示されないことがあります。その場合は、接続しているコンピューターの電源を入れ直してください。

USB 機器との接続

本機は、以下のUSBポートを装備しています。

- USB1： USB ダウンストリームポート(USBタイプA)
USB対応のフラッシュメモリー、キーボードなどのUSB機器を接続します。
- USB2： USB アップストリームポート(USBタイプB)
付属のUSBケーブルでUSB対応のコンピューターと接続します。
USB2に接続した機器からUSB1に接続したUSB機器を操作することができます。
USB2に接続したコンピューターからタッチ機能が使用できます。
- USB CM1(2A)： 電源供給用のポートです。供給電力についての詳細は本取扱説明書の付録「仕様」を参照ください。
- USB CM2： サービスポートです。USB機器の接続はおこなわないでください。
- USB MP： USB ダウンストリームポート(USBタイプA)
メディアプレーヤー機能を使用して画像や動画を表示する際はこのポートにUSBストレージデバイスを接続してください。

- ・USBケーブルのコネクタ形状および向きをよく確かめてから接続してください。
- ・USB機能は使用するコンピューターのBIOSやOS、周辺機器によっては動作しない場合があります。この場合は、まず各使用機器の取扱説明書を確認したり、各機器のメーカーにお問い合わせください。
- ・本機の電源スイッチをオフにしたり、Windows®のシャットダウンを実行する場合には、事前に本機に接続したUSB機器を停止させて取り外してください。
もし、本機に接続したUSB機器を停止させないまま、上記の操作をおこなうとコンピューターがクラッシュして貴重なデータが失われることがあります。
- ・本機がコンピューターに認識されるまでに数秒程度必要です。認識される前にUSBケーブルを引き抜いたり、瞬間的な抜き差しを繰り返したりしないでください。
- ・USB CM1(2A)への電源供給はUSB電源[OSDメニュー]→[コントロール]→[USB]→[USB電源]で設定できます。
- ・USB(2A)からの電源供給を使用する際は、電流が2A以上に対応しているケーブルをご使用ください。
- ・USBポートの設定はUSB[OSDメニュー]→[コントロール]→[USB]を参照ください。
- ・供給電力についての詳細は本取扱説明書の付録「仕様」を参照ください。

⚠ 注意

- ・USBケーブルは束ねて(丸めて)固定せずに使用してください。ケーブルが発熱して火災の原因となるおそれがあります。

お知らせ

USB CM1(2A)、USB CM2を使用した通信はおこなえません。
各USBへのUSB機器の接続については本取扱説明書の「接続方法について」を参照ください。

タッチパネルをお使いの場合

1. 液晶ディスプレイの主電源スイッチを OFF にします。
2. 機器を接続します。*1

スロット2タイプPCオプションを使用する場合：オプション用スロットにスロット2タイプPCオプションをセットします。
詳細はスロット2タイプPCオプションの取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- スロット2タイプPCオプション以外がセットされている場合、タッチパネルが動作しない可能性があります。

外部コンピューターを使用する場合：付属のUSBケーブルを使用して、コンピューターを接続してください。（図1）

3. 液晶ディスプレイの電源を入れます。
4. 液晶ディスプレイを設定します。

スロット2タイプPCオプションを使用する場合：入力信号をOPTIONにしてください。

外部コンピューターを使用する場合：入力信号は接続したコンピューターからの信号に設定してください。

お知らせ

- タッチパネルが動作しないときは「困ったとき」の「その他(タッチパネル)」を参照してください。

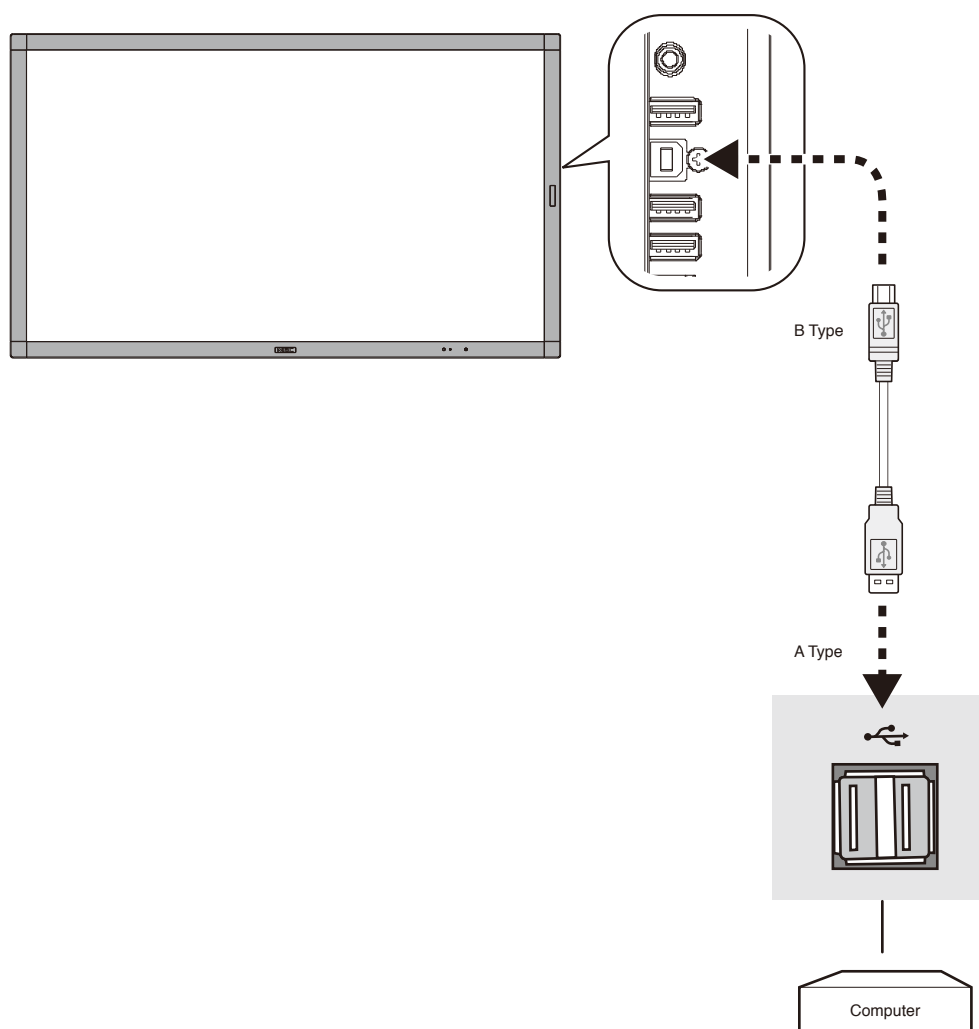


図1

*1: 詳細については、各販売店にお問い合わせください。

複数台のディスプレイのタッチパネルを同時に使用する場合は、各販売店にお問い合わせください。

機能

パワーマネージメント機能

本機の主電源を入れたままでも、コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

この機能は VESA DPM 対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合のみ機能します。

ビデオカードによっては正しく動作しない場合があります。パワーセーブ[OSDメニュー]→[保護設定]→[パワーセーブ]を有効に設定した場合、入力信号が失われてから設定した時間が経過すると、自動的にパワーマネージメント機能に入ります。

電源ランプ色と点灯パターン	状態	復帰方法
青色点灯	通常動作時	
緑色点滅* ¹	選択している映像信号がない状態で一定時間経過した場合で以下の状態のどれかを満たした場合 ・ オプションボードが装着されている場合 ・ 入力信号検出(OSD機能)がオフ以外になっている場合 ・ USB電源がオンになっている場合 ・ ターミナルモード(OSD機能)のDisplayPortがMSTになっている場合	1) リモコンもしくは本体のボタンで本機をオンする。 2) 映像信号を入力する
橙色点灯	ネットワーク信号があり、選択している映像信号がない状態で一定時間経過した場合	
橙色点滅	ネットワーク信号および選択している映像信号がない状態で一定時間経過した場合	
赤色点灯	ネットワーク機器や映像信号機器との接続状態に関わらず、リモコン等で本機をオフした場合	1) リモコンもしくは本体のボタンで本機をオンする。

*1:本機がパワーセーブに移行する時間は、オートパワーセーブ時間設定[OSDメニュー]→[保護設定]→[パワーセーブ]→[オートパワーセーブ時間設定]で設定できます。

お知らせ

電源ランプが短い点灯と長い点灯の組み合わせで点滅した場合は故障の可能性ががあります。販売店へお問い合わせください。

アスペクト変更

アスペクト[OSDメニュー]→[映像設定]→[アスペクト]またはリモコンのASPECTボタンで画面のアスペクトを選択することができます。

フル → ZOOM → 標準	MP、VIDEO選択時
フル → 1:1 → ZOOM → 標準	DVI、DisplayPort 1、DisplayPort 2、VGA(RGB)、OPTION*1選択時
フル → ワイド → ダイナミック → 1:1 → ZOOM → 標準	VGA(YPbPr)、HDMI 1、HDMI 2選択時

フル : 比率を変えて、画面いっぱいに表示します。

1:1 : 画像サイズそのままに表示します。

ZOOM :ズームモードでの設定で表示されます。

標準 : 比率を変えずに、できるだけ大きく表示します。

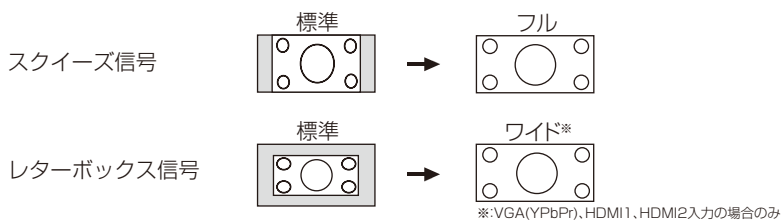
ワイド : 比率を変えずに、横方向を画面いっぱいになるよう表示します。画像のアスペクトによっては上下の一部が表示されない場合があります。

ダイナミック : 画面中央部と外側で伸張比率を変えて、自然なワイド表示にできます。

もとの信号と異なる画面のアスペクトで使用したいときは画面に歪みが発生します。

例) 4:3信号をフルにした場合は横長画面となります。

スクイーズ信号ではフル、レターボックス信号ではワイドがおすすめです。



お知らせ

- 営利目的または公衆に視聴されることを目的として喫茶店、ホテル等においてアスペクト変更等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等をおこないますと著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがありますのでご注意願います。

*1 対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店にお問い合わせください。

メディアプレーヤーでできること

USBストレージデバイスやmicroSDメモリーカードに保存している動画・静止画・BGMと当社のオーサリングソフトウェアで作成したメディアパッケージを再生します。

メディアプレーヤー画面の構成



- 「設定」を選択すると、各設定項目の設定を変更することができます。
- 「設定」で自動再生を、「スライドショー」に設定しているとき、次の操作で自動再生が実行されます。
 - ・ メディアプレーヤーのトップ画面でUSBストレージデバイスを本機のUSB MPに接続したとき。
 - ・ 本機のUSB(2A)にUSBストレージデバイスが接続されている状態で、入力信号がMPに切り替わったとき。このとき、自動的にUSBストレージデバイス内の[自動再生]メニューの「フォルダー」で設定したフォルダー内を検索し、見つかった画像または動画を順番に表示します。画像や動画の表示順は、ファイル表示画面で「並び順」をおこなった順になります。

お知らせ

- メディアプレーヤーで認識できるUSBストレージデバイスは1つのみです。
- 共有フォルダーは1～4つまで設定できます。
- 共有フォルダーへの接続が失敗すると、エラーメッセージを表示してフォルダーアイコンに「×」印を表示します。その場合は次の確認をおこなってください。
 - ・ 接続先のフォルダー名は正しいか
 - ・ 接続先のフォルダーが共有設定されているか
 - ・ 接続先のフォルダーにアクセス権が設定されているか
 - ・ 接続先のフォルダーに表示可能なファイルが保存されているか
- メディアプレーヤーの画面が表示されているときにコントロールパネルのボタンのいずれかを押すと、OSDを操作するかメディアプレーヤーを操作するか確認画面が表示されます。
- タイルマトリクスを実行しているときに、メディアプレーヤーの画像を再生すると、各ディスプレイは同期していないため、表示タイミングに差が生じることがあります。
- OSD方向をポートレートに設定している場合、再生する動画は反時計回りに90°回転したデータを使用してください。
- ディスプレイを縦型で使用する場合、OSD方向をポートレートに設定してください。OSD方向の設定によって静止画の表示方向が変わります。

表示/再生可能なファイル

静止画

・ 対応フォーマット

拡張子	対応
.jpg, .jpe, .jpeg	ベースライン、プログレッシブ、RGB、CMYK
.png	インターレース、 α チャンネル

動画

・対応フォーマット

拡張子	動画コーデック	音声コーデック
.mpg, .mpeg	MPEG1, MPEG2	MPEG, MPEG Audio Layer3(略称: MP3), AAC-LC(略称: AAC), LPCM
.wmv	H.264, WMV	MP3, WMA Standard, WMA 9/10 Professional
.mp4	H.264	MP3, AAC
.mov	H.264	MP3, AAC
.flv, .f4v	H.264	MP3, AAC

BGM

・対応フォーマット

拡張子	音声コーデック
.wav	LPCM
.mp3	MP3

詳細情報

項目		
解像度	JPEG	5000 × 5000
	PNG	4000 × 4000
	MPEG1	480@30fps
	MPEG2	MP@ML, MP@HL, 1080p@30fps / 1080i@60fps
	H.264	High profile Lv.4.2, 1080p@30fps / 1080i@60fps
	WMV	Advanced@L3, Simple&Main
動画ビットレート	-	15Mbps まで
音声サンプリングレート	-	48KHz まで
音声ビットレート	MP2	384Kbps まで
	MP3	320Kbps まで
	AAC	1440Kbps まで

お知らせ

- 上記の条件を満たしている動画ファイルであっても再生できない場合があります。
- USBストレージデバイスやmicroSDメモリーカードの種類、ファイルのビットレートによっては正常に動画が再生されない事があります。
- デジタル著作権管理(Digital Right Management, DRM)付きのファイルは再生できません。
- 動画ファイルの最大解像度は、横:1920、縦:1080になります。

メディアパッケージ

当社のオーサリングソフトウェアで作成したコンテンツデータを、作成したスケジュールに応じて本機で再生できます。作成したコンテンツデータをmicroSDメモリーカードまたはUSBストレージデバイスに保存してください。メディアパッケージを再生する場合は、拡張子「.sch」のファイルを選択してください。メディアパッケージのファイル構成は、オーサリングソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。オーサリングソフトウェアとその取扱説明書は、当社のホームページからダウンロードしてください。

お知らせ

- コンテンツで設定されたスケジュールは本体の日付/時刻設定を元に動作します。コンテンツ再生中に本体の日付/時刻設定を変更した場合はコンテンツの再生を一度止め、再び再生してください。再生後は設定変更した日付/時刻を元にコンテンツを再生します。コンテンツ再生中に言語選択の設定を変更した場合も同様の操作をしてください。

対応microSDメモリーカード

FAT32形式またはFAT16形式でフォーマットしてください。フォーマット方法については、お使いのWindows®の取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。

・詳細情報

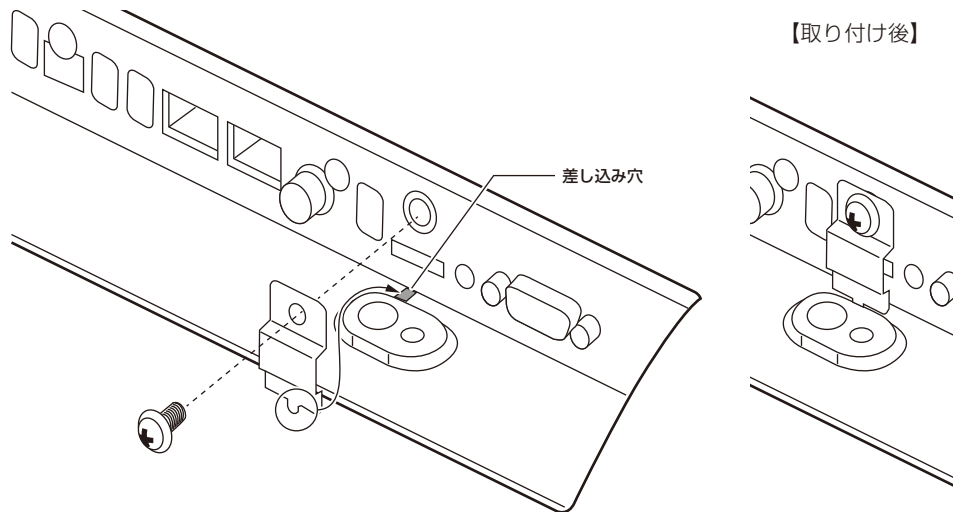
microSDメモリーカードは32GBのmicroSDHCまで対応しています。

お知らせ

- CPRM付き(著作権管理)のmicroSDメモリーカードには対応しておりません。
- UHS-1またはUHS-2のmicroSDには対応しておりません。
- 市販されているすべてのmicroSDメモリーカードの動作を保証するものではありません。

microSD カードスロットカバーの取り付け

盗難防止のために microSD カードスロットカバーを取り付けることをおすすめします。
差し込み穴に microSD カードスロットカバーの先端を差し込み、付属のネジで固定します。
(締付トルク 139~189N・cm)

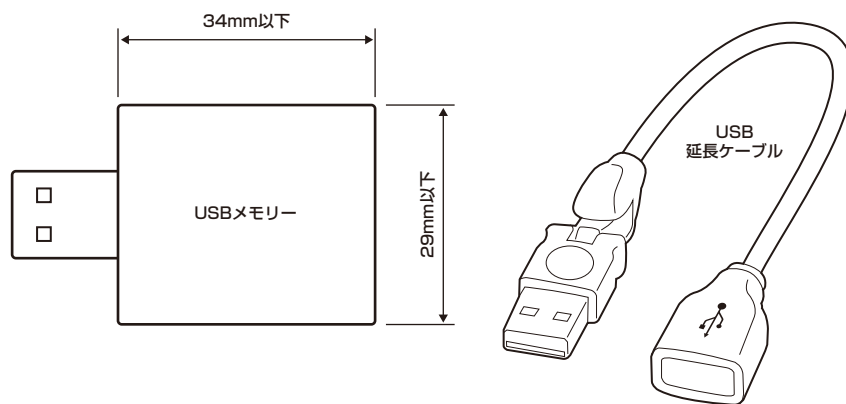


対応USBメモリー

本機に接続したUSBメモリーが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。メディアプレーヤーで使用するUSBメモリーはFAT32形式またはFAT16形式でフォーマットしてください。フォーマット方法については、お使いのWindows®の取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。

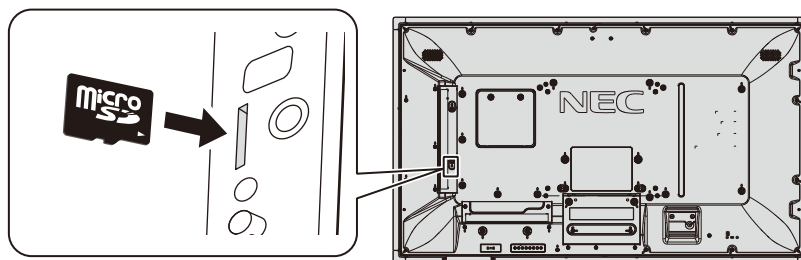
使用するUSBメモリーのサイズは下図を参照してください。

これより大きいサイズを使用する場合は市販のUSB延長ケーブルをご使用ください。



お知らせ

- 市販されているすべてのUSB外部記憶装置の動作を保証するものではありません。
- USBメモリーに保存している画像や動画を表示する場合は、本機のUSB MPにUSBメモリーを接続してください。詳細は本取扱説明書「各部の名称」を参照ください。










- microSDメモリーカードを挿入する際はカードの向きを確認し正しい向きで差し込んでください。
- microSDメモリーカードを取り出す際はカード側面の真ん中を押し取り出してください。

ファイル表示画面

メディアプレーヤーのファイル表示形式には、アイコン表示とサムネイル表示があります。



	戻る	一つ上の階層に戻ります。
	ページアップ	前のファイルの一覧を表示します。
	ページダウン	次のファイルの一覧を表示します。
	設定	設定画面を表示します。
	サムネイル	サムネイル表示とアイコン表示を切り替えます。
	並び順	名前(ファイル名)、種類(拡張子)、日付(作成日時)、サイズ(ファイル容量)の順にファイルの表示順を切り替えます。初期値は「名前」です。
	取り出し	本機に接続している USB ストレージデバイスまたは microSD メモリーカードを取り外す際に選択します。 「取り出し」を選択する際は、ファイル一覧を表示しているときにおこなってください。


お知らせ

- 1つのフォルダー内は、フォルダーアイコンを含め、最大300個まで表示します。
- フォルダーの階層は16階層まで表示します。
- 種類が判別できないファイルのアイコンは「?」と表示されます。
- ファイルによってはサムネイルが表示されない場合があります。

スライドショー表示

- ・ 表示したい画像および動画が入っているフォルダーを選択します。
- ・ スライドショー表示には、リモコンのボタン操作で切り換える「手動再生」と、設定した時間の間隔で自動的に画像を切り換える「自動再生」がおこなえます。
- ・ 本機の再生モードの工場出荷時の設定は「手動」が設定されています。自動再生をおこなう場合は、「自動」に設定してください。
- ・ 画像の表示順は、ファイル表示画面で「並び順」をおこなった順になります。
- ・ 解像度の高い画像をスライド画面で表示している場合に、ファイル表示画面に戻ることがあります。

メディアプレーヤーの設定

メディアプレーヤーのトップ画面やファイル一覧画面の  アイコンを選択すると、メディアプレーヤーの設定画面を表示します。設定画面では次の設定ができます。

スライドショー

メニュー	機能
スクリーンサイズ	最大サイズもしくは実サイズを選択します。
再生モード	自動もしくは手動を選択します。
間隔	各画像の表示間隔を設定します。
繰り返し	チェックボックスをチェックすると選択した画像を繰り返し表示します。
音楽ファイル	音楽ファイルを選択します。
BGM	チェックボックスをチェックすると再生時に音声を出力します。
再生終了画面	選択画像の再生後の状態を設定します。
	黒画面：再生終了後、黒画面になります。
	ファイル選択画面：再生終了後、ファイル選択画面に戻ります。
	最終画面保持：再生終了後、最後に再生された画面を維持します。

メディアパッケージ

メニュー	機能
スクリーンサイズ	最大サイズもしくは実サイズを選択します。
電源連動	チェックボックスをチェックするとメディアパッケージで設定したスケジュールに従って本機の電源をオンもしくはスタンバイ状態にします。パワーセーブを無効に設定した場合、スケジュールが終了しても本体はスタンバイ状態に移行しません。
再生終了画面	選択画像の再生後の状態を設定します。
	黒画面：再生終了後黒画面になります。
	ファイル選択画面：再生終了後、ファイル選択画面に戻ります。

自動再生

スライドショーを設定していると、入力信号がMPに切り替わったときに以下で選択したフォルダー情報を自動再生します。

メニュー	機能
自動再生	データを自動再生します。
	オフ：自動再生しません。
	スライドショー：スライドショーで設定した画像を自動再生します。
フォルダー	再生するデータが入っているフォルダーを選択します。SET キーでフォルダーを移動し、ENT キーで選択してください。

プリセットコンテンツ

本機が無信号になった際に以下で選択したフォルダー情報を再生します。

メニュー	機能
有効	チェックボックスをチェックするとプリセットコンテンツを有効にします。
フォルダー	再生するフォルダーを選択します。SET キーでフォルダーを移動し、ENT キーで選択してください。

メディアプレーヤーの各設定項目を実行する場合は「確定」を選択してください。「確定」を選択しなかった場合、上記で設定した内容は実行されません。

ネットワークおよびその他設定

メディアプレーヤーで使用するネットワークの設定や共有フォルダーの設定をします。

設定する場合は「ネットワークおよびその他設定」でリモコンのSET/POINT ZOOM ボタンを押してください。

メディアプレーヤーネットワーク設定

メニュー	
IP SETTING	各設定項目を設定します。
IP ADDRESS	
SUBNET MASK	
DEFAULT GATEWAY	
DNS	
DNS PRIMARY	
DNS SECONDARY	

メディアプレーヤーネットワーク情報では上記で設定したネットワーク情報を表示します。

共有フォルダー

共有SDカード設定や共有フォルダー設定をします。

設定をする項目を選択しリモコンのSET/POINT ZOOM ボタンを押してください。

共有SDカード設定

ネットワーク接続しているコンピューターのブラウザを操作し、ディスプレイに接続している microSD メモリーカードへフォルダーをコピーする際に設定します。

メニュー	機能
有効	チェックボックスをチェックすると共有SDカード設定を有効にします。
ユーザー名	共有SDカード接続時のユーザー名を表示します。ユーザー名は本機の名称となり変更はできません。
パスワード	パスワードを設定します。

共有SDカード設定の各設定項目を実行する場合は「確定」を選択してください。

有効のチェックボックスのチェックを外す、またはチェックした場合でも「確定」を選択しないと共有SDカードの設定の有効/無効は実行されません。

共有フォルダー設定



本機を操作してネットワーク接続しているコンピューターへアクセスし、microSDメモリーカードにフォルダーをコピーする際に設定します。

メニュー	機能
有効	チェックボックスをチェックすると共有SDカード設定を有効にします。
共有フォルダー	コピーするデータの保存場所のIPアドレスを入力します。
ユーザー名	共有フォルダー接続時に使用するユーザー名を設定します。
パスワード	パスワードを設定します。

共有フォルダー設定の各設定項目を実行する場合は「確定」を選択してください。

有効のチェックボックスのチェックを外す、またはチェックした場合でも「確定」を選択しないと共有フォルダー設定の有効/無効は実行されません。

無信号移行設定

スライドショーまたはメディアパッケージのコンテンツ再生後やメディアプレーヤーの最初の画面またはUSB  やSD CARD  でのファイル選択画面での無操作時に無信号に移行する機能です。

無信号に移行すると本機のパワーセーブが動作し、消費電力を減少させます。

パワーセーブの設定は[OSDメニュー]→[保護設定]→[パワーセーブ]でおこなってください。

メニュー	機能
有効	チェックボックスをチェックすると無信号移行設定を有効にします。
間隔	再生終了時もしくは無操作時から無信号状態になるまでの時間を設定します。

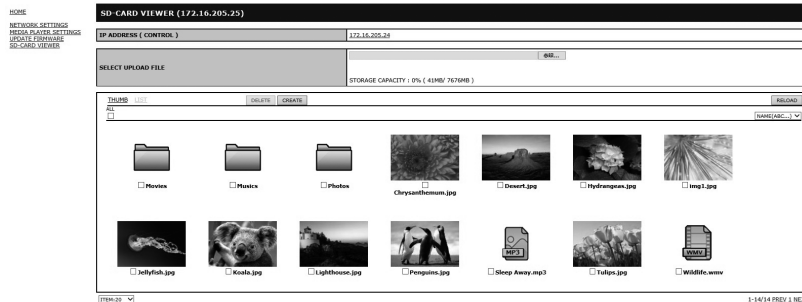
ネットワークその他設定の各設定項目を実行する場合は「確定」を選択してください。「確定」を選択しなかった場合、上記で設定した内容は実行されません。

共有SDカード設定で画像または動画をコピーする場合

本機に接続しているコンピューターから、本機に接続している microSD メモリーカードに静止画または動画をコピーします。静止画または動画をコピーする場合は、あらかじめメディアプレーヤーのネットワーク設定をおこなってください。設定の詳細は本取扱説明書の機能「メディアプレーヤーでできること」内の「ネットワークおよびその他設定」を参照ください。

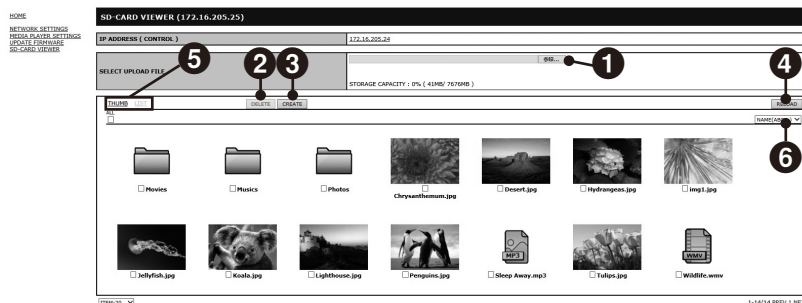
お知らせ

- フォルダーコピー実行中は、電源ランプが赤色の点滅となります。
電源ランプが赤色点滅の間は microSD メモリーカードを取り外したり主電源を切らないでください。microSD メモリーカード内のデータが破損する場合があります。また赤色点滅の間にリモコンの STANDBY ボタンまたは電源ボタンを押した場合は、コピー完了後に本機がスタンバイ状態に移行します。
- コピーできるファイルは動画、静止画、BGMのみです。メディアパッケージはコピーできません。



[設定手順]

1. ディスプレイに接続しているコンピューターの Monitor LAN control を開き、SD-CARD VIEWER を選択します。
2. SEARCH を選択しコンピューターと同一ネットワーク上に存在する他のディスプレイの IP アドレスを表示します。
3. コンピューターに接続しているディスプレイの IP アドレスを選択します。
4. ディスプレイに接続されている microSD メモリーカード内のファイルを表示しデータの追加、削除または並び替えをすることができます。



[ボタンの動作]

1: 選択とアップロード(参照)

参照を選択し、表示されたファイルの中から microSD メモリーカードにコピーするファイルを選択します。ファイルを選択すると FILE UPLOAD 画面が表示され、選択したファイルの一覧を表示します。OK を選択するとファイルのアップロードを開始します。

お知らせ

- コピーするデータ容量が microSD メモリーカードの最大容量を超えないように注意してください。microSD メモリーカードのメモリー容量は STRAGE CAPACITY で確認できます。

2: 削除(DELETE)

削除するファイルまたはフォルダーのチェックボックスをチェックします。DELETE を選択すると、DELETE FOLDERS/FILES 画面が表示されます。OK を選択するとファイルを削除します。

3: 作成(CREATE)

CREATE を選択すると microSD メモリーカード内に新しいフォルダーを作成します。NAME にフォルダー名を入力し OK を選択します。最大 255 文字まで入力できます。

4: 更新(RELOAD)

microSD メモリーカード内の情報を最新の状態にします。

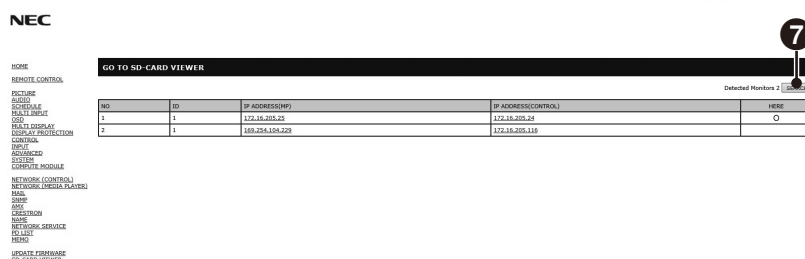
5: 表示形態(THUMB/LIST)

ファイルの表示形態を THUMB または LIST で切り替えます。

サムネイル画面またはファイル名のリンクをクリックするとファイル詳細画面を表示します。

6: 並び替え(SORT)

並び替える項目を選択し、microSD メモリーカード内のファイルやフォルダーを並び替えます。



7. 複数のディスプレイに接続し SD-CARD VIEWER を開く

Search を選択しコンピューターと同一ネットワーク上に存在する他のディスプレイの IP アドレスを表示します。表示した IP アドレス上で左クリックまたは右クリックし、コンピューターと同一ネットワーク上にあるディスプレイの SD-CARD VIEWER を開きます。

データコピー機能で USB ストレージデバイスまたは共有フォルダーのデータをコピーする

接続しているコンピューターなどに設定した共有フォルダーのデータまたは本機に接続している USB ストレージデバイスのデータを microSD メモリーカードにコピーします。

共有フォルダーをコピーする場合は、あらかじめ共有フォルダー設定をおこなってください。

設定の詳細は本取扱説明書の機能「メディアプレーヤーでできること」内の「共有フォルダー設定」を参照ください。

1. データコピーを選択します。
2. コピーする USB ストレージデバイスまたは共有フォルダーを選択します。
3. OK を選択すると microSD メモリーカードに保存されているデータを削除し、USB ストレージデバイスまたは共有フォルダーのすべてのデータをコピーします。

お知らせ

- コピー元に対して microSD メモリーカードの容量が十分でない場合、「容量が足りません」と表示されます。コピー元を再度選択してください。
- コピーを実行すると、コピー前に microSD メモリーカードに保存されていたデータは失われますので注意してください。
- 挿入されていないデバイスは表示されません。
- フォルダーコピー実行中は、電源ランプが赤色の点滅となります。
電源ランプが赤色点滅の間は microSD メモリーカードを取り外したり主電源を切らないでください。microSD メモリーカード内のデータが破損する場合があります。また赤色点滅の間にリモコンの STANDBY ボタンまたは電源ボタンを押した場合は、コピー完了後に本機がスタンバイ状態に移行します。

エマージェンシーコンテンツを再生する

緊急時に本機に接続したコンピューターからコマンドを送ることで、本機に接続した microSD メモリーカードのルートフォルダーに保存した EMERGENCY CONTENTS フォルダーを再生します。

詳細は付属のユーティリティディスク内の External_Control_J.pdf をご参照ください。

ピクチャーモード

SPECTRAVIEW ENGINE [OSDメニュー]→[映像設定]→[SPECTRAVIEW ENGINE]の設定によってピクチャーモードで選択できる項目が変わります。

SPECTRAVIEW ENGINEが“オン”の場合

ピクチャーモード[OSDメニュー]→[映像設定]→[ピクチャーモード]、またはリモコンのピクチャーモード(PICTURE MODE) ボタンで5つの表示モードを選択できます。

リモコンのPICTURE MODE ボタンで選択する場合

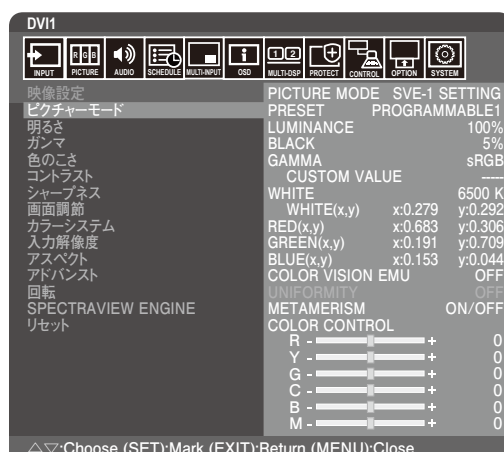
ボタンを押すと各表示モードが切り替わります。

SVE-1 → SVE-2 → SVE-3 → SVE-4 → SVE-5



OSDメニューのピクチャーモードから選択または設定変更する場合

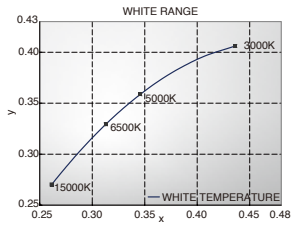
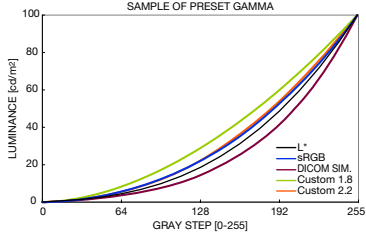
PICTURE MODEでSVE-1 SETTINGからSVE-5 SETTINGを設定します。PRESETで表示モードを設定します。



表示する画像やコンピューターの設定に応じて画質設定を切り替えることができます。また、マルチ画面にそれぞれ独立したPICTURE MODEが設定できます。

本機には以下の代表的な色空間が設定されており、PRESETとして各PICTURE MODEに割り当てられています。

PRESET 一覧	目的
sRGB	Windows® の標準色空間です。インターネットや動画の表示など一般的なコンテンツの表示に推奨されます。
Adobe® RGB SIM.	米国アドビシステムズが提唱している sRGB よりも広い色空間です。印刷物の再現性などに優れ、カラーマネジメント環境で推奨されています。
eciRGB_v2 SIM.	ヨーロッパの印刷業界で主に用いられる色空間です。
DCI SIM.	デジタルシネマに適した設定です。
REC-Bt709	HDTV 色空間規格に準じた設定です。
HIGH BRIGHT	最も高輝度な表示が可能です。
FULL	色変換をおこなわず、液晶ディスプレイ本来の色域で表示します。
DICOM SIM.	X 線画像の表示など医用画像を参照するのに適した画質設定です。
PROGRAMMABLE	MultiProfiler ソフトウェアまたは弊社製ソフトウェアによるハードウェアキャリブレーションなどで調節された状態が表示されます。

設定一覧	目的
LUMINANCE	画面の輝度を 0% ~ 100% の範囲で設定します。
WHITE	<p>白色の色温度もしくは xy 座標で設定します。 x 値を上げると赤味が、y 値を上げると緑味が、xy 値を両方下げると青味がそれぞれ増加します。NATIVE は液晶パネルの白色を表示します。</p> 
GAMMA	<p>グレイスケールの見え方など、階調特性を設定します。画面に灰色の画像を表示して設定をおこなってください。 sRGB : sRGB 用の設定です。 L STAR : L*a*b* 表示系で使われる輝度特性です。 DICOM SIM. : 医療業界で一般的な DICOM GSDF (Grayscale Standard Display Function) に調節します。 CST : CUSTOM VALUE の調節ができます。 CUSTOM VALUE : ガンマの値を 0.5 から 4.0 まで 0.1 単位に設定できます。暗くて見えにくい場合は数値を下げ、明るくて見えにくい場合は数値を上げます。</p> 
BLACK	黒輝度を 2% ~ 100% の範囲で手動設定します。
RED	表示したい色域を xy 色度で設定します。色合いと彩度が変化します。
GREEN	
BLUE	
COLOR VISION EMU	異なる色覚特性 (P/D/T 型) の見え方を擬似的に表現します。Grayscale は画像のコントラストを確認する機能です。
UNIFORMITY (本機は動作しません)	
METAMERISM	他のディスプレイとの視覚的な色差を低減する補正をおこないます。画面の表示色をピクチャーモードの設定値により近づける場合は OFF を設定してください。

お知らせ

- PICTURE MODE ごとに、以下の設定が保存されます。
PRESET、LUMINANCE、WHITE、GAMMA、BLACK、RED、GREEN、BLUE、COLOR VISION EMU、METAMERISM
- お使いのコンピューターの ICC プロファイルと PICTURE MODE の設定が異なる場合は正しい色再現性が得られません。
- 高度な画質設定や ICC プロファイルの自動設定をおこなう「MultiProfiler」ソフトウェアの使用をお奨めします。
MultiProfiler は弊社インターネットホームページよりダウンロードしてお使いください。

SPECTRAVIEW ENGINE が“オフ”の場合

ピクチャーモード [OSD メニュー] → [映像設定] → [ピクチャーモード]、またはリモコンのピクチャーモード (PICTURE MODE) ボタンで表示モードを選択できます。

STANDARD → sRGB → CINEMA → CUSTOM1 → CUSTOM2 → HIGHBRIGHT DVI、HDMI1、HDMI2、DisplayPort1、DisplayPort2、VGA(RGB)、OPTION*1 選択時

STANDARD → CINEMA → CUSTOM1 → CUSTOM2 → HIGHBRIGHT VGA(YPbYr)、VIDEO、MP 選択時

PRESET 一覧	目的
HIGH BRIGHT	最も高輝度な表示が可能です。
STANDARD	標準の設定です。
sRGB	Windows® の標準色空間です。インターネットや動画の表示など一般的なコンテンツの表示に推奨されます。
CINEMA	暗いシーンの階調表現力を引き上げ、奥行き感を再現する映画に適した設定です。
CUSTOM	任意の設定をおこないます。

*1 対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店にお問い合わせください。

インフォメーション

リモコンのDISPLAY ボタンを押すと、選択されている映像入力端子、音声入力端子、画面のアスペクト等の情報を表示します。
〈表示例〉

一画面表示の場合

DVI、DisplayPort1、DisplayPort2、VGA(RGB)、HDMI1、HDMI2 選択時

モニターID →	MONITOR ID:1	DVI	← 入力名称
IPアドレス →	IP ADDRESS: 192.168.0.10	AUDIO : IN1	← 選択音声入力名称
		ASPECT : FULL	← 画像アスペクト
		1024 × 768	← 解像度情報
		48kHz/60Hz	← 水平/垂直周波数

VGA(YPbPr) 選択時

モニターID →	MONITOR ID:1	VGA(YPbPr)	← 入力名称
IPアドレス →	IP ADDRESS: 192.168.0.10	AUDIO : IN1	← 選択音声入力名称
		ASPECT : WIDE	← アスペクト

VIDEO選択時

モニターID →	MONITOR ID:1	VIDEO	← 入力名称
IPアドレス →	IP ADDRESS: 192.168.0.10	AUDIO : IN1	← 選択音声入力名称
		ASPECT : NORMAL	← アスペクト
		PAL	← カラーシステム

マルチ画面またはテキストティッカーを選択している場合

画面1 : DVI

画面2 : HDMI2

モニターID →	MONITOR ID:1	DVI	← 入力名称(画面1)
IPアドレス →	IP ADDRESS: 192.168.0.10	AUDIO : IN1	← 選択音声入力名称
		ASPECT : FULL	← 画像アスペクト
		1024 × 768	← 解像度情報
		48kHz/60Hz	← 水平/垂直周波数
		⋮	
		HDMI2	← 入力名称(画面2)
		1024 × 768	← 解像度情報
		48kHz/60Hz	← 水平/垂直周波数

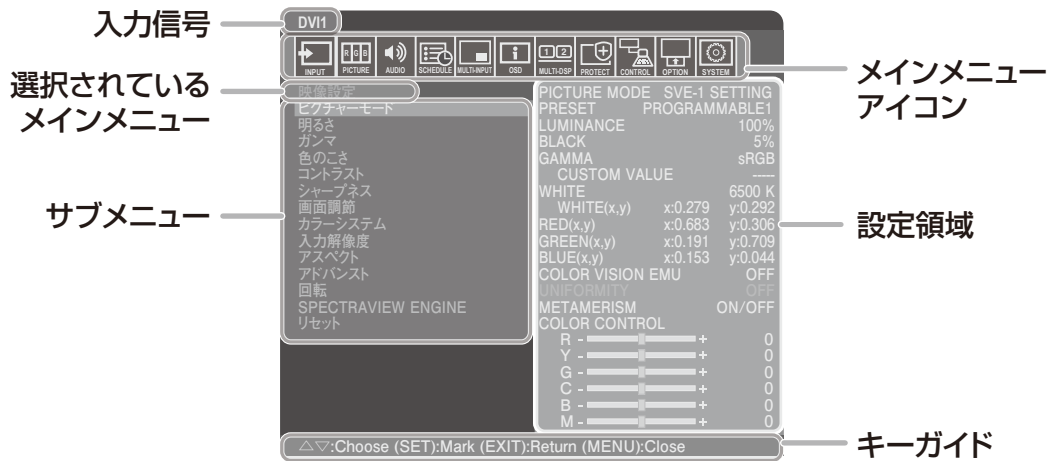
Plug&Play機能(DVI、DisplayPort、HDMIおよびVGA)

VESAのDDC (Display Data Channel) 2B規格またはDisplayPort規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に最適な画面が自動的に設定されます。
詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

画面調節 (OSD 機能)

本機には画面の調節が簡単にできるOSD(On Screen Display)機能がついています。OSD機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節等をおこないます。

OSD画面の構成 OSD画面は、以下に示すような構成になっています。



リモコンのMENUボタンまたは本体の▲、▼ボタンを押してOSD画面を表示します。

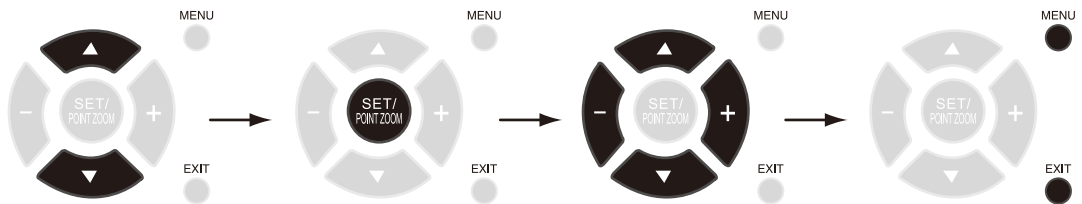
リモコン

[▲]または[▼]ボタンを押してサブメニューを選びます。

[SET/POINT ZOOM]を押します。

[▲]、[▼]、[+]、[-]を押して調節、または調節項目を選択します。

[MENU]ボタンまたは[EXIT]ボタンを押します。



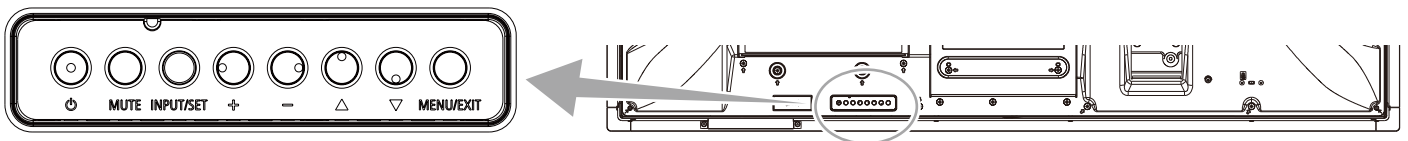
本機コントロールパネル

[▲]または[▼]ボタンを押してサブメニューを選びます。

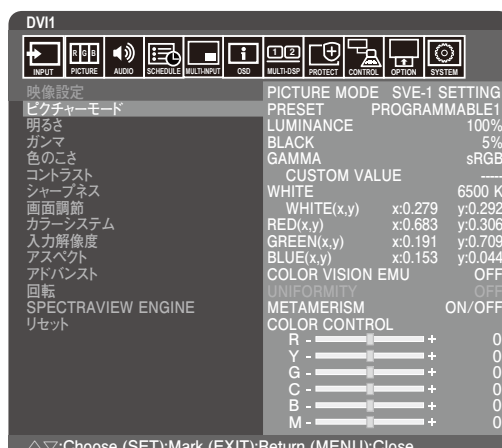
[INPUT]ボタンを押します。

[▲]、[▼]、[+]、[-]ボタンを押して選択します。

[EXIT]ボタンを押します。



OSD画面



メインメニュー

入力	
DVI	入力信号を選択します。
HDMI 1	
HDMI2	
DisplayPort 1	
DisplayPort2	
VGA (RGB/YPbPr)	
VIDEO	
MP	microSD メモリーカードやUSB ストレージデバイスに保存しているデータやオーサリングソフトで作成したデータをディスプレイに表示します。 メディアプレーヤーの各項目の設定については、本取扱説明書の機能「メディアプレーヤーでできること」内の「メディアプレーヤーの設定」を参照ください。
OPTION* ³	入力信号を選択します。
映像設定	
ピクチャーモード	現在表示中の入力端子のピクチャーモードを設定します。 詳細は本取扱説明書の機能「ピクチャーモード」を参照ください。 お知らせ ● SPECTRAVIEW ENGINE がオンのとき、WHITE が NATIVE に設定されていると WHITE は動作しません。 ● SPECTRAVIEW ENGINE がオンのとき、GAMMA で CST が選択されていないと CUSTOM VALUE を設定できません。設定する場合は GAMMA で CST を選択してください。
明るさ * ¹	
バックライト	バックライトの明るさを調節します。 +ボタンと-ボタンで画面をお好みの明るさに調節してください。 お知らせ ● コントロールの外光センサーで設定 1 または設定 2 が選択されている場合は機能しません。
明るさ * ²	画像の明るさを調節します。画面の暗い部分に注目して調節をおこなってください。
ガンマ * ¹ * ²	画像の明るさのレベルを選択します。
NATIVE	ガンマ調節機能を無効にします。
2.2	ガンマ調節値を 2.2 に設定します。
2.4	ガンマ調節値を 2.4 に設定します。
S GAMMA	ガンマカーブを明暗が強調される S 字形に設定します。
DICOM SIM.	医療業界で用いられる DICOM に近似したガンマ調節値に設定します。
PROGRAMMABLE1、2、3	ソフトウェアを用いて設定したガンマカーブが有効になります。

*1 : SPECTRAVIEW ENGINE がオンの場合、この機能は動作しません。

*2 : ピクチャーモードで sRGB が選択されている場合は機能しません。

*3 : 対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

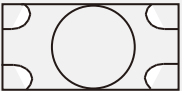
色のこさ *2	
色のこさ	色のこさを調節します。 +ボタンを押すと濃くなり、-ボタンを押すと薄くなります。
色温度 *1	色温度を調節します。 色温度が低くなると画面が赤っぽくなり、高くなると画面が青っぽくなります。R,G,Bそれぞれで色温度の調節ができます。 調節をおこなった場合は、色温度はカスタムと表示されます。 お知らせ ● ガンマでPROGRAMMABLE1、PROGRAMMABLE2またはPROGRAMMABLE3が選択されている場合は機能しません。
カラー コントロール	赤色、黄色、緑色、シアン色、青色、マゼンタ色のレベルをカラーバーで調節できます。 R：赤 Y：黄 G：緑 C：シアン B：青 M：マゼンタ
色相 *4 (MP、VIDEO入力の場合のみ)	画面の色相を調節します。 +ボタンを押すと緑がかった色、-ボタンを押すと紫がかった色になります。
コントラスト *1*2	
コントラスト	コントラストを調節します。 +ボタンと-ボタンで画面をお好みのコントラストに調節してください。
シャープネス *1	
シャープネス	文字や画像のキレを調節します。 +ボタンを押すとシャープになり、-ボタンを押すとソフトになります。 お知らせ ● 調節によっては線が二重になる場合があります。この場合はシャープネスの設定を下げてください。
画面調節	
オートセットアップ (VGA(RGB)入力の場合のみ)	本体の入力切替ボタンまたはSET/POINT ZOOMボタンを押すと画面の水平/垂直位置、クロック周波数、位相、ホワイトレベルを自動的に調節します。
オートアジャスト (VGA(RGB)入力の場合のみ)	「オン」を選択すると、新規タイミング検出時に水平/垂直位置、位相を自動的に調節します。
水平位置 (VGA(RGB)、VGA (YPbPr)、入力の場合のみ)	画面の水平位置を調節します。 +ボタンを押すと画面が右へ移動し、-ボタンを押すと画面が左へ移動します。
垂直位置 (VGA(RGB)、VGA (YPbPr)、入力の場合のみ)	画面の垂直位置を調節します。 +ボタンを押すと画面が上へ移動し、-ボタンを押すと画面が下へ移動します。
クロック周波数 (VGA(RGB)入力の場合のみ)	画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズがあっていないときに調節します。 +ボタンを押すと画面が広がります。 -ボタンを押すと画面が縮みます。
位相 (VGA(RGB)、VGA (YPbPr)入力の場合のみ)	画面に横方向のノイズが表示されたり、文字のにじみ、輪郭の表示がぼやけたときに調節します。
水平解像度 *3 (VGA(RGB)入力の場合のみ)	入力タイミングの水平解像度を設定します。
垂直解像度 *3 (VGA(RGB)入力の場合のみ)	入力タイミングの垂直解像度を設定します。
カラーシステム (VIDEO入力の場合のみ)	
自動	使用するビデオ機器の映像信号フォーマットを選択します。
NTSC	NTSC、PAL、SECAM、4.43NTSCあるいはPAL60のビデオ入力方式により自動的に選択
PAL	NTSCフォーマット
SECAM	PALフォーマット
4.43 NTSC	SECAMフォーマット
PAL-60	4.43 NTSCフォーマット
	PAL60フォーマット


*1：SPECTRAVIEW ENGINEがオンの場合、この機能は動作しません。

*2：ピクチャーモードでsRGBが選択されている場合は機能しません。

*3：個別調節後はオートセットアップをおこなうことを推奨します。

*4：MP 入力の場合は動画にのみ有効です。

入力解像度 (VGA(RGB)入力の場合のみ)	走査周波数が類似した、自動判別が難しい信号が入力された場合に解像度を強制的に指定します。表示中の入力信号の解像度によって設定項目は変化します。問題が無い場合は自動のみが表示されます。自動を選ぶと解像度を自動的に選択します。										
アスペクト	画像のアスペクトを選択します。詳細は本取扱説明書の機能「アスペクト変更」を参照ください。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> ● アスペクトのダイナミックまたはダイナミック動作時にタイルマトリクスを設定した場合、ダイナミックまたはZOOMは解除され、フルの表示で動作します。タイルマトリクス解除後は、元の設定に戻ります。 ● タイルマトリクス動作時にアスペクトをダイナミックまたはZOOMに設定を変更した場合、タイルマトリクス解除後に反映されます。 ● スクリーンセーバーを設定するとアスペクトは自動的にフルになります。スクリーンセーバーを解除すると、設定されたアスペクトになります。 ● スクリーンセーバーのモーションが設定されているとこの機能は操作しません。 ● ポイントズーム機能の使用には制限があります。詳細は本取扱説明書の付録「ポイントズーム機能」を参照ください。 ● 映像反転でオフ以外を選択すると、ダイナミックは解除され、フルの表示で動作します。映像反転でオフを選択すると、設定したアスペクトを実行します。 ● ZOOM機能において画面を縮小して使用した場合、画像が劣化する可能性があります。 ● 画面を縮小して表示している場合、水平位置、垂直位置の設定を変更しても表示されている画像に変化はありません。 ● 解像度3840×2160(60Hz)の信号を入力している場合、ZOOMは使用できません。 										
標準	比率を変えずに、できるだけ大きく表示します。										
フル	比率を変えて、画面いっぱいに表示します。										
ワイド	4：3のレターボックス信号を画面いっぱいになるよう表示します。画像のアスペクトによっては画像の一部が表示されない場合があります。										
ダイナミック	画面中央部と外側で伸張比率を変えて、自然なワイド表示にできます。 ただし画像によっては上下がカットされたイメージになります。HDTV映像の場合はフルと同じ表示になります。 <div style="text-align: right;">  「ダイナミック」 </div>										
1:1	画像サイズそのまま表示します。入力信号の解像度が推奨解像度を超える場合、画像サイズを小さくし画面に合うよう表示します。										
ズーム	ズームモードでの設定で表示されます。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; padding: 2px;">ZOOM</td> <td style="padding: 2px;">水平/垂直を同時に拡大/縮小します。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">HZOOM</td> <td style="padding: 2px;">水平のみが拡大/縮小します。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">VZOOM</td> <td style="padding: 2px;">垂直のみが拡大/縮小します。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">H POS</td> <td style="padding: 2px;">+で右へ移動,-で左へ移動します。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">V POS</td> <td style="padding: 2px;">+で上へ移動,-で下へ移動します。</td> </tr> </table>	ZOOM	水平/垂直を同時に拡大/縮小します。	HZOOM	水平のみが拡大/縮小します。	VZOOM	垂直のみが拡大/縮小します。	H POS	+で右へ移動,-で左へ移動します。	V POS	+で上へ移動,-で下へ移動します。
ZOOM	水平/垂直を同時に拡大/縮小します。										
HZOOM	水平のみが拡大/縮小します。										
VZOOM	垂直のみが拡大/縮小します。										
H POS	+で右へ移動,-で左へ移動します。										
V POS	+で上へ移動,-で下へ移動します。										

アドバンスト	
オーバースキャン (HDMI1、HDMI2、VIDEO、MP、OPTION*2、VGA (YPbPr)入力の場合のみ)	画像表示エリアを選択します。 お知らせ ● HDMI出力付コンピューターと接続して使用する場合は、オフにしてください。
	オン 入力信号の約95%を表示します。
	オフ 入力信号のほぼ100%を表示します。信号によっては、画面の端にノイズが出る場合があります。
	自動 入力画像表示エリアを自動設定します。 お知らせ ● 入力信号がVGA(YPbPr)、VIDEOまたはMPの場合選択できません。
デインターレース	デインターレースモードを選択します。 お知らせ ● 入力切替でスーパーを選択している場合は機能しません。 ● 映像反転は動作しません。
	オン インターレース信号をプログレッシブに変換して表示します。通常はこちらを選択してください。
	オフ インターレース信号をそのまま表示します。この機能は動画に適していますが、静止画では画像がきれいに表示されなくなります。
ノイズリダクション (VIDEO系入力の場合のみ)	ノイズを低減する度合いを調節します。
テレシネモード (HDMI1、HDMI2、VIDEO、VGA(YPbPr)、MP入力の場合のみ)	24フレーム/秒の映像を自動検出して表示するかどうかを設定します。 お知らせ ● テレシネモードを自動に設定した場合は、デインターレースをオンに設定してください。
アダプティブ コントラスト*1 (HDMI1、HDMI2、VIDEO、VGA(YPbPr)、MP入力の場合のみ)	表示する内容に合わせて、コントラストを自動的に調節する機能です。調節の強さを設定します。強を選ぶとはっきりとした表示になりますが、コントラストの変動値が大きいため、画面の明るさが不安定になりやすくなります。
回転	画像を左右反転、上下反転、180°回転して表示する機能です。 お知らせ ● スクリーンセーバーでモーションが動作している場合は、回転は動作しません。
映像反転	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div>オフ</div> <div>左右反転</div> <div>上下反転</div> <div>180°回転</div> </div> 
	お知らせ ● 映像反転でオフ以外を選択すると、以下の機能は解除されます。 マルチ画面モード、スチル機能、テキストティッカー、ポイントズーム、タイルマトリクス。 ● 画像のアスペクトのダイナミックは解除され、フルの表示で動作します。 ● インターレース信号を入力している場合、映像が乱れることがあります。
	オフ 通常の表示状態です。
	左右反転 左右反転して表示されます。
	上下反転 上下反転して表示されます。
180°回転 180°回転して表示されます。	
OSD反転	OSDメニューの反転を設定する機能です。
SPECTRAVIEW ENGINE	オンを選択すると高度な色補正機能が動作します。詳細は本取扱説明書の機能「ピクチャーモード」を参照ください。
リセット	ピクチャーモードとSPECTRAVIEW ENGINE以外の映像設定の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

*1：SPECTRAVIEW ENGINEがオンの場合、この機能は動作しません。

*2：対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

音声設定	
音量	音量を調節します。ラインアウトの音量はサラウンドがオフで、ラインアウトが「連動」のときのみ調節できます。
バランス	
バランス	音声の出力をステレオかモノラルかを設定します。ステレオに設定すると左右の音声バランスが調節できます。 +ボタンを押すと右側の音が大きくなり、-ボタンを押すと左側の音が大きくなります。 ステレオ/モノラルでモノラルを設定した場合、バランスは動作しません。
サラウンド	スピーカー出力音声は擬似サラウンドになります。 サラウンドをオンにするとラインアウトは無効になります。
イコライザー	
高音	高音域の音量を調節します。 +ボタンを押すと高い音が強くなり、-ボタンを押すと高い音が弱くなります。
低音	低音域の音量を調節します。 +ボタンを押すと低い音が強くなり、-ボタンを押すと低い音が弱くなります。
音声入力	音声入力を各映像入力ごとに切り替えることができます。 [DVI]、[HDMI1]、[HDMI2]、[DisplayPort1]、[DisplayPort2]、[IN1]、[IN2]、[VIDEO]、[MP]、[OPTION]* ¹ から選択します。 [HDMI1]、[HDMI2]音声入力は、HDMI映像入力時のみ選択可能です。 [DisplayPort1]、[DisplayPort2]音声入力は、DisplayPort映像入力選択時のみ選択可能です。 [OPTION]音声入力は、オプションの音声でデジタルを選択するとOPTIONの映像入力選択時のみ選択可能です。
マルチ画面音声	マルチ画面モードを使用しているときの音声を選択します。 画面を選択すると、その画面の音声が出力されます。
ラインアウト	「連動」を選択すると本体の+ボタンまたはリモコンの音量調節プラスボタン(+)、音量調節マイナスボタン(-)でオーディオ音量を調節できます。「固定」を選択すると音量は固定されます。
音声遅延	
音声遅延	「オン」を選択すると遅延時間が反映されます。
遅延時間	音声が出力されるまでの遅延時間を調節します。遅延時間は0～100ミリ秒の間で設定できます。
リセット	音量以外の音声設定の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

*1：対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

スケジュール	
スケジュール設定	<p>本機の動作スケジュールを設定します。</p> <p>▲ ▼ ボタンで項目を移動し、＋ボタンで調節します。</p> <p>本体の入力切替ボタンまたはリモコンのSET/POINT ZOOM ボタンでチェックボックスのチェックをオン/オフすることができます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「スケジュール」を設定する前に、必ず「日付／時刻設定」で現在の日付を設定してください。 ● スケジュール画面を閉じると設定した値が保存されます。 ● 複数のスケジュールが同時刻に設定されている場合は、プログラム番号の大きいスケジュールを優先します。 ● オフタイマーが動作中の場合は、スケジュール設定を無視します。 ● 現在の設定で選択できない入力端子またはピクチャーモードが設定されている場合は赤色で表示されます。 ● 設定画面を開いている間スケジュールは実行されません。
設定	最大30件設定することができます。オンにするとスケジュールを有効になります。
電源制御	電源制御のオンまたはオフを設定します。スケジュールを設定した各チェックボックスごとにオンまたはオフを設定してください。
時刻	スケジュールを実行する時間を設定します。時間を指定しない場合は「―」を設定してください。
入力	スケジュールを実行時に使用する入力信号を設定します。スケジュール実行前に選択されていた入力信号から変更しない場合は「―」を設定してください。入力を設定する際は電源制御をオンに設定してください。
PIC.MODE	スケジュール実行時に使用するピクチャーモードを設定します。PIC. MODE を設定する際は電源をオンに設定してください。スケジュール実行前に選択されていたピクチャーモードから変更しない場合は「―」を設定してください。
以下から1項目選択します。複数項目の選択はできません。	
日付	特定の日付を指定する場合に年/月/日を設定します。
毎日	設定したスケジュールを毎日実行する場合、「毎日」のチェックボックスにチェックを付けます。
毎週	毎週同じ曜日にスケジュールを実行する場合は毎週のチェックボックスにチェックを付けます。
平日	休日設定と週末設定で設定した日付と曜日以外の日付にスケジュールを実行します。
週末	週末設定で設定した曜日にスケジュールを実行します。
休日	休日設定で設定した日付にスケジュールを実行します。
スケジュール一覧	設定中のスケジュールの一覧が表示されます。順番が表示されるのは現在時刻から30日以内のスケジュールです。
休日設定	
No.	最大50件設定することができます。
年月日週	<p>日 : 日を設定する場合は「日」を選択し、日を設定してください。</p> <p>週 : 週と曜日を設定する場合は「週」を選択します。毎月設定した第何週目の何曜日が休日として設定されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 年と月の設定を「―」とすると、設定した日または週が毎年または毎月休日として設定されます。
終了日	<p>休日を期間で設定する場合休日の終了日を設定します。</p> <p>年をまたいで設定をする際は年内の設定と翌年の設定を分けて登録してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「日」が選択されていないと最終日は設定できません。休日設定で設定した月または日に「―」が設定している場合は選択できません。
決定 / 削除	選択スケジュールを登録または削除します。
週末設定	
週末	曜日を設定します。

日付 / 時刻設定	<p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機の主電源オフのまま約2週間以上経過すると日付・時刻が工場出荷状態に戻り時計機能が停止します。この場合は「日付 / 時刻設定」を再度おこなってください。
年 月 日 時刻	年 / 月 / 日 / 時間を設定します。スケジュール機能を使用する場合は必ず設定してください。
日付	現在の時刻を表示します。
サマータイム	サマータイム(日本で使用する場合は設定しないでください)
	<p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サマータイムの設定を変更する際は、日付 / 時刻設定をおこなった後に設定してください。
サマータイム	オンを設定した場合、以下で設定したサマータイムを実行します。
開始 月 日 時刻	サマータイムの開始月 / 日 / 時間を設定します。
終了 月 日 時刻	サマータイムの終了月 / 日 / 時間を設定します。
時差	現在時刻とサマータイムの時差を設定します。
オフタイマー	自動的に本機がスタンバイ状態になるまでの時間を設定します。設定可能時間は1時間～24時間です。
	<p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オフタイマーをオンにすると、スケジュールは動作しません。
リセット	日付 / 時刻設定とサマータイム以外のスケジュールの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。
マルチ入力	
マルチ画面モード *1 保持	マルチ画面とテキストティッカーを電源オンまたはスタンバイ状態でも保持し、次回起動時にも再現するかを設定します。
マルチ画面モード *1*2	オンを選択するとマルチ画面の表示形態を切り替えます。
	<p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● テキストティッカー、クローズドキャプション、タイルマトリクス、スクリーンセーバーのモーション、映像反転のオフ以外、入力切替のスーパーは解除されます。
マルチ画面	PIP、PBPからマルチ画面の表示形態を選択します。
選択画面 *1*3	
選択	マルチ画面の中から選択画面を選択します。
選択枠	オンを選択した場合、選択画面に枠を表示します。
入力選択 *1*2*3	マルチ画面の入力端子を設定します。
	<p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 選択枠のある画面の入力を切り替える場合は、入力端子を選択したあとSETボタンを押してください。
画面 1 画面 2	+ボタンまたは-ボタンを押し、入力端子を切り替えます。
画面サイズ *1*3*4	選択画面の画面サイズを調節します。 +ボタンまたはリモコンのチャンネル/ズーム調節プラスボタン(CH/ZOOM+)を押すと拡大し、-ボタンまたはリモコンのチャンネル/ズーム調節マイナスボタン(CH/ZOOM-)を押すと縮小します。
画面位置 *1*3*4	選択画面の表示位置を移動します。 +ボタンを押すと画面の右へ移動し、-ボタンを押すと画面の左へ移動します。 ▲ボタンを押すと画面の上へ移動し、▼ボタンを押すと画面の下へ移動します。

*1 : スクリーンセーバーのモーション、映像反転のオフ以外、タイルマトリクス、入力切替のスーパーが選択されている場合は動作しません。
*2 : 入力信号にOPTIONを選択している場合は、対応するオプションボード装着時のみ設定可能です。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。
*3 : テキストティッカーがオフ以外またはマルチ画面モードのマルチ画面がオフの場合は動作しません。
*4 : マルチ画面モードのマルチ画面でPIPが選択されていて選択画面で画面1が選択されている場合は動作しません。

アスペクト *1*3*4	<p>選択画面の表示枠のアスペクトを設定します。</p> <p>画像のアスペクトを変更する場合は、アスペクト [OSDメニュー] → [映像設定] → [アスペクト] を設定してください。</p>
テキストティッカー *1*2	<p>マルチ画面の映像を、設定に応じてテロップ状に合成表示する機能です。マルチ画面の信号の一部を、表示する方向とサイズに合わせ、左上を基準にトリミングして親画面に合成表示します。表示する方向、位置、サイズ、マルチ画面の入力が無くなった場合の処理、画面1、画面2の入力信号が設定できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● テキストティッカーを設定するとマルチ画面モードとスチル機能が動作しません。 ● テキストティッカー動作時にマルチ画面モード、タイルマトリクス、スクリーンセーバー、映像反転でオフ以外、入力切替のスーパー、クローズドキャプションを実行するとテキストティッカーは解除されます。 ● テキストティッカーが動作している場合、スチル機能、ポイントズームは選択動作しません。
モード	テキストティッカーの表示の有無および表示方向を設定します。
位置	+ボタンまたは-ボタンでテキストティッカーの表示位置と表示サイズを設定します。
サイズ	
信号検出	自動を選択すると画面の入力信号があるときにテキストティッカーを表示します。
入力選択	画面1または画面2の入力信号を設定します。
入力信号検出	<p>複数の入力がある場合に、入力信号があるコネクタに自動的に切り替える機能です。</p> <p>選択されているコネクタはリモコンのDISPLAYボタンを押すとインフォメーションOSDに表示されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 入力信号検出の動作時に人感センサーを実行すると入力信号検出は解除されます。 ● 入力切替でスーパーを選択している場合は機能しません。
オフ	入力端子を手動で切替えます。
FIRST DETECT*2*5	<p>現在表示しているコネクタの入力信号が無くなった場合は、入力信号のある他の端子を探して自動的に切り替えます。</p> <p>現在表示している端子とは別の端子から新たに信号が入力された場合でも、表示は切り替えません。</p>
LAST DETECT*2*5	<p>現在表示しているコネクタの入力信号が無くなった場合は、入力信号のある他の端子を探して自動的に切り替えます。</p> <p>現在表示している端子とは別の端子から新たに信号が入力された場合は、表示を切り替えます。</p>
CUSTOM DETECT*2	<p>入力信号を自動で切り替えるときの優先順位を設定できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CUSTOM DETECTを選択すると、優先順位を設定していない入力信号には切り替えられません。 ● スロット2タイプPCオプション以外の場合、OPTION入力端子は優先順位3にのみ設定可能です。 ● 優先順位1~3でDisplayPort1を選択した場合、OPTION(スロット2タイプPCオプション(DP)使用時)は選択できません。優先順位1~3でOPTION(スロット2タイプPCオプション(DP)使用時)を選択した場合、DisplayPort1は選択できません。
入力切替	<p>入力端子を切り替えるときの速さを設定します。</p> <p>高速を選択すると、通常時より早く切り替えられます。切り替え時にノイズが出る場合があります。</p> <p>スーパーを選択すると、選択した2つの入力端子のみを高速より速く切り替えます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スーパーが設定されている場合、マルチ画面モード、テキストティッカー、スチル機能、ポイントズーム機能は動作しません。 ● オプションボードの種類によってはスーパーは動作しません。

*1：スクリーンセーバーのモーション、映像反転、タイルマトリクス、入力切替のスーパーが選択されている場合は動作しません。

*2：入力信号にOPTIONを選択している場合は、対応するオプションボード装着時のみ設定可能です。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

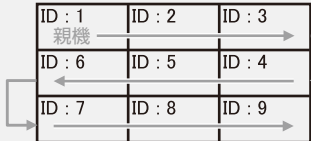
*3：テキストティッカーがオフ以外またはマルチ画面モードのマルチ画面がオフの場合は動作しません。

*4：マルチ画面モードのマルチ画面でPIPが選択されていて選択画面で画面1が選択されている場合は動作しません。

*5：MPは除く。

ターミナルモード	複数の入力信号が接続できるコネクタそれぞれの接続信号を設定します。
DVI モード	PCやその他のコンピューターとDVI入力コネクタを使用して接続する場合、「DVI-PC」を選択します。 DVDプレーヤーとDVI入力コネクタを使用して接続する場合、「DVI-HD」を選択します。
VGA モード	VGA入力コネクタに接続している信号によって「RGB」または「YPbPr」を選択します。
SYNC TYPE	VGA(RGB)信号の同期信号の種類を選択します。 自動：自動を選択した場合、同期信号の種類の自動判別をおこないます。 H/V SYNC：H/V SYNC信号を入力していて「自動」で画像が乱れる場合は「H/V SYNC」を選択します。 SOG：SOG信号を入力していて「自動」で画像が乱れる場合は「SOG」を選択します。 お知らせ ● VGAモードでYPbPrを選択している場合、SYNC TYPEは設定できません。
DisplayPort	DisplayPort 1.1aを選択した場合「SST」に自動的に設定されます。 DisplayPort 1.2を選択した場合「SST」または「MST*」を選択します。 DisplayPort 2入力の場合はMSTは選択できません。
ビットレート	DisplayPort 1.1aを選択した場合はHBRを自動的に設定します。 DisplayPort 1.2を選択しSSTを選択した場合は「HBR」または「HBR2」を選択します。 DisplayPort 1.2を選択しMSTを選択した場合はHBR2を自動的に設定します。
イコライザー	長いケーブルなどを使用し、画面の劣化が生じたときに信号の劣化を補正し見やすい画面にします。数値が高くなる程、信号を補正します。
スロット 2	スロット 2 タイプオプションからのDisplayPort信号を補正します。
DisplayPort 1	DisplayPort 1からの信号を補正します。
HDMI	設定 1 または設定 2 を選択します。 設定 1：最大解像度 3840 x 2160 (30Hz) 設定 2：最大解像度 3840 x 2160 (60Hz)
ビデオレベル	表示する階調範囲を映像信号にあわせ、映像の白飛びや黒浮きを改善します。 ノーマル：コンピューター用の設定です。入力信号の0～255階調をすべて表示します。 エキスパンド：AV機器用の設定です。入力信号の16～235階調を0～255階調に拡張して表示します。 自動：表示する階調範囲を自動的に設定します。 お知らせ ● 入力信号がHDMI, DisplayPort または OPTION が選択されている場合のみ設定できます。
リセット	入力信号検出、入力切替(入力 1、入力 2)、入力選択、アスペクト、ビットレート以外のマルチ入力の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。
OSD	
言語選択	OSDに使用する言語を選択します。
OSD 時間	OSDメニュー表示時間の設定をします。 10秒～240秒の間で設定ができます。
OSD 位置	OSDメニューの表示位置を調節します。 +ボタンを押すと画面の右へ移動し、-ボタンを押すと画面の左へ移動します。 ▲ボタンを押すと画面の上へ移動し、▼ボタンを押すと画面の下へ移動します。
インフォメーション OSD	インフォメーションOSD表示のオン/オフ、および表示時間を設定します。 3～10秒間の表示時間設定ができます。 お知らせ ● インフォメーションOSD表示は入力の切替えや入力信号の状態が変化したとき、または入力信号が異常なときに画面に表示されるメッセージです。
IP/ID 情報	IPアドレスとモニターID設定の表示をオン/オフで設定します。 表示される内容はIDコントロール[OSDメニュー]→[マルチディスプレイ]→[IDコントロール]またはLAN[OSDメニュー]→[コントロール]→[LAN]で設定します。
OSD 透過	OSD表示時の背景映像の透過するかしないかを設定します。

*：マルチストリームの使用には、マルチストリーム対応のビデオカードが必要です。マルチストリーム使用の際の制限については販売店にお問い合わせください。

OSD 方向	OSDの表示方向を設定します。	
ランドスケープ	横型設置した場合に見やすい方向でOSDを表示します。	
ポートレート	縦型設置した場合に見やすい方向でOSDを表示します。 お知らせ ● ポートレートが選択されている場合、クローズドキャプションは選択できません。	
キーガイド	OSD画面を表示しているときにキーガイドを表示する機能です。 お知らせ ● OSD反転がオンに設定されている場合は動作しません。	
メモ	HTTPサーバーからお好みのタイトルと表示内容を設定できます。 詳細は本取扱説明書の付録「LAN コントロール」内の「MEMO 設定」を参照ください。	
入力名称	現在表示中の入力端子名称を変更できます。アルファベット、数字、一部の記号が使えます。最大文字数は14文字です。	
クローズドキャプション (VIDEO入力の場合のみ)	クローズドキャプションを設定します。 お知らせ ● クローズドキャプション動作時に以下の機能を設定するとクローズドキャプションは解除されます。 マルチ画面モード・テキストティッカー・OSD方向のポートレート・タイトルマトリクス・スクリーンセーバー・スチル・ポイントズーム・入力切替のスーパー	
リセット	OSDの以下の設定が工場出荷時の状態に戻ります。 OSD時間、OSD位置、インフォメーションOSD、OSD透過、クローズドキャプション	
マルチディスプレイ		
簡単タイトルマトリクス 設定	<p>100台までのディスプレイを使用して単一画面が表示できます。</p> <p>親機で水平モニター数と垂直モニター数を入力することにより、マルチスクリーンを自動設定する機能です。以下の項目が自動設定されます。</p> <p>モニターID、タイトルマトリクス、タイトルマトリクス設定保存、入力端子、映像出力設定、ターミナルモードのDisplayPort。</p>	<p>以下はLANケーブルによるマルチ接続の接続例です。マルチ接続については本取扱説明書の付録「マルチ接続について」を参照ください。</p> <p>簡単タイトルマトリクス設定 水平モニター数：3、垂直モニター数：3</p> 
	<p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● AUTO IDが実行されていない場合は、自動的にAUTO IDが実行されます。 ● 簡単タイトルマトリクス設定を使用するときは、DisplayPortケーブルでのマルチ接続(数珠つなぎ)を推奨します。 ● 簡単タイトルマトリクス設定の実行時にスクリーンセーバーのモーションを実行すると簡単タイトルマトリクス設定は解除されます。 	
設定コピー	<p>現在制御中のディスプレイの設定値をLANを使ってマルチ接続(数珠つなぎ)した他のディスプレイにコピーできます。</p> <p>コピー開始で、するを選択し、本体の入力切替ボタンまたはリモコンのSET/POINT ZOOMボタンを押すとチェックが付いている項目の設定内容がマルチ接続されている他のディスプレイすべてにコピーされます。全入力信号にチェックを付けると、すべての入力端子に対する設定値がコピーされます。</p> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定コピーを使用するときは、LANケーブルでマルチ接続(数珠つなぎ)をしてください。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 使用するケーブルにより接続可能台数は変わります。コピーされる項目については付属のユーティリティディスク内のSetting copy.pdfをご参照ください。 	

<p>タイルマトリクス</p>	<p>タイルマトリクスは画面を分割してマルチスクリーンで表示する機能です。また、画像を水平および垂直に最大10分割できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● タイルマトリクスを実行しているときに、メディアプレーヤーの画像を再生すると、各ディスプレイは同期していないため、表示タイミングに差が生じることがあります。 ● 分配器またはDisplayPort出力コネクタを使って、映像信号を各々のディスプレイへ接続することが必要です。タイルマトリクス動作時は、マルチ画面モード、テキストティッカー、クローズドキャプション、スチル機能、ポイントズーム機能は動作しません。 ● アスペクトでダイナミックまたはZOOMが設定されている場合、フルの設定になります。タイルマトリクス後は設定されたアスペクトの表示に戻ります。 ● タイルマトリクス動作時にアスペクトの設定をダイナミックまたはZOOMに変更した場合、タイルマトリクス解除後に反映されます。 ● 低い解像度の映像信号は多数のディスプレイを使用するマルチスクリーン表示には適していません。 ● ポイントズーム機能の使用には制限があります。詳細は本取扱説明書の付録「ポイントズーム機能」を参照ください。 ● タイルマトリクス動作時にスクリーンセーバーまたは映像反転でオフ以外を実行するとタイルマトリクスは解除されます。 ● スクリーンセーバー動作時はタイルマトリクスは動作しません。 ● ターミナルモードのHDMIで設定2が設定されている場合、タイルマトリクスは動作しません。
<p>水平モニター数</p>	<p>水平分割数を設定します。</p>
<p>垂直モニター数</p>	<p>垂直分割数を設定します。</p>
<p>位置</p>	<p>拡大したい部分を選択します。</p>
<p>TILE COMP</p>	<p>画面を複数のディスプレイに分割して表示する場合、より自然に見えるようにディスプレイのつなぎ目の表示方法を変更する機能を選択します。 +ボタンまたは-ボタンで表示画面の位置やサイズを微調節することもできます。</p>
<p>許可</p>	<p>「する」を選択した場合、タイルマトリクスの各設定を適用します。</p>
<p>タイルマトリクス設定保存</p>	
<p>共通</p>	<p>タイルマトリクスでの設定をすべての入力信号に適用します。</p>
<p>入力</p>	<p>タイルマトリクスでの設定を個々の入力信号ごとに適用します。</p>

ID コントロール	<p>コントロール用のID番号を与えます。モニターID番号は1～100、グループID番号はA～Jの間で選べます。</p> <p>モニターID番号は以下の場合に使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リモコンをIDモードで使用する場合 ・ LANを使ってマルチ接続(数珠つなぎ)をした場合 <p>グループID番号はLANを使ってマルチ接続(数珠つなぎ)する場合に使用します。グループID番号は1つのディスプレイに複数設定できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● AUTO ID/IP設定、AUTO ID/IPリセットを実行中に主電源オフまたはスタンバイ状態にしないでください。 																																	
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="113 472 359 539">AUTO ID/IP 設定</td> <td data-bbox="359 472 1495 539"> <p>「開始」を選択すると、AUTO ID/IP設定の設定画面が表示されます。 マルチ接続(数珠つなぎ)をしているディスプレイ間にネットワーク機器を接続しないでください。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="113 539 359 1294"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="177 546 359 584">モード選択</td> <td data-bbox="359 546 1495 584">「モニターID」、「IPアドレス」、「ID and IP」から設定する項目を選択します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 584 359 696">モニターID</td> <td data-bbox="359 584 1495 696">設定中のディスプレイ以下のマルチ接続(数珠つなぎ)されているすべてのディスプレイにモニターIDが自動的に設定されます。 設定されていたモニターIDは上書きされます。グループIDは変更されません。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 696 359 808">IPアドレス</td> <td data-bbox="359 696 1495 808">設定中のディスプレイ以下のマルチ接続(数珠つなぎ)されているすべてのディスプレイにIPアドレスが自動的に設定されます。 設定されていたIPアドレスは上書きされます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 808 359 853">ID and IP</td> <td data-bbox="359 808 1495 853">「モニターID」と「IPアドレス」を設定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 853 359 987">先頭番号</td> <td data-bbox="359 853 1495 987">親機のベース番号を1～100の間で設定します。親機のベース番号を基準にマルチ接続されているすべてのディスプレイのモニターIDを昇順に自動設定します。モニターIDの最大値が100となるため、マルチ接続されているすべてのディスプレイに設定されるモニターIDが100に納まるように親機のベース番号を設定してください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 987 359 1099">BASE ADDRESS</td> <td data-bbox="359 987 1495 1099">BASE ADDRESSの第1オクテットから第3オクテットを設定してください。 第4オクテットはディスプレイが接続されている順にベース番号から昇順に自動設定します。 BASE ADDRESSはモード選択で「IPアドレス」もしくは「ID and IP」を設定したときのみ表示されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 1099 359 1178">ID/IP設定開始</td> <td data-bbox="359 1099 1495 1178">「する」を選択した場合、マルチ接続されているすべてのディスプレイに対してAUTO ID/IP設定が実行されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 1178 359 1294">モニター検出数</td> <td data-bbox="359 1178 1495 1294">モード選択を選択しID/IP設定開始を実行するとモニター検出数が表示されます。 接続台数と異なる場合は「リトライ」を選択し再度実行してください。 接続台数が正しい場合は「続ける」を選択してください。</td> </tr> </table> </td> <td data-bbox="359 465 1495 1294"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="113 1294 359 1603"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="113 1301 359 1346">AUTO ID/IP リセット</td> <td data-bbox="359 1301 1495 1346">「リセット」を選択すると、AUTO ID/IPリセットの設定画面が表示されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="113 1346 359 1458">リセットモード選択</td> <td data-bbox="359 1346 1495 1458">「モニターID」、「IPアドレス」、「ID and IP」からリセットする項目を選択します。 マルチ接続(数珠つなぎ)する台数を変更する場合は、AUTO ID/IP設定の「モード選択」で選択した項目を「リセットモード選択」で選択してください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="113 1458 359 1603">ID/IPリセット開始</td> <td data-bbox="359 1458 1495 1603">「する」を選択すると、リセットモード選択で選択した項目を初期値に戻します。 お知らせ ● AUTO ID/IPリセットを実行した場合、マルチ接続(数珠つなぎ)をしていてもモニターIDやIPアドレスの設定は個々の設定になります。</td> </tr> </table> </td> <td data-bbox="359 1294 1495 1603"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="113 1603 359 1648">モニター検出数</td> <td data-bbox="359 1603 1495 1648">モニターIDが設定されたディスプレイの台数を表示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="113 1648 359 1715">コマンド転送</td> <td data-bbox="359 1648 1495 1715">「オン」を設定した場合、コマンドをマルチ接続(数珠つなぎ)しているディスプレイに転送します。 AUTO ID/IPリセットを実行すると、ディスプレイ間でのコマンド転送操作はできなくなります。</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="76 1715 359 1760">リセット</td> <td data-bbox="359 1715 1495 1760">マルチディスプレイの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。</td> </tr> </table> </td></tr></table>	AUTO ID/IP 設定	<p>「開始」を選択すると、AUTO ID/IP設定の設定画面が表示されます。 マルチ接続(数珠つなぎ)をしているディスプレイ間にネットワーク機器を接続しないでください。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="177 546 359 584">モード選択</td> <td data-bbox="359 546 1495 584">「モニターID」、「IPアドレス」、「ID and IP」から設定する項目を選択します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 584 359 696">モニターID</td> <td data-bbox="359 584 1495 696">設定中のディスプレイ以下のマルチ接続(数珠つなぎ)されているすべてのディスプレイにモニターIDが自動的に設定されます。 設定されていたモニターIDは上書きされます。グループIDは変更されません。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 696 359 808">IPアドレス</td> <td data-bbox="359 696 1495 808">設定中のディスプレイ以下のマルチ接続(数珠つなぎ)されているすべてのディスプレイにIPアドレスが自動的に設定されます。 設定されていたIPアドレスは上書きされます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 808 359 853">ID and IP</td> <td data-bbox="359 808 1495 853">「モニターID」と「IPアドレス」を設定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 853 359 987">先頭番号</td> <td data-bbox="359 853 1495 987">親機のベース番号を1～100の間で設定します。親機のベース番号を基準にマルチ接続されているすべてのディスプレイのモニターIDを昇順に自動設定します。モニターIDの最大値が100となるため、マルチ接続されているすべてのディスプレイに設定されるモニターIDが100に納まるように親機のベース番号を設定してください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 987 359 1099">BASE ADDRESS</td> <td data-bbox="359 987 1495 1099">BASE ADDRESSの第1オクテットから第3オクテットを設定してください。 第4オクテットはディスプレイが接続されている順にベース番号から昇順に自動設定します。 BASE ADDRESSはモード選択で「IPアドレス」もしくは「ID and IP」を設定したときのみ表示されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 1099 359 1178">ID/IP設定開始</td> <td data-bbox="359 1099 1495 1178">「する」を選択した場合、マルチ接続されているすべてのディスプレイに対してAUTO ID/IP設定が実行されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 1178 359 1294">モニター検出数</td> <td data-bbox="359 1178 1495 1294">モード選択を選択しID/IP設定開始を実行するとモニター検出数が表示されます。 接続台数と異なる場合は「リトライ」を選択し再度実行してください。 接続台数が正しい場合は「続ける」を選択してください。</td> </tr> </table>	モード選択	「モニターID」、「IPアドレス」、「ID and IP」から設定する項目を選択します。	モニターID	設定中のディスプレイ以下のマルチ接続(数珠つなぎ)されているすべてのディスプレイにモニターIDが自動的に設定されます。 設定されていたモニターIDは上書きされます。グループIDは変更されません。	IPアドレス	設定中のディスプレイ以下のマルチ接続(数珠つなぎ)されているすべてのディスプレイにIPアドレスが自動的に設定されます。 設定されていたIPアドレスは上書きされます。	ID and IP	「モニターID」と「IPアドレス」を設定します。	先頭番号	親機のベース番号を1～100の間で設定します。親機のベース番号を基準にマルチ接続されているすべてのディスプレイのモニターIDを昇順に自動設定します。モニターIDの最大値が100となるため、マルチ接続されているすべてのディスプレイに設定されるモニターIDが100に納まるように親機のベース番号を設定してください。	BASE ADDRESS	BASE ADDRESSの第1オクテットから第3オクテットを設定してください。 第4オクテットはディスプレイが接続されている順にベース番号から昇順に自動設定します。 BASE ADDRESSはモード選択で「IPアドレス」もしくは「ID and IP」を設定したときのみ表示されます。	ID/IP設定開始	「する」を選択した場合、マルチ接続されているすべてのディスプレイに対してAUTO ID/IP設定が実行されます。	モニター検出数	モード選択を選択しID/IP設定開始を実行するとモニター検出数が表示されます。 接続台数と異なる場合は「リトライ」を選択し再度実行してください。 接続台数が正しい場合は「続ける」を選択してください。	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="113 1294 359 1603"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="113 1301 359 1346">AUTO ID/IP リセット</td> <td data-bbox="359 1301 1495 1346">「リセット」を選択すると、AUTO ID/IPリセットの設定画面が表示されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="113 1346 359 1458">リセットモード選択</td> <td data-bbox="359 1346 1495 1458">「モニターID」、「IPアドレス」、「ID and IP」からリセットする項目を選択します。 マルチ接続(数珠つなぎ)する台数を変更する場合は、AUTO ID/IP設定の「モード選択」で選択した項目を「リセットモード選択」で選択してください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="113 1458 359 1603">ID/IPリセット開始</td> <td data-bbox="359 1458 1495 1603">「する」を選択すると、リセットモード選択で選択した項目を初期値に戻します。 お知らせ ● AUTO ID/IPリセットを実行した場合、マルチ接続(数珠つなぎ)をしていてもモニターIDやIPアドレスの設定は個々の設定になります。</td> </tr> </table> </td> <td data-bbox="359 1294 1495 1603"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="113 1603 359 1648">モニター検出数</td> <td data-bbox="359 1603 1495 1648">モニターIDが設定されたディスプレイの台数を表示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="113 1648 359 1715">コマンド転送</td> <td data-bbox="359 1648 1495 1715">「オン」を設定した場合、コマンドをマルチ接続(数珠つなぎ)しているディスプレイに転送します。 AUTO ID/IPリセットを実行すると、ディスプレイ間でのコマンド転送操作はできなくなります。</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="76 1715 359 1760">リセット</td> <td data-bbox="359 1715 1495 1760">マルチディスプレイの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。</td> </tr> </table>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="113 1301 359 1346">AUTO ID/IP リセット</td> <td data-bbox="359 1301 1495 1346">「リセット」を選択すると、AUTO ID/IPリセットの設定画面が表示されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="113 1346 359 1458">リセットモード選択</td> <td data-bbox="359 1346 1495 1458">「モニターID」、「IPアドレス」、「ID and IP」からリセットする項目を選択します。 マルチ接続(数珠つなぎ)する台数を変更する場合は、AUTO ID/IP設定の「モード選択」で選択した項目を「リセットモード選択」で選択してください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="113 1458 359 1603">ID/IPリセット開始</td> <td data-bbox="359 1458 1495 1603">「する」を選択すると、リセットモード選択で選択した項目を初期値に戻します。 お知らせ ● AUTO ID/IPリセットを実行した場合、マルチ接続(数珠つなぎ)をしていてもモニターIDやIPアドレスの設定は個々の設定になります。</td> </tr> </table>	AUTO ID/IP リセット	「リセット」を選択すると、AUTO ID/IPリセットの設定画面が表示されます。	リセットモード選択	「モニターID」、「IPアドレス」、「ID and IP」からリセットする項目を選択します。 マルチ接続(数珠つなぎ)する台数を変更する場合は、AUTO ID/IP設定の「モード選択」で選択した項目を「リセットモード選択」で選択してください。	ID/IPリセット開始	「する」を選択すると、リセットモード選択で選択した項目を初期値に戻します。 お知らせ ● AUTO ID/IPリセットを実行した場合、マルチ接続(数珠つなぎ)をしていてもモニターIDやIPアドレスの設定は個々の設定になります。	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="113 1603 359 1648">モニター検出数</td> <td data-bbox="359 1603 1495 1648">モニターIDが設定されたディスプレイの台数を表示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="113 1648 359 1715">コマンド転送</td> <td data-bbox="359 1648 1495 1715">「オン」を設定した場合、コマンドをマルチ接続(数珠つなぎ)しているディスプレイに転送します。 AUTO ID/IPリセットを実行すると、ディスプレイ間でのコマンド転送操作はできなくなります。</td> </tr> </table>	モニター検出数	モニターIDが設定されたディスプレイの台数を表示します。	コマンド転送	「オン」を設定した場合、コマンドをマルチ接続(数珠つなぎ)しているディスプレイに転送します。 AUTO ID/IPリセットを実行すると、ディスプレイ間でのコマンド転送操作はできなくなります。	リセット	マルチディスプレイの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。
AUTO ID/IP 設定	<p>「開始」を選択すると、AUTO ID/IP設定の設定画面が表示されます。 マルチ接続(数珠つなぎ)をしているディスプレイ間にネットワーク機器を接続しないでください。</p>																																	
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="177 546 359 584">モード選択</td> <td data-bbox="359 546 1495 584">「モニターID」、「IPアドレス」、「ID and IP」から設定する項目を選択します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 584 359 696">モニターID</td> <td data-bbox="359 584 1495 696">設定中のディスプレイ以下のマルチ接続(数珠つなぎ)されているすべてのディスプレイにモニターIDが自動的に設定されます。 設定されていたモニターIDは上書きされます。グループIDは変更されません。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 696 359 808">IPアドレス</td> <td data-bbox="359 696 1495 808">設定中のディスプレイ以下のマルチ接続(数珠つなぎ)されているすべてのディスプレイにIPアドレスが自動的に設定されます。 設定されていたIPアドレスは上書きされます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 808 359 853">ID and IP</td> <td data-bbox="359 808 1495 853">「モニターID」と「IPアドレス」を設定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 853 359 987">先頭番号</td> <td data-bbox="359 853 1495 987">親機のベース番号を1～100の間で設定します。親機のベース番号を基準にマルチ接続されているすべてのディスプレイのモニターIDを昇順に自動設定します。モニターIDの最大値が100となるため、マルチ接続されているすべてのディスプレイに設定されるモニターIDが100に納まるように親機のベース番号を設定してください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 987 359 1099">BASE ADDRESS</td> <td data-bbox="359 987 1495 1099">BASE ADDRESSの第1オクテットから第3オクテットを設定してください。 第4オクテットはディスプレイが接続されている順にベース番号から昇順に自動設定します。 BASE ADDRESSはモード選択で「IPアドレス」もしくは「ID and IP」を設定したときのみ表示されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 1099 359 1178">ID/IP設定開始</td> <td data-bbox="359 1099 1495 1178">「する」を選択した場合、マルチ接続されているすべてのディスプレイに対してAUTO ID/IP設定が実行されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 1178 359 1294">モニター検出数</td> <td data-bbox="359 1178 1495 1294">モード選択を選択しID/IP設定開始を実行するとモニター検出数が表示されます。 接続台数と異なる場合は「リトライ」を選択し再度実行してください。 接続台数が正しい場合は「続ける」を選択してください。</td> </tr> </table>	モード選択	「モニターID」、「IPアドレス」、「ID and IP」から設定する項目を選択します。	モニターID	設定中のディスプレイ以下のマルチ接続(数珠つなぎ)されているすべてのディスプレイにモニターIDが自動的に設定されます。 設定されていたモニターIDは上書きされます。グループIDは変更されません。	IPアドレス	設定中のディスプレイ以下のマルチ接続(数珠つなぎ)されているすべてのディスプレイにIPアドレスが自動的に設定されます。 設定されていたIPアドレスは上書きされます。	ID and IP	「モニターID」と「IPアドレス」を設定します。	先頭番号	親機のベース番号を1～100の間で設定します。親機のベース番号を基準にマルチ接続されているすべてのディスプレイのモニターIDを昇順に自動設定します。モニターIDの最大値が100となるため、マルチ接続されているすべてのディスプレイに設定されるモニターIDが100に納まるように親機のベース番号を設定してください。	BASE ADDRESS	BASE ADDRESSの第1オクテットから第3オクテットを設定してください。 第4オクテットはディスプレイが接続されている順にベース番号から昇順に自動設定します。 BASE ADDRESSはモード選択で「IPアドレス」もしくは「ID and IP」を設定したときのみ表示されます。	ID/IP設定開始	「する」を選択した場合、マルチ接続されているすべてのディスプレイに対してAUTO ID/IP設定が実行されます。	モニター検出数	モード選択を選択しID/IP設定開始を実行するとモニター検出数が表示されます。 接続台数と異なる場合は「リトライ」を選択し再度実行してください。 接続台数が正しい場合は「続ける」を選択してください。	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="113 1294 359 1603"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="113 1301 359 1346">AUTO ID/IP リセット</td> <td data-bbox="359 1301 1495 1346">「リセット」を選択すると、AUTO ID/IPリセットの設定画面が表示されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="113 1346 359 1458">リセットモード選択</td> <td data-bbox="359 1346 1495 1458">「モニターID」、「IPアドレス」、「ID and IP」からリセットする項目を選択します。 マルチ接続(数珠つなぎ)する台数を変更する場合は、AUTO ID/IP設定の「モード選択」で選択した項目を「リセットモード選択」で選択してください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="113 1458 359 1603">ID/IPリセット開始</td> <td data-bbox="359 1458 1495 1603">「する」を選択すると、リセットモード選択で選択した項目を初期値に戻します。 お知らせ ● AUTO ID/IPリセットを実行した場合、マルチ接続(数珠つなぎ)をしていてもモニターIDやIPアドレスの設定は個々の設定になります。</td> </tr> </table> </td> <td data-bbox="359 1294 1495 1603"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="113 1603 359 1648">モニター検出数</td> <td data-bbox="359 1603 1495 1648">モニターIDが設定されたディスプレイの台数を表示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="113 1648 359 1715">コマンド転送</td> <td data-bbox="359 1648 1495 1715">「オン」を設定した場合、コマンドをマルチ接続(数珠つなぎ)しているディスプレイに転送します。 AUTO ID/IPリセットを実行すると、ディスプレイ間でのコマンド転送操作はできなくなります。</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="76 1715 359 1760">リセット</td> <td data-bbox="359 1715 1495 1760">マルチディスプレイの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。</td> </tr> </table>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="113 1301 359 1346">AUTO ID/IP リセット</td> <td data-bbox="359 1301 1495 1346">「リセット」を選択すると、AUTO ID/IPリセットの設定画面が表示されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="113 1346 359 1458">リセットモード選択</td> <td data-bbox="359 1346 1495 1458">「モニターID」、「IPアドレス」、「ID and IP」からリセットする項目を選択します。 マルチ接続(数珠つなぎ)する台数を変更する場合は、AUTO ID/IP設定の「モード選択」で選択した項目を「リセットモード選択」で選択してください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="113 1458 359 1603">ID/IPリセット開始</td> <td data-bbox="359 1458 1495 1603">「する」を選択すると、リセットモード選択で選択した項目を初期値に戻します。 お知らせ ● AUTO ID/IPリセットを実行した場合、マルチ接続(数珠つなぎ)をしていてもモニターIDやIPアドレスの設定は個々の設定になります。</td> </tr> </table>	AUTO ID/IP リセット	「リセット」を選択すると、AUTO ID/IPリセットの設定画面が表示されます。	リセットモード選択	「モニターID」、「IPアドレス」、「ID and IP」からリセットする項目を選択します。 マルチ接続(数珠つなぎ)する台数を変更する場合は、AUTO ID/IP設定の「モード選択」で選択した項目を「リセットモード選択」で選択してください。	ID/IPリセット開始	「する」を選択すると、リセットモード選択で選択した項目を初期値に戻します。 お知らせ ● AUTO ID/IPリセットを実行した場合、マルチ接続(数珠つなぎ)をしていてもモニターIDやIPアドレスの設定は個々の設定になります。	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="113 1603 359 1648">モニター検出数</td> <td data-bbox="359 1603 1495 1648">モニターIDが設定されたディスプレイの台数を表示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="113 1648 359 1715">コマンド転送</td> <td data-bbox="359 1648 1495 1715">「オン」を設定した場合、コマンドをマルチ接続(数珠つなぎ)しているディスプレイに転送します。 AUTO ID/IPリセットを実行すると、ディスプレイ間でのコマンド転送操作はできなくなります。</td> </tr> </table>	モニター検出数	モニターIDが設定されたディスプレイの台数を表示します。	コマンド転送	「オン」を設定した場合、コマンドをマルチ接続(数珠つなぎ)しているディスプレイに転送します。 AUTO ID/IPリセットを実行すると、ディスプレイ間でのコマンド転送操作はできなくなります。	リセット	マルチディスプレイの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。			
モード選択	「モニターID」、「IPアドレス」、「ID and IP」から設定する項目を選択します。																																	
モニターID	設定中のディスプレイ以下のマルチ接続(数珠つなぎ)されているすべてのディスプレイにモニターIDが自動的に設定されます。 設定されていたモニターIDは上書きされます。グループIDは変更されません。																																	
IPアドレス	設定中のディスプレイ以下のマルチ接続(数珠つなぎ)されているすべてのディスプレイにIPアドレスが自動的に設定されます。 設定されていたIPアドレスは上書きされます。																																	
ID and IP	「モニターID」と「IPアドレス」を設定します。																																	
先頭番号	親機のベース番号を1～100の間で設定します。親機のベース番号を基準にマルチ接続されているすべてのディスプレイのモニターIDを昇順に自動設定します。モニターIDの最大値が100となるため、マルチ接続されているすべてのディスプレイに設定されるモニターIDが100に納まるように親機のベース番号を設定してください。																																	
BASE ADDRESS	BASE ADDRESSの第1オクテットから第3オクテットを設定してください。 第4オクテットはディスプレイが接続されている順にベース番号から昇順に自動設定します。 BASE ADDRESSはモード選択で「IPアドレス」もしくは「ID and IP」を設定したときのみ表示されます。																																	
ID/IP設定開始	「する」を選択した場合、マルチ接続されているすべてのディスプレイに対してAUTO ID/IP設定が実行されます。																																	
モニター検出数	モード選択を選択しID/IP設定開始を実行するとモニター検出数が表示されます。 接続台数と異なる場合は「リトライ」を選択し再度実行してください。 接続台数が正しい場合は「続ける」を選択してください。																																	
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="113 1301 359 1346">AUTO ID/IP リセット</td> <td data-bbox="359 1301 1495 1346">「リセット」を選択すると、AUTO ID/IPリセットの設定画面が表示されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="113 1346 359 1458">リセットモード選択</td> <td data-bbox="359 1346 1495 1458">「モニターID」、「IPアドレス」、「ID and IP」からリセットする項目を選択します。 マルチ接続(数珠つなぎ)する台数を変更する場合は、AUTO ID/IP設定の「モード選択」で選択した項目を「リセットモード選択」で選択してください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="113 1458 359 1603">ID/IPリセット開始</td> <td data-bbox="359 1458 1495 1603">「する」を選択すると、リセットモード選択で選択した項目を初期値に戻します。 お知らせ ● AUTO ID/IPリセットを実行した場合、マルチ接続(数珠つなぎ)をしていてもモニターIDやIPアドレスの設定は個々の設定になります。</td> </tr> </table>	AUTO ID/IP リセット	「リセット」を選択すると、AUTO ID/IPリセットの設定画面が表示されます。	リセットモード選択	「モニターID」、「IPアドレス」、「ID and IP」からリセットする項目を選択します。 マルチ接続(数珠つなぎ)する台数を変更する場合は、AUTO ID/IP設定の「モード選択」で選択した項目を「リセットモード選択」で選択してください。	ID/IPリセット開始	「する」を選択すると、リセットモード選択で選択した項目を初期値に戻します。 お知らせ ● AUTO ID/IPリセットを実行した場合、マルチ接続(数珠つなぎ)をしていてもモニターIDやIPアドレスの設定は個々の設定になります。	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="113 1603 359 1648">モニター検出数</td> <td data-bbox="359 1603 1495 1648">モニターIDが設定されたディスプレイの台数を表示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="113 1648 359 1715">コマンド転送</td> <td data-bbox="359 1648 1495 1715">「オン」を設定した場合、コマンドをマルチ接続(数珠つなぎ)しているディスプレイに転送します。 AUTO ID/IPリセットを実行すると、ディスプレイ間でのコマンド転送操作はできなくなります。</td> </tr> </table>	モニター検出数	モニターIDが設定されたディスプレイの台数を表示します。	コマンド転送	「オン」を設定した場合、コマンドをマルチ接続(数珠つなぎ)しているディスプレイに転送します。 AUTO ID/IPリセットを実行すると、ディスプレイ間でのコマンド転送操作はできなくなります。																							
AUTO ID/IP リセット	「リセット」を選択すると、AUTO ID/IPリセットの設定画面が表示されます。																																	
リセットモード選択	「モニターID」、「IPアドレス」、「ID and IP」からリセットする項目を選択します。 マルチ接続(数珠つなぎ)する台数を変更する場合は、AUTO ID/IP設定の「モード選択」で選択した項目を「リセットモード選択」で選択してください。																																	
ID/IPリセット開始	「する」を選択すると、リセットモード選択で選択した項目を初期値に戻します。 お知らせ ● AUTO ID/IPリセットを実行した場合、マルチ接続(数珠つなぎ)をしていてもモニターIDやIPアドレスの設定は個々の設定になります。																																	
モニター検出数	モニターIDが設定されたディスプレイの台数を表示します。																																	
コマンド転送	「オン」を設定した場合、コマンドをマルチ接続(数珠つなぎ)しているディスプレイに転送します。 AUTO ID/IPリセットを実行すると、ディスプレイ間でのコマンド転送操作はできなくなります。																																	
リセット	マルチディスプレイの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。																																	

保護設定	
パワーセーブ	<p>パワーセーブの有効/無効を設定します。「有効」を設定した場合、入力信号が失われてから本機がパワーセーブに移行するまでの時間を設定することができます。パワーマネージメント機能については本取扱説明書の機能「パワーマネージメント機能」を参照ください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人感センサー*2でオートオフまたはCUSTOMが選択されている場合、パワーセーブ機能は動作しません。 ● 入力信号が無い場合でもビデオカードによっては信号を送り続けてしまうことがあります。この場合、パワーセーブに移行しません。
オートパワーセーブ 時間設定	<p>オートパワーセーブに移行する時間を設定します。入力信号が失われ設定した時間が経過するとパワーセーブ機能が動作します。</p>
パワーセーブ メッセージ	<p>パワーセーブに入るときに表示されるメッセージの表示/非表示を設定します。</p>
ファン制御	<p>冷却ファンの制御設定をおこないます。</p> <p>「オン」を選択すると冷却ファンがファンスピードで設定された速さで常時動作します。</p> <p>「自動」を選択すると内部センサー温度が設定温度以上になったときに、自動的に冷却ファンが動作します。設定温度を超えたときのファンが回る速さを2種類から設定できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 冷却ファンは内部センサー温度が設定温度以上になったとき、またはファン制御で冷却ファン「オン」を選択したときに動作します。 ● 内部センサー温度が動作保証温度以上になったときは、ファンは常に「高速」のスピードで回ります。
内部温度	<p>冷却ファンの状態、内部温度の値を表示します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内部温度が動作保証温度以上になったとき、画面が暗くなります。この場合、画面上に「温度警告！！」の警告が表示されます。
スクリーンセーバー	<p>スクリーンセーバーを設定します。</p> <p>本機能は液晶パネルにかかる負担を軽減させるものです。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 画像のアスペクトはフルになります。スクリーンセーバーを解除すると、設定されたアスペクトになります。 ● 解像度3840×2160(60Hz)の信号を入力している場合、スクリーンセーバーは動作しません。 ● スクリーンセーバーが動作している場合、マルチ画面モード、スチル機能、映像反転、テキストティッカー、タイトルマトリクス、ポイントズーム機能、クローズドキャプションは動作しません。
ガンマ*3	<p>「オン」を選択すると残像になりにくいガンマに切替ります。(残像軽減機能)</p>
バックライト*3	<p>「オン」を選択するとバックライトの明るさを自動的に下げます。外光センサーで設定1または設定2が選択されているときは動作しません。</p>
モーション*1	<p>表示内容をわずかに上下左右に動かして、液晶パネルの残像を軽減させる機能です。表示内容が動くため、画面端部分に表示されている内容は表示されない場合があります。常に全体を表示する場合は、ズームで99%以下を選択してください。</p> <div style="text-align: right;"> <p>拡大率100%以上 モーション</p> <p>表示領域からはみ出した斜線部分は表示されません。</p> </div>
サイドパネル	<p>4:3画面を表示した場合、両側の画像のない部分の色を調節します。</p> <p>+ボタンを押すと、白く(明るく)なり、-ボタンを押すと、黒く(暗く)なります。</p> <p>メディアプレーヤーの背景の色も同期して変わります。</p>
パワーオンディレイ	<p>「スタンバイ」から「電源オン」モードになるまでの遅延時間を調節します。</p>
遅延時間	<p>遅延時間は0～50秒の間で設定できます。</p>
ID連動	<p>ID連動で「オン」を選択すると、遅延時間がモニターIDと関連付けされます。</p> <p>ID番号が大きいほど、遅延時間が長くなります。</p>
ALERT MAIL	<p>有効にする場合はオンを選択してください。詳細は本取扱説明書の機能「LANコントロール」内の「メール通知設定」を参照ください。</p>

*1：入力信号にOPTIONを選択している場合は、オプションボードの種類によっては設定できない場合があります。

*2：別売のリモートコントロールキットのセンサーユニット接続時のみ。センサーユニットについては販売店にお問い合わせください。

*3：SPECTRAVIEW ENGINEがオンの場合、この機能は動作しません。

INTELLI.WIRELESS DATA (INTELLIGENT WIRELESS DATA)	無線通信センサーを使用する Intelligent Wireless Data 機能のオン/オフを設定します。本機能を利用する際にパスワードを求めて、利用者を制限します。
リセット	パワーオンディレイと INTELLI.WIRELESS DATA 以外の保護設定の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。
コントロール	
ネットワーク情報	ネットワークの設定を表示します。
LAN	<p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> LAN 設定を変更した場合は、設定が適用されるまで数秒かかります。
IP 設定	本機を接続するネットワークが、DHCP サーバーによって IP アドレスを自動的に割り当てる場合は、「自動」を選択します。自動的に割り当てられない場合は、「手動」を選択し、下の「IP アドレス」、「サブネットマスク」、および「デフォルトゲートウェイ」を設定してください。 [IP 設定] を「自動」にしている場合の IP アドレスは、ネットワーク管理者にご確認ください。
IP アドレス	[IP 設定] が「手動」の場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	[IP 設定] が「手動」の場合に、本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	[IP 設定] が「手動」の場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。設定を削除する場合は、[0.0.0.0] を設定します。
DNS	本機を接続するネットワークが DNS サーバーによって IP アドレスを自動的に割り当てる場合は、「自動」を選択します。自動的に割り当てられない場合は「手動」を選択し、下の「優先 DNS サーバー」および「代替 DNS サーバー」を設定してください。[DNS] を「自動」に設定している場合の IP アドレスは、ネットワーク管理者にご確認ください。
優先 DNS サーバー	本機を接続するネットワークの優先 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。設定を削除する場合は、[0.0.0.0] を設定します。
代替 DNS サーバー	本機を接続するネットワークの代替 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。設定を削除する場合は、[0.0.0.0] を設定します。
パスワード変更	セキュリティ機能のパスワードを変更します。パスワードの初期値は 0000 です。
セキュリティ	<p>セキュリティ機能を設定します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> セキュリティ機能は本機の画面表示を制限するためのものであり、本機への入力信号および、本機に接続されている外部機器に対するアクセスやウィルス侵入などを制限、防止するものではありません。
パスワード	パスワードを入力します。
SECURE MODE	
オフ	電源オン時にセキュリティ機能のパスワードを要求しないようにします。
START-UP LOCK	電源オン時にセキュリティ機能のパスワードが要求されます。
CONTROL LOCK	本機のボタンまたはリモコンのボタンを押したときにセキュリティ機能のパスワードが要求されます。
BOTH LOCK	電源オン時または、本体やリモコンのボタンを押したときにセキュリティ機能のパスワードが要求されます。

リモコンロック設定	<p>リモコンのボタン操作をロックする機能です。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンロック設定はリモコンのボタンロック機能です。コントロールパネルのボタン操作を制限する機能ではありません。 ● リモコンの「DISPLAY」ボタンを5秒以上押し続けると、すべてのリモコンボタン操作が有効になります。
<p>モード選択</p> <p>UNLOCK</p> <p>ALL LOCK</p> <p>CUSTOM LOCK</p>	<p>モード選択でUNLOCK、ALL LOCKまたはCUSTOM LOCKを選択します。「実行」を選択すると設定が反映されます。</p> <p>UNLOCK：すべてのリモコンボタンの操作が可能です。</p> <p>ALL LOCK：すべてのリモコンボタンの操作がロックされます。</p> <p>CUSTOM LOCK：電源、音量、入力の各ボタン操作を個別にロックすることができます。CUSTOM LOCKでの設定を除き、他のリモコンボタンの操作はロックされます。</p> <p>電源： 「無効」を選択した場合、電源ボタンがロックされます。</p> <p>音量： 「有効」を選択した場合、音量調節プラスボタン(+)、音量調節マイナスボタン(-)は動作します。最低音量と最大音量を、VOL.0からVOL.100の間で設定します。設定した範囲内で、音量の調節ができます。「無効」を選択すると、音量調節プラスボタン(+)、音量調節マイナスボタン(-)はロックされます。</p> <p>入力： 「有効」を選択した場合、動作する入力切替ボタンを選択します。DVI、HDMI1、HDMI2、DisplayPort1、DisplayPort2、VGA(RGB/YPbPr)、VIDEO、MEDIA PLAYER、OPTIONの中から3つまで選択することができます。「無効」を選択すると、すべての入力切替ボタンがロックされます。</p> <p>チャンネル： 無効を選択し実行を選択するとチャンネル/ズーム調節プラスボタン(CH/ZOOM+)、チャンネル/ズーム調節マイナスボタン(CH/ZOOM-)ボタンがロックされます。</p>
キーロック設定	<p>本体にあるボタン操作をロックする機能です。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● キーロック設定は本体のボタンロック機能です。リモコンのボタン操作を制限する機能ではありません。 ● コントロールロックモード機能により、ボタンをさわっても調節した画面が変わらないように操作ボタンをロックします。本体のダウンボタン(▼)とアップボタン(▲)を同時に3秒間以上押し続けるとロックできます。本体のダウンボタン(▼)とアップボタン(▲)を再度同時に3秒間以上押し続けるとロックを解除します。
<p>モード選択</p> <p>UNLOCK</p> <p>ALL LOCK</p> <p>CUSTOM LOCK</p>	<p>モード選択でUNLOCK、ALL LOCKまたはCUSTOM LOCKを選択します。「実行」を選択すると設定が反映されます。</p> <p>UNLOCK：ボタンの操作を有効にします。</p> <p>ALL LOCK：すべてのボタンの操作がロックされます。</p> <p>CUSTOM LOCK：電源、音量、入力の各ボタン操作を個別にロックすることができます。CUSTOM LOCKでの設定を除き、他のリモコンボタンの操作はロックされます。</p> <p>電源： 「無効」を選択した場合、電源ボタンがロックされます。</p> <p>音量： 「有効」を選択した場合、本体のプラスボタン(+)とマイナスボタン(-)は動作します。最低音量と最大音量を、VOL.0からVOL.100の間で設定します。設定した範囲内で、音量の調節ができます。「無効」を選択すると、本体のプラスボタン(+)とマイナスボタン(-)はロックされます。</p> <p>入力： 入力切替ボタンの有効/無効を設定します。</p> <p>チャンネル： 無効を選択し実行を選択すると、本体のアップボタン(▲)とダウンボタン(▼)をロックします。</p>
DDC/CI (DisplayPort2、DVI、VGA(RGB) 入力の場合のみ)	本機とコンピューターでの設定情報のやり取りを「許可」、「禁止」するかを選択します。
PING	
IP アドレスリセット	IP アドレス設定の設定が工場出荷の状態に戻ります。
IP アドレス	PING を送る IP アドレスを設定します。
実行	設定した IP アドレスに対して PING を送信し、返答の有無を確認します。

オートデミング *3	画面の明るさを自動的に調節する機能です。
オートブライツネス (DVI、DisplayPort1、DisplayPort2、VGA (RGB)、MP、OPTION*2 入力の場合のみ)	映像内容に応じて画面の明るさを自動的に調節する機能です。 外光センサーで設定1または設定2が選択されているときは動作しません。
外光センサー	<p>本機は周囲の明るさを検知するセンサーを搭載しており、室内の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調節する機能をもっています。 設定1または設定2を選び、それぞれのモードにおいて、バックライトの最大値、明るいときと暗いときのバックライト値を設定します。</p> <p>最大値： バックライトの調節範囲の最大値を設定します。 明るい時： 室内が明るい状態でのバックライト値 暗い時： 室内が暗い状態でのバックライト値</p> <p>設定1または設定2に設定すると、室内の明るさの状態に応じてディスプレイの明るさを自動的に調節します。図はそのイメージです。</p> <p style="text-align: center;">工場出荷時の状態</p> <p style="text-align: center;"> 設定1によるディスプレイのバックライトの値 ———— 設定2によるディスプレイのバックライトの値 </p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 外光センサーを設定すると、バックライト、オートブライツネスおよびスクリーンセーバーのバックライト機能は動作しません。 <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 外光センサー選択時には、センサーが障害物の陰にならないよう注意してください。
人感センサー *1	人感センサーによる省電力機能を選択します。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> ● 人感センサーでオートオフまたはCUSTOMが選択されている場合、パワーセーブ機能は動作しません。 ● 人感センサー動作時に入力信号検出を実行すると人感センサーは解除されます。
オフ	人感センサーを使用しません。
オートオフ	人が離れたことを感知し、設定した時間が経過すると、自動的にパワーオフの状態になります。人を感知すると元の状態に復帰します。
CUSTOM	人が離れたことを感知し、設定した時間が経過すると、自動的に画面の明るさと音量がバックライト、音量で設定した数値になります。人を感知すると明るさと音量は元の状態に戻り、入力選択で設定した入力信号が表示されます。
電源ランプ	
電源ランプ	オフを選択すると電源ボタン入(青色点灯)のとき、電源ランプを消灯することができます。
スケジュールランプ	オフを選択するとスケジュール待機時(緑色と橙色交互の点滅)のランプを消灯することができます。

*1：別売のリモートコントロールキットのセンサーユニット接続時のみ。センサーユニットについては販売店にお問い合わせください。

*2：対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

*3：SPECTRAVIEW ENGINEがオンの場合、この機能は動作しません。

<p>NETWORK FUNCTIONS</p>	<p>ネットワーク経由でおこなう機能の有効/無効を設定します。 DISPLAY：ディスプレイを制御する機能の有効/無効を設定します。 無効に設定すると以下の機能が無効になります。 外部制御、メール通知、マルチ接続機能、HTTPサーバー機能、SNMP、Crestron、AMX、PJLink</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 無効に設定した場合、マルチ接続機能を用いたディスプレイの操作ができなくなります。無効にする際はご注意ください。 <p>MEDIA PLAYER：MEDIA PLAYERのネットワーク機能の有効/無効を設定します。 無効に設定すると共有フォルダ機能、共有SDカード機能が無効になります。</p> <p>APPLYで「YES」を選択すると設定した内容が反映されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ネットワーク経由でファームウェアのリビジョン更新をおこなう際は、DISPLAYとMEDIA PLAYERを有効にしてください。
<p>USB</p>	
<p>タッチパネル電源</p>	<p>「オン」を選択すると、タッチパネル機能が有効になります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● タッチパネルが動作しないときは「困ったとき」の「その他(タッチパネル)」を参照してください。 ● スロット2タイプPCオプションを使用する場合、入力信号はOPTIONに設定してください。 ● 外部コンピューターを使用する場合、入力信号は接続したコンピューターからの信号に設定してください。
<p>外部制御</p>	<p>USB2に接続した専用ソフトウェアをインストールしたPCからのディスプレイの制御を許可/禁止にする機能です。</p>
<p>PC ソース</p>	<p>タッチ機能およびUSB1に接続したUSB周辺機器と本機を制御する機器を選択します。制御する機器を固定する場合は外部PCまたはOPTIONを選択します。 OPTIONはオプション用スロットにスロット2タイプPCオプションが接続されているときのみ設定できます。</p>
<p>USB 電源</p>	<p>USB CM1 (2A) への電源供給の設定ができます。 電源を供給する場合はオンを選択してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 接続しているUSB機器により消費電力は変わります。

CEC	HDMI CEC 対応機器を本機に接続する場合に設定します。 CECはComsumer Electronics Controlの略称です。
CEC	「オン」を選択するとHDMIコネクタに接続したHDMI CEC対応機器を本機付属のリモコンで操作することができます。オンを選択した場合、以下の項目を設定します。 お知らせ CECで「オン」を選択すると以下の動作を実行します。接続する機器によっては正しく動作しない場合があります。 ● HDMIコネクタに接続しているHDMI CEC対応機器を再生すると、本体の電源が連動してオンし入力信号をHDMIに切り替えます。本体の電源がオンの場合は、入力信号をHDMIに切り替えます。 ● 本機に添付されているリモートコントローラーでHDMIコネクタに接続しているHDMI CEC対応機器を操作することができます。
自動電源オフ	ディスプレイをリモコンのSTANDBYボタンまたは電源ボタンでスタンバイ状態にしたときに接続しているHDMI CEC対応機器の状態も連動してスタンバイ状態にします。 お知らせ ● 接続しているHDMI CEC対応機器が録画など作動中の場合は本体の状態に連動しない場合があります。
オーディオレシーバー	HDMI CEC対応音声機器を接続する場合、本機と本体に接続するHDMI CEC対応機器の間にHDMI CEC対応音声機器を接続してください。 「する」を選択した場合は、接続したHDMI CEC対応音声機器から接続しているHDMI CEC対応機器の音声を出し、本機の外部/内部スピーカーはミュート(消音)となります。 「しない」を選択した場合は、本体のスピーカーから接続しているHDMI CEC対応機器の音声を出し、接続しているHDMI CEC対応音声機器はミュート(消音)となります。 お知らせ ● HDMI CEC対応音声機器を接続していない場合は「しない」を選択してください。
デバイス検索	ディスプレイのHDMIコネクタに接続されているHDMI CEC対応機器を検索します。 「する」を選択すると接続されているHDMI CEC対応機器を検索し、その種類と登録名称を表示します。 検索が完了した場合または検索できなかった場合はデバイス検索の選択が「しない」に移動します。 再度検索をおこなう場合は「する」を選択してください。HDMI IN1コネクタとHDMI IN2コネクタにHDMI CEC機器を接続した場合、検索後に表示されるHDMI IN1コネクタとHDMI IN1コネクタに接続されたデバイスを選択することで入力を切り替えることができます。
リセット	LAN、パスワード変更、セキュリティ、PING以外のコントロールの設定が工場出荷時の状態に戻ります。
オプション	
オプション電源	オプション用スロットに接続されている機器への電力供給を設定します。 オン：ディスプレイがパワーセーブモードまたはスタンバイモードのときでもオプション用スロットに接続されている機器に電力を供給します。 オフ：ディスプレイがパワーセーブモードに移行した場合には、オプション用スロットに接続されている機器に電力は供給されません。 自動：オプション用スロットに機器が接続されている場合は、ディスプレイがパワーセーブ、スタンバイモード時でもオプション用スロットに接続されている機器に電力を供給します。オプション用スロットに機器が接続されていない場合は、ディスプレイがパワーセーブモードに移行した場合には、オプション用スロットに接続されている機器に電力は供給されません。 お願い ● スロット2タイプオプションからの入力がなくなったときにパワーセーブ機能を使用する場合は、自動またはオンに設定してください。
音声*1	デジタルを選択すると、音声入力をデジタル入りに切り替えることができます。スロット2タイプオプションの音声出力の仕様に合わせて設定してください。設定を有効にするためには、映像入力をOPTION、音声入力をOPTIONに設定してください。 お知らせ ● デジタルの設定は、映像入りにOPTION、音声入りにOPTIONが設定されている場合のみ有効となります。

*1：オプション用スロットに対応するオプションボードが装着されているときのみ設定できます。対応可能なオプションボードについては販売店にお問い合わせください。設定を変更した場合は、本機の主電源を入れなおしてください。

INTERNAL PC* ¹	オプション用スロットにスロット2タイプPCオプションが接続されているときのみ設定できます。
OFF WARNING (本機は動作しません)	
オートオフ	オプション用スロットに接続されているスロット2タイプPCオプションをスタンバイ状態にしたり、パワーセーブモードになるときにディスプレイも同期してオフするかどうかを設定します。 お知らせ ● オートオフを「オン」に設定した場合、オプション用スロットに接続されているスロット2タイプオプションの電源がオンされても、ディスプレイの電源は自動的にオンになりません。
START UP PC	「する」を選択するとオプション用スロットに接続されているスロット2タイプPCオプションを起動します。
FORCE QUIT	「する」を選択するとオプション用スロットに接続されているスロット2タイプPCオプションの電源を強制的に切ります。オペレーティングシステムの問題などにより、手動で電源を切ることができない場合のみ使用してください。
スロット2 CH 設定	スロット2タイプオプションのDisplayPortおよびTMDSの2系統の映像信号を表示できます。装着しているスロット2タイプオプションの仕様により画面表示を設定します。
自動	接続されたスロット2タイプオプションに合わせ、自動的に設定されます。
1CH	スロット2 CH 選択で選択された映像信号を全画面に表示します。
2CH	左画面にDisplayPort、右画面にTMDSの映像信号を表示します。どちらかの入力信号がない場合、入力のある信号が自動的に全画面に表示されます。
スロット2 CH 選択	スロット2 CH 設定が1CHの場合のみ設定可能です。
DisplayPort	スロット2タイプオプションのDisplayPort信号を全画面に表示します。
TMDS	スロット2タイプオプションのTMDS信号を全画面に表示します。
リセット	オプションの各設定の音声のみが工場出荷時の状態に戻ります。
システム	
モニターインフォメーション	モデル名、シリアルナンバー、CO ₂ 削減量、CO ₂ 排出量を表示します。CO ₂ 削減量は電源オン時およびパワーマネジメント機能動作時の積算した省エネ効果をCO ₂ 削減量(kg-CO ₂)で表示します。CO ₂ 排出量は計算によって求めた概算値であり、実測値とは異なります。またオプション機器を接続していない場合の計算値です。 注：CO ₂ 削減量は、OECD(経済協力開発機構)2008年Editionの世界標準CO ₂ -電力量換算値に基づいて算出しています。
ファームウェア	ファームウェアのリビジョンを表示します。
MAC アドレス	MACアドレスを表示します。
オールリセット	すべての設定が工場出荷の状態に戻ります。 お知らせ ● リモコンの設定によってはすべてのマルチ接続されているディスプレイに同時に機能が実行される場合があります。オールリセットの実行には特にご注意ください。すべてのマルチ接続されているディスプレイでオールリセットが実行された場合、再度接続を有効にするためにはすべてのディスプレイで再設定が必要となります。

*1：オプション用スロットに対応するオプションボードが装着されているときのみ設定できます。対応可能なオプションボードについては販売店にお問い合わせください。設定を変更した場合は、本機の主電源を入れなおしてください。

OSDの初期値については当社ホームページをご覧ください。

困ったとき

故障かな？と思ったら…

このようなときは、チェックしてください。

表示されないときは…

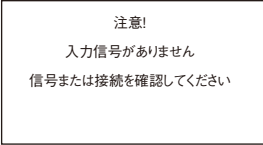
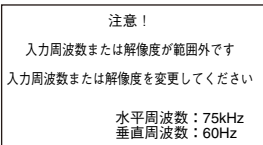
症状	状態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが赤色に点滅している場合	本機の故障である可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P64
	電源ランプが点灯しない場合 電源ランプ機能 [OSDメニュー]→[コントロール]→[電源ランプ]がオンの場合	電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P19
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	
	電源ランプが青色に点灯している場合	主電源スイッチがオフになっている可能性がありますので、確認してください。	P20
		信号入力が無い入力コネクタが選択されている可能性があります。入力切替ボタンを押して、入力コネクタを切り替えてください。	
		OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P39
		● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P64
	● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。「映像設定」の「バックライト」と「コントラスト」を調節してください。	P40, 41	
	● OSD画面が正常に表示され、「バックライト」と「コントラスト」を調節しても画面が表示されない場合は、接続している機器が正しい動作状態にあることを確認してください。コンピューターと接続している場合は、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P22, 23	
	DVI入力コネクタを使用して接続している場合、「DVIモード」の設定によっては画面が表示されないことがあります。「DVIモード」の設定を確認してください。	P48	
電源ランプが青色以外に点灯もしくは点滅している場合	パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かす、またはリモコンのPOWERオンボタンを押してください。	P17, 26	
	信号ケーブルが本機または接続機器のコネクタに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P22, 23	
	変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P22, 23	
	接続しているコンピューターや映像機器の電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。		
画面が表示されなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合*	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P64
	DVIコネクタからの入力に切り替えた際、映像が表示されなくなった場合	接続しているコンピューターなどの機器のHDCP認証対応、非対応により設定が必要になります。「DVIモード」の設定を確認してください。	P48

* ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。

表示がおかしいときは…

症状	原因と対処	参照
画面上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P7
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角(画面を見る角度)によっては、色相の変化が大きくなります。	P83~87
画面の表示状態が変わっていく	ディスプレイは使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような残像が起こることがあります。本機をリモコンのSTANDBYボタンまたは電源ボタンでスタンバイ状態にするか、変化する画面を表示していれば、像は1日程度で自然に消えます。長時間に渡って静止画面を表示すると、残像が消えなくなる場合がありますが、故障ではありません。使用しないときには電源を切ることをおすすめします。	P6
表示色がおかしい	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P39
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P64
	● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。「カラーコントロール」を選択し、お好みで色の割合を調節していただくか、または映像設定リセットをおこなって工場出荷値に戻してください。	P41, 43
	● OSD画面が正常に表示され、「映像設定」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P22, 23
画面がざらつく(上記以外の場合)、または映像が一瞬途切れる	中継器、分配器、長いケーブルをご使用した場合、画面のざらつきや映像が一瞬途切れることがあります。ご使用のケーブルをシールド付きの物に交換する、もしくは中継器、分配器を使用せずに直接ディスプレイ本体にケーブルを接続してください。ツイストペアケーブル延長器をご利用の際はシールド付きケーブルに対応したものをご使用ください。また、使用環境や使用ケーブルによって画面にノイズが現れたり映像が途切れることがあります。このような場合、当社Webサイトをご確認ください。	P22
	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P39
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P64
	● HDMI入力を使用し、解像度3840×2160または4096×2160にて入力した際に映像が途切れる場合は、4K対応のHDMIケーブルをご使用ください。	
	● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。「画面調節」の「位相」を選択し調節してください。	P41
	● OSD画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P22, 23
自動的に電源が切れてしまう	オフタイマーの設定を確認してください。 CECをオフにしてください。	P46, 57 P76
スケジュール機能で設定したとおりに動作しない	オフタイマーの設定を確認してください。 オフタイマーがオンと設定されている場合は、スケジュール機能は動作しません。	P46
画面が乱れる	電源を入れたとき、または設定を変更したときに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。	

案内画面／注意画面が表示されたら…

症状	原因	対処	参照
画面に「注意」が表示された※1 	信号ケーブルが本機またはコンピュータのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピュータのコネクタに正しく接続してください。	P22, 23
	HDMI入力が切り替わった可能性があります。	CEC (OSD機能) のCECをオフにしてください。	P57, 76
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	
	コンピュータの電源が切れている可能性があります。	コンピュータの電源が入っているか確認してください。	
	コンピュータのパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P26
※2 	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	入力周波数またはコンピュータの解像度を変更してください。	P23
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	入力周波数またはコンピュータの解像度を変更してください。	P23
画面に「温度警告!!」が表示された	周りの環境が保証温度を超えた状態になっています。	故障の原因となりますので、電源を切ってください。	

※1 コンピューターによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他(コンピューターと接続している場合)

症状	原因	対処
解像度や色数の変更ができない／固定されてしまう	うまく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。
	ビデオカードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。	ビデオカードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書をご参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。
接続しているUSB対応周辺機器が認識されない。正常に動作しない。	Windows®をお使いの場合： USB対応周辺機器のデバイスドライバーが正常に組み込まれていない(ドライバーインストールが必要なUSB対応周辺機器のみ)	USB対応周辺機器のデバイスドライバーを組み込んでください。デバイスマネージャーで「不明なデバイス」と表示される場合は、「不明なデバイス」をデバイスマネージャー上で削除し、USB対応周辺機器のデバイスドライバーを組み込んでください。
	非対応のポートにUSB対応周辺機器を接続している可能性があります。	USB1またはUSB MPに機器が接続されていることを確認してください。
USBポートを多段接続(複数台の連続接続)した後に、USB対応周辺機器を接続すると、USB対応周辺機器が正常に動作しない。	USB対応周辺機器が、USBポートの多段接続に対応していない。	USB対応周辺機器をコンピューターに近いUSBポートに接続してください。

その他(リモコン、スピーカー)

症 状	原因と対処	参照
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ● リモコンの乾電池の＋が逆に入っていませんか。 ● ディスプレイ本体またはリモート入力コネクタに接続したセンサーユニットの受光部に正しく向けていますか。 ● リモコンロック設定が設定されていませんか。 ● リモコンがIDモードになっていませんか。 ● モニターIDとリモコンIDの番号はあっていますか。 ● 本製品はタッチの検出に赤外線LEDを利用しています。そのためリモコン受光部周辺に光を反射しやすい素材がある場合、タッチ検出用の赤外線がリモコンから発せられる赤外線の信号と干渉してリモコン操作が利きにくくなる場合があります。そのようなときは光を反射しやすい素材をリモコン受光部から離すか、素材の表面を黒い布などで覆うことでリモコンの利きが改善します。 	P18, 54 P65
映像は出るが、音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● オーディオ出力コネクタに出力した機器から音が出ない場合は、オーディオ入力コネクタの接続コードが外れていないか調べてください。また音声バランスが片側によっていないか調べてください。片側によっている場合はバランス設定をセンターに戻してください。サラウンドがオンになるとラインアウトの出力は無効になるため、サラウンドはオフにしてください。 ● 映像入力と音声入力が異なっていませんか。音声入力を切り替えてください。 ● 消音状態になっていませんか。本体またはリモコンのミュートボタンを押して、音が出るかどうかを確認してください。 ● 音量が最小になっていませんか。本体の＋ボタンまたはリモコンの音量調節プラスボタン(+)、音量調節マイナスボタン(-)で音量を調節してください。 ● 内蔵スピーカーと外部スピーカーの切り替えスイッチを確認してください。 ● DisplayPort 接続している機器によっては音声出力非対応場合があります。 ● 抵抗ありのオーディオケーブルを使用していませんか。抵抗なしのオーディオケーブルをご使用ください。 ● 表示中のHDMIコネクタにHDMI CEC対応音声機器を接続していない場合はオーディオレシーバーを「しない」に設定してください。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 音声入力の切替えは、映像入力ごとに設定が可能です。 	P16, 17 P22, 44 P57

その他(USB、RS-232CまたはLANで接続している)

症 状	原因と対処	参照
RS-232C で制御できない	リバースタイプ(クロスタイプ)のRS-232Cケーブルが正しく接続されているかを確認してください。	
LAN で制御できない	LANケーブル(CAT.5以上)が正しく接続されているかを確認してください。 ネットワーク設定が正しく設定されているか確認してください。	P68
USB で制御できない	USB2にケーブルが正しく接続されているかを確認してください。OSDメニューのUSBの「外部制御」が許可になっていて、「PCソース」が自動または外部PCに設定されているかを確認してください。	P56

映像機器を使用するとき

症 状	原因と対処	参照
映像も音も出ない	プレーヤーなどの外部機器は正しく接続し、正しく操作していますか。詳しくは外部機器の取扱説明書をご覧ください。 本機のパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。外部機器側が動作(再生)状態になっているかご確認ください。	P22 P26
色がつかない、色がおかしい	色相の調節をしてください。 色のこさの調節をしてください。 カラーシステムを正しく設定してください。	P41
画面が縦長に見える	16 : 9の映像が4 : 3に圧縮され、縦長の映像として表示されている場合(スクイーズ信号)があります。 正しい比率で見るために、画面のアスペクトをワイドに設定してください。	P27, 42

メディアプレーヤーを使用するとき

症状	原因と対処	参照
メディアプレーヤー機能で USB ストレージデバイスが認識されない。	USB MPIにUSBストレージデバイスが正しく接続されていることを確認してください。	P22
タッチ機能使用時、メディアプレーヤーが操作できない	タッチ機能はメディアプレーヤーに対応していません。メディアプレーヤーを使用する場合はリモコンで操作してください。	

その他(タッチパネル)

症状	原因と対処	参照
タッチパネルが動作しない	<p>子画面モードになっていないか、PIP (Picture in picture)、PBP (Picture by picture)、タイルマトリクス、回転、ズーム、ポイントズームが設定されていないかを確認してください。</p> <p>入力信号が正しく選択されているかを確認してください。</p> <p>タッチ機能はメディアプレーヤーに対応していません。メディアプレーヤーを使用する場合はリモコンで操作してください。</p> <p>コントロール→USB→タッチパネル電源がONになっていることを確認してください。</p> <p>コントロール→USB→PCソースを確認してください。 スロット2タイプPCオプションを使用している場合： PCソースがAUTOまたはOPTIONで、入力信号がOPTIONであることを確認してください。 スロット2タイプPCオプションがオプション用スロットに正しく接続されていることを確認してください。</p> <p>外部コンピューターを接続している場合： PCソースがAUTOまたは外部PCで、入力信号が接続したコンピューターからの信号であることを確認してください。 USBケーブルがコンピューターと液晶ディスプレイに正しく接続されていることを確認してください。</p> <p>外部コンピューターの仕様および接続の方法によっては、タッチ機能が動作しない場合があります。</p> <p>OSD上で入力機器の切替時などに、コンピューター側がタッチパネルを認識しないことがあります。本機OSD上でタッチパネル電源を一度OFFし、時間をおいてから再度ONしてください。</p>	P42, 43 P50, 77 P79
タッチパネルが正常に動作しない	<p>強い光や直射日光がタッチパネルに当たらないようにしてください。</p> <p>タッチパネルの近くに障害物がないようにしてください。</p> <p>センサー部に埃などが付着するとタッチパネルの反応が悪くなる場合があります。センサー部が汚れた場合は、コーナーを始点に綿棒や乾いた布で軽くふきとってください。</p>	P3, 4 P25

お知らせ

タッチを使用した手書き文字記入をお使いの方

文字の記入がうまく出来なかったり、記入した文字が過補正されてしまい手書き通りの筆跡にならない場合があります。
 ご使用されているソフトウェアの環境によってフリック機能(ジェスチャー機能)が優先される場合があります。



フリック機能が優先され、一部の文字記入が出来なかった例

対処方法

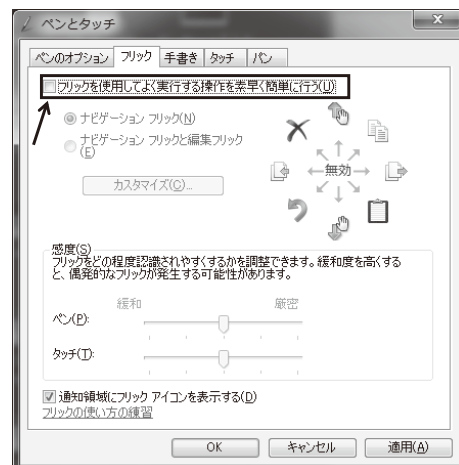
フリック機能を無効にすることで文字記入が改善されます。

以下の手順でフリック機能を無効にしてください。

- Windowsの「コントロールパネル」のカテゴリ「ハードウェアとサウンド」を開いてください。
- 「ペンとタッチ」の項目を開いてください。
- タブにある「フリック」を選択し、「フリックを使用してよく実行する操作をすばやく簡単に行う」のチェックを外して無効にしてください。

お知らせ

- 文字記入に関してご不明な点は、当社の商品相談窓口(カスタマーサポート)にお問い合わせください。



本機を廃棄するには(リサイクルに関する情報)

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく指定再資源化製品です。希少資源の再利用のため、不要になった製品のリサイクルにご協力ください。詳しくは当社 Web サイトをご参照ください。

「ディスプレイのリサイクル」について

<https://www.nec-display.com/jp/environment/recycle/display.html>

法人のお客様 (産業廃棄物として廃棄される場合)

当社は資源有効利用促進法に基づき、回収・リサイクルシステムを構築し、積極的に資源の有効利用につとめています。回収・リサイクルのお見積り・お申し込みについては上記Web サイトをご参照ください。

個人のお客様

“PCリサイクルマーク”のシールが貼り付けられている当社製品は、ご家庭からの排出時、新たな料金負担を頂くことなく、当社が責任を持って回収・リサイクルいたします。

- ※ “PCリサイクルマーク”のない製品は、排出時、お客様に回収・リサイクル料金をご負担頂きます。
- ※ 本機をご購入いただいた個人のお客様には、お申込みいただくことにより、無償で“PCリサイクルマーク”を提供いたします。お申し込み方法は上記Web サイトをご参照ください。



リサイクル

PCリサイクルマーク

お知らせ

- 本取扱説明書の「ご使用前に」のVCCIに関するご説明文の中で、「この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、」という記述をしておりますが、これは本機がVCCIクラスBというより厳しい基準に適合させていることから、協議会から指定された文章を記述したものであり、本機は家庭環境での使用を目的とはしていません。

保証とアフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。

法人ユーザー様の窓口
NECビジネスPC修理受付センター
フリーコール：0120-00-8283
携帯電話をご利用のお客様はこちらの番号へおかけください。 0570-064-211 (通話料お客様負担)
受付時間：月～金 9:00～18:00 休日は、土曜・日曜・祝日および年末年始等の所定休日とさせていただきますので、ご了承ください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- お名前
- ご住所(付近の目標など)
- 電話番号
- 品名：マルチシンク液晶ディスプレイ
- 型名：V404-T / V484-T / V554-T
- 製造番号(本機背面のラベルに記載)
- 故障の症状、状況など(できるだけ詳しく)
- 購入年月日または使用年数

リモコンIDモード機能について

このリモコンには、モニターIDと同様のID番号を設定することができます。

マルチ画面システムなど複数台のディスプレイ本体が並んだ場所で使用する場合、リモコンをIDモードで動作させIDを切り替えることにより、ディスプレイを個別に操作することができます。

■ディスプレイ本体の設定

モニターIDでID番号を設定する。

■リモコンをIDモードにする。

リモコンのREMOTE IDのSETボタンを2秒以上押すとリモコンはIDモードで動作します。

このとき、ID番号は以前に設定したID番号で動作します。ID番号の初期値は1です。

また、リモコンのID番号を設定した場合もIDモードで動作します。

なお、IDモード時のリモコンのボタン操作は、通常と同じです。

リモコンがIDモードのときにREMOTE IDのSETボタンを押すと、画面の中央にモニターIDが表示されます。

■リモコンをノーマルモードにする。(IDモードを解除する)

リモコンのREMOTE IDのCLEARボタンを2秒以上押すとリモコンはノーマルモードに戻ります。

リモコンの初期状態はノーマルモードです。

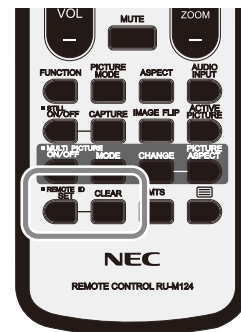
■リモコンのID番号を設定する。

下記の手順でIDモード時のID番号を設定することができます。

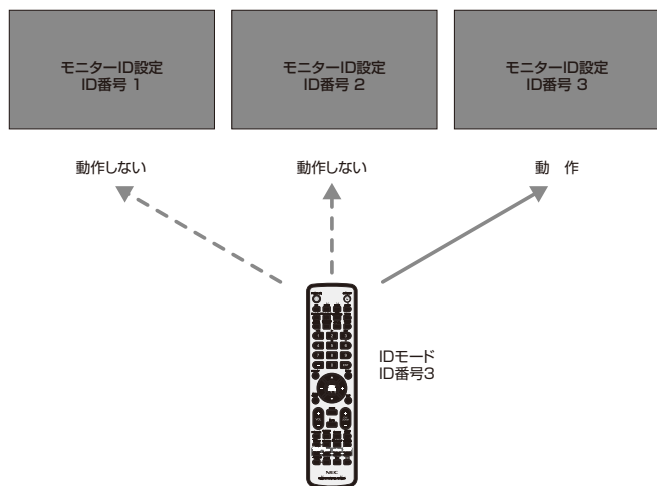
- リモコンのREMOTE IDのSETボタンを押した状態で
リモコンの“1”または“0”ボタンでID番号の3桁目を押す。
リモコンの“1-9、0”ボタンでID番号の2桁目を押す。
リモコンの“1-9、0”ボタンでID番号の1桁目を押す。

ID番号を押した後、REMOTE IDのSETボタンを放すとID番号が記憶されます。

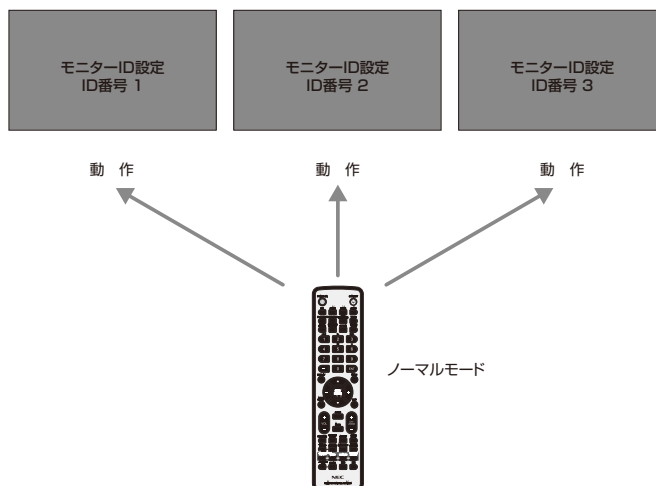
- ・ ID番号入力には時間をあけずに操作してください。
- ・ 設定できるID番号は0～100までです。
- ・ 0を設定するとモニターIDの設定にかかわらずすべてのディスプレイ本体が選択されます。
- ・ リモコンのID番号の設定が0以外で、リモコンのID番号がモニターIDの設定と一致しない場合は、リモコンでの操作はできません。



IDモードで動作させた場合



ノーマルモード(通常)で動作させた場合



■リモコンで特定のディスプレイのみを制御する方法

1. 制御したいディスプレイでOSD画面を表示します。AUTO ID/IP設定 [OSDメニュー]→[マルチディスプレイ]→[IDコントロール]→[AUTO ID/IP設定]でID番号を設定します。モニターIDは1～100まで設定することができます。
先頭から、順番に1,2,3...と連続でIDを設定されることをおすすめします。
2. リモコンのREMOTE IDのSETボタンを押したまま、リモコンのID番号を入力します。リモコンのID番号は、制御したいディスプレイのモニターID番号と一致している必要があります。
3. リモコンを、制御したいディスプレイのリモコン受光部に向けて、REMOTE IDのSETボタンを押します。画面中央にモニターID番号が赤色で表示されることを確認してください。
モニターID番号が白色で表示される場合は、モニターID番号とリモコンのID番号は一致していません。

お知らせ

- リモコンではグループIDを指定できません。

マルチ接続について

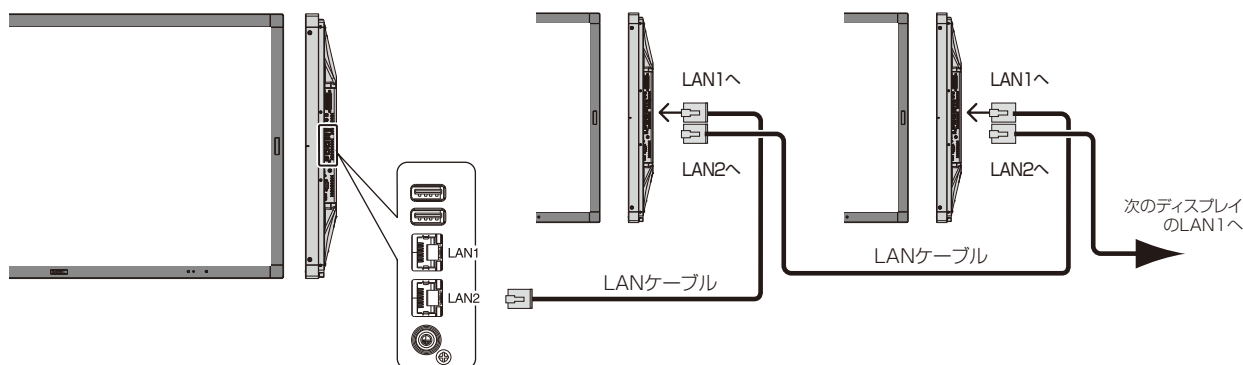
本機のRS-232C入力、リモート入力、LANの各ポートを使用してマルチ接続(数珠つなぎ)ができます。
RS-232C入力、リモート入力、LANで入力されている情報をLANケーブルを使用して複数のディスプレイに送ることができます。

お知らせ

- マルチ接続(数珠つなぎ)をする場合、接続台数には制限があります。
- マルチ接続した複数のディスプレイを連動させて制御する場合、マルチディスプレイのAUTO ID/IP設定 [OSDメニュー] → [マルチディスプレイ] → [IDコントロール] → [AUTO ID/IP設定]をおこなってください。
手動でID番号を設定する場合、マルチディスプレイのAUTO ID/IP設定をおこなってから設定してください。

最初のディスプレイ		2台目以降のディスプレイ	
入力ポート	出力ポート	入力ポート	出力ポート
RS-232C入力	LAN2	LAN1	LAN2
リモートIN			
LAN1			

接続方法



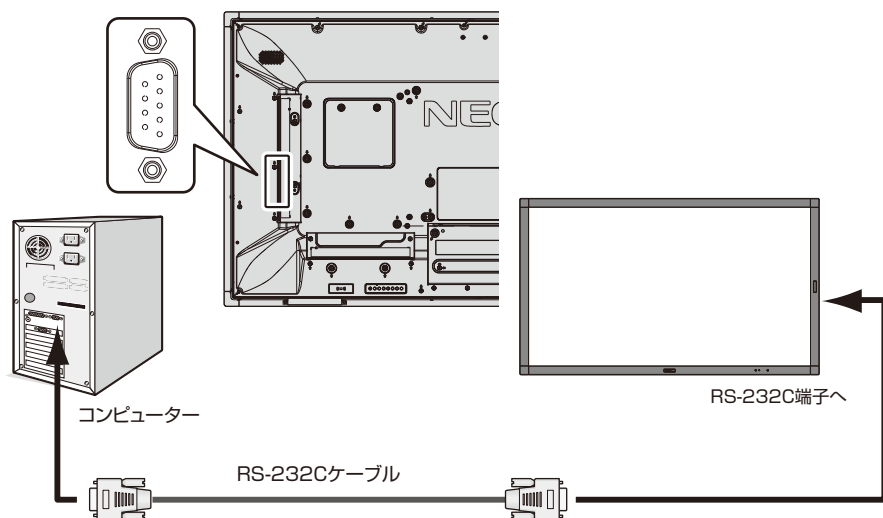
RS-232C リモートコントロール

本機のRS-232C端子とコンピューターのRS-232C端子をリバースタイプ(クロスタイプ)のRS-232Cケーブル(市販)で接続するとコンピューターから次のような操作が可能になります。

- ・ 電源を入れるまたは本機をスタンバイ状態にする
- ・ 入力の切替
- ・ ミュート(消音)の切替

■接続方法

本機とコンピューター



- ・ 接続はコンピューターと本機の主電源を切ってからおこなってください。
- ・ 最初にコンピューターを立ち上げてから本機の主電源を入れてください。(これをおこなわないとcomポートが正常に動作しない場合があります。)
- ・ RS-232Cで接続されたディスプレイを制御する場合は、本取扱説明書の付録「外部制御」内の「コントロールコマンド」もしくは付属のユーティリティディスク内のExternal_control_J.pdfを参照してください。

お知らせ

- コンピューターの25ピンシリアルポートと接続する場合は変換アダプターが必要です。
- 変換アダプターについてはお買い上げの販売店へお問い合わせください。
- ピン配列については「2)RS-232C input/output」を参照してください。

1) インターフェイス

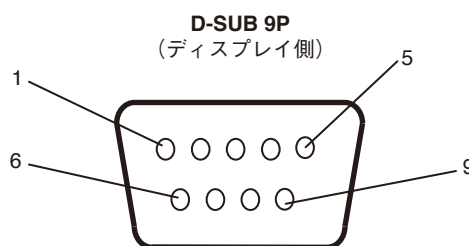
プロトコル	RS-232C
ボーレート	9600[bps]
データ長	8[bits]
パリティ	なし
ストップビット	1[bit]
フロー制御	なし

- ・ 本機はRS-232Cコントロール用としてRXD, TXDおよびGNDラインを使用します。
- ・ リバースタイプ(クロスタイプ)のRS-232Cケーブル(市販)を使用してください。

2) ピンの配列

RS-232C input / output

Pin No	Name
1	NC
2	RXD
3	TXD
4	NC
5	GND
6	NC
7	NC
8	NC
9	NC

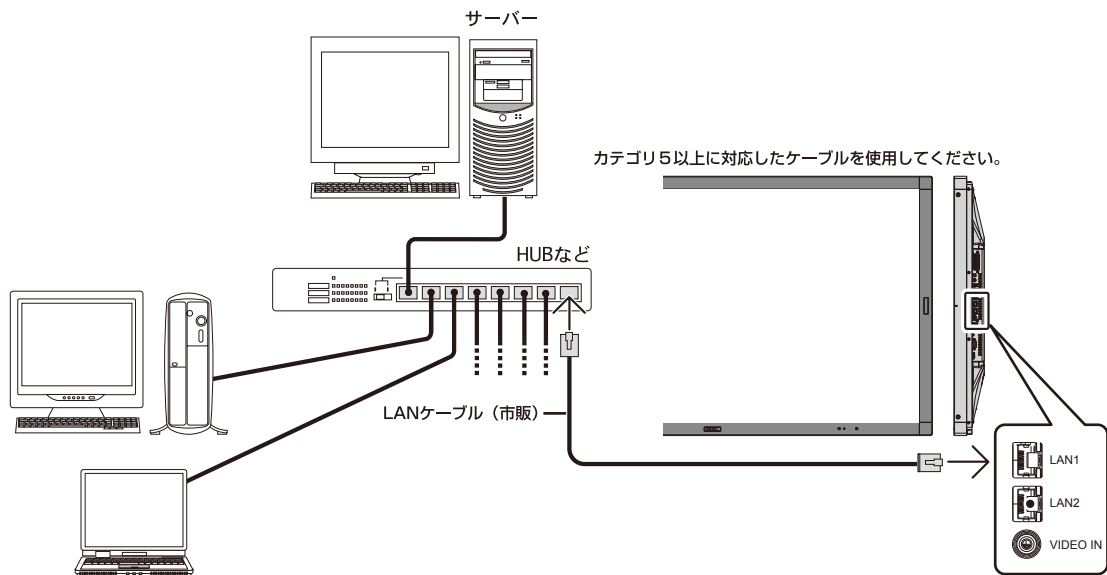


ディスプレイはRS-232Cの制御にRXD, TXD, GNDを使用します。

LANコントロール

本機にはLANポート(RJ-45)が標準装備されています。LANケーブル(市販)を接続するとHTTPサーバー機能を使って本機にLANの設定がおこなえます。本機をLAN環境で使用する場合は、本機にIPアドレスなどを設定する必要があります。

接続例



HTTPを使用したブラウザによるネットワークの設定

概要

本機をネットワークに接続すると、本機からメール通知をおこなったり、コンピューターからネットワークを経由して本機を制御することができます。

本機へのIPアドレスやサブネットマスクなどの設定は、HTTPサーバー機能を使用しWebブラウザでネットワーク設定画面を表示しておこないます。なお、Webブラウザは「Microsoft Internet Explorer 10」以上を必ず使用してください。

本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対しておこなってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトウェアにあるヘルプなどの説明を参照してください。

HTTPサーバー機能へのアクセスは、本機とネットワークで接続されたコンピューターでWebブラウザを起動し、以下のURLを入力することでおこなえます。

- ・ ネットワーク設定
<http://<本機のIPアドレス>/index.html>

お知らせ

- コントロールソフトは、当社のホームページからダウンロードしてください。
- 工場出荷時のIPアドレス取得の設定は「自動」です。リセット後もIPアドレスは自動的に取得されます。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
また続けてボタン操作をおこなうとディスプレイが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作をおこなってください。しばらく待っても応答が無い場合は、本機の主電源を入れなおしてください。
- Webブラウザでネットワーク設定画面が表示されない場合は、[Ctrl] + [F5]キーを押してWebブラウザの画面表示を更新してください。
- LANで接続されたディスプレイを制御する場合は、付属のユーティリティーディスク内のExternal_control_J.pdfを参照してください。それでも表示されない場合はWebブラウザのキャッシュを消去してください。
- コマンドについては本取扱説明書の付録「外部制御」内の「コントロールコマンド」を参照してください。

使用前の準備

ブラウザによる操作をおこなう前にあらかじめ本機に市販のLANケーブルを接続してください。

プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできるだけ使用しないことを推奨します。

ブラウザによる操作のアドレスの扱い

以下の場合、ホスト名がそのまま利用できます。

- ・ ブラウザーによる操作に際しアドレスまたはURL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメイン名サーバーへ本機のIPアドレスに対するホスト名が登録されている。
- ・ 使用しているコンピュータの「HOSTS」ファイルに本機のIP アドレスに対するホスト名が設定されている。

(例1) 本機のホスト名が「pd.nec.co.jp」と設定されている場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたはURLの入力欄へ
http://pd.nec.co.jp/index.html と指定します。

(例2) 本機のIPアドレスが「192.168.73.1」の場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたはURLの入力欄へ
http://192.168.73.1/index.html と指定します。

ブラウザによるリモコン操作と画面調節

以下のURL を入力しHOME 画面を表示します。HOME 画面左側にある各リンク をクリックして設定画面に入ります。

http://<本機のIP アドレス>/index.html

REMOTE CONTROL：リモコンボタンと同等の操作をおこないます。

以下のリンクでは[OSDメニュー]で記載されているすべての機能と同等の設定ができます。

INPUT、PICTURE、AUDIO、SCHEDULE、MULTI INPUT、OSD、MULTI DISPLAY、DISPLAY PROTECTION、
CONTROL、OPTION、SYSTEM

お知らせ

- 設定画面に表示されるボタンの説明：

[APPLY] 設定を適用します。

[CANCEL] 各項目の設定を編集前の状態に戻します。

お知らせ

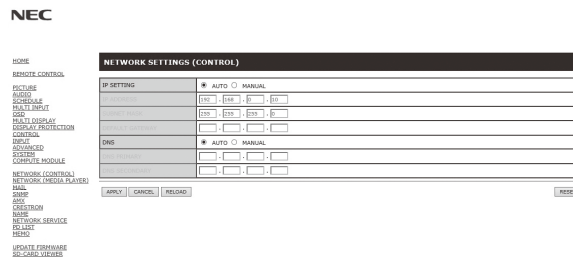
- APPLY ボタンを押した後は、編集前の状態に戻りません。

[RELOAD] 表示しているページの設定値を再読み込みします。

[RESET] 各項目の設定が工場出荷の状態に戻ります。

ネットワーク設定

HOME 画面左側にある NETWORK SERVICE をクリックして設定画面に入ります。



IP SETTING	IP アドレスの設定方法を選択します。 AUTO : IP アドレスを自動的に取得します。 MANUAL : IP アドレスを手動で設定します。 注意 ● 接続に関して問題が発生した場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。
IP ADDRESS	[IP SETTING] が「MANUAL」の場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。
SUBNET MASK	[IP SETTING] が「MANUAL」の場合に、本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
DEFAULT GATEWAY	[IP SETTING] が「MANUAL」の場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。 設定を削除する場合は、[0.0.0.0] を設定します。
DNS	DNS サーバーの IP アドレスの設定方法を選択します。 AUTO : DNS サーバーの IP アドレスを自動的に取得します。 MANUAL : DNS サーバーの IP アドレスを手動で設定します。
PRIMARY DNS	本機を接続するネットワークの優先 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 設定を削除する場合は、[0.0.0.0] を設定します。
SECONDARY DNS	本機を接続するネットワークの代替 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 設定を削除する場合は、[0.0.0.0] を設定します。

お知らせ

- IPアドレスリセット [OSDメニュー]→[コントロール]→[IPアドレスリセット]を選択した場合、以下の項目が工場出荷時状態に戻ります。

[IP SETTING] : AUTO
 [IP ADDRESS] : 192.168.0.10
 [SUBNET MASK] : 255.255.255.0
 [DEFAULT GATEWAY] : (空欄)
 [DNS] : AUTO
 [PRIMARY DNS] : (空欄)
 [SECONDARY DNS] : (空欄)

メール通知設定

HOME画面左側にあるMAILをクリックして設定画面に入ります。

本機をネットワークに接続して使用しているとき、各種エラーが発生したときに、本機の状態をEメールでコンピューターなどへ通知します。

ALERT MAIL	ENABLE…以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。 DISABLE…メール通知機能が停止します。	—
STATUS MESSAGE	ENABLE…以下の設定に基づいて無信号状態を通知する機能が働きます。 DISABLE…本機の無信号状態を通知する機能が停止します。	—
SENDER'S ADDRESS	差出人アドレスを設定します。 Eメールの「from」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大 60 文字
SMTP SERVER	メール送信に使用する SMTP サーバーを設定します。	英数字 最大 60 文字
RECIPIENT'S ADDRESS 1 RECIPIENT'S ADDRESS 2 RECIPIENT'S ADDRESS 3	宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できます。 Eメールの「to」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大 60 文字
AUTHENTICATION METHOD	メール送信の認証方式を選択します。	—
POP3 SERVER	メールの認証に使用する POP3 サーバーのアドレスを指定します。	—
USER NAME	メール送信に認証が必要な場合、認証サーバーにログインするためのユーザー名を設定します。	英数字 最大 60 文字
PASSWORD	メール送信に認証が必要な場合、認証サーバーにログインするためのパスワード名を設定します。	英数字 最大 60 文字
TEST MAIL	メール設定通知を確認するために、テストメールを送信します。	—

お願い

- 送信テストをおこなって、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワーク設定の設定内容を確認してください。
- 宛先のアドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスを確認してください。

Alert Mail一覧

エラー番号 Error Code	Alert Mailメッセージ	説明	対策
70h ~ 7Fh	The monitor's power supply is not functioning normally.	電源異常	販売店または修理受付/アフターサービス窓口へご相談ください。
80h ~ 8Fh	The cooling fan has stopped.	冷却ファン異常	販売店または修理受付/アフターサービス窓口へご相談ください。
90h ~ 9Fh	The monitor's back light unit is not functioning normally.	バックライト異常	販売店または修理受付/アフターサービス窓口へご相談ください。
AOh ~ AFh	The monitor is overheated.	温度異常	販売店または修理受付/アフターサービス窓口へご相談ください。
A2h		センサーがユーザー指定温度に達した *条件：保護設定-ファン制御-冷却ファン = AUTO	OSDメニューの「保護設定」「ファン制御」の条件設定を再確認するか、販売店または修理受付/アフターサービス窓口へご相談ください。
BOh ~ BFh	The monitor doesn't have the input signal.	NO SIGNAL	「困ったとき」の「画面に何も映らない」「電源ランプが青色に点灯または青色以外に点灯もしくは点滅している場合」を参照してください。
D0h	The remaining capacity of the error log decreased.	Proof of Play ログ容量が少なくなっています	外部コマンドを使用して、ログを取得してください。詳細は本取扱説明書の付録「Proof of Play機能」を参照ください。
D1h	The battery for clocks is empty	バッテリーが切れています。	本機を電源コンセントにつなぎ充電してください。OSDメニューの「日付/時刻設定」を設定してください。
EOh ~ EFh	The system error occurred in the monitor.	システムエラー	販売店または修理受付/アフターサービス窓口へご相談ください。

SNMP設定

HOME 画面左側にある SNMP をクリックして設定画面に入ります。

SNMPはネットワークに接続された機器を管理するための情報通信方法です。
SNMPを設定することにより、管理対象の機器の情報取得や設定変更がおこなえます。

バージョン

- SNMP v1 コミュニティ名による平文の認証、Trap 再送確認なし
- SNMP v2c コミュニティ名による平文の認証、Trap 再送確認あり

コミュニティ

初期設定のコミュニティ名はpublicです。値を読むことのみが可能です。コミュニティ名は3つまで設定することができます。

Trap送信

管理対象の機器にエラーが発生した場合、指定されたアドレスにTrap送信をおこなうことができます。

Trap 選択項目	説明	エラーコード
Temperature	温度異常	0xA0, 0xA1, 0xA2
Fan	冷却ファン異常	0x80, 0x81
Power	電源異常	0x70, 0x71, 0x72, 0x78
Inverter/Backlight	バックライト異常	0x90, 0x91
No Signal	NO SIGNAL	0xB0
PROOF OF PLAY	Proof of Play ログ容量の残量減少	0xD0
System Error	システムエラー	0xE0

AMX設定

HOME 画面左側にある AMX をクリックして設定画面に入ります。

AMX BEACON：本機を AMX 社の NetLinx コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX Device Discovery からシステムへのビーコン送信機能の有効 (ENABLE)/無効 (DISABLE) を設定します。

お知らせ

- AMX Device Discoveryは、対応した機器を接続すると自動的に検出し、制御に必要なDevice Discovery ModuleをAMX のサーバからダウンロードする仕組みです。

CRESTRON設定

HOME 画面左側にある CRESTRON をクリックして設定画面に入ります。

ROOMVIEW	コンピューターで制御する場合に設定します。 ON：ROOMVIEWを有効にします。 OFF：ROOMVIEWを無効にします。
CRESTRON CONTROL	コントローラーで制御する場合に設定します。 ON：CRESTRON CONTROLを有効にします。 OFF：CRESTRON CONTROLを無効にします。
CONTROLLER IP ADDRESS	CRESTRON SERVER のIP ADDRESSを設定します。
IP ID	CRESTRON SERVER のIP IDを設定します。

お知らせ

- CRESTRON の項目は、CRESTRON ROOMVIEW を使用する場合に設定します。
CRESTRON ROOMVIEW については、Crestron 社のホームページをご覧ください。
(英語のみ) <http://www.crestron.com>

NAME 設定

HOME 画面左側にある NAME をクリックして設定画面に入ります。

MONITOR NAME	本機の名称を設定します。初期設定はモデル名です。	英数字 最大 16 文字
HOST NAME (CONTROL)	本機のホスト名を設定します。	英数字 最大 15 文字
HOST NAME (MP)	本機のホスト名を設定します。	英数字 最大 15 文字
DOMAIN NAME	本機のドメイン名を設定します。	英数字 最大 60 文字

NETWORK SERVICE 設定

HOME 画面左側にある NETWORK SERVICE をクリックして設定画面に入ります。

PJLink CLASS	使用するPJLink(ピージェイリンク)のクラスを指定します。 お知らせ ● PJLink(ピージェイリンク)とは社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会(略称JBMA)が制定したネットワーク(通信)インターフェイス規格です。 http://pjlink.jbmia.or.jp/index.html 本機は、PJLink class 1, class 2 のすべてのコマンドに対応しています。
NOTIFY FUNCTION ENABLE	ディスプレイのネットワークの変化を通知する機能の有効/無効を設定します。PJLink class 2 で使用する機能です。
NOTIFY ADDRESS	ディスプレイの変化を通知する先のIPアドレスを設定します。PJLink class 2 で使用する機能です。
PJLink PASSWORD	PJLink を使用する場合に、パスワードを設定します。パスワードは最大32文字までの英数字で設定してください。
HTTP PASSWORD	HTTPサーバーを使用する場合に、パスワードを設定します。初期設定は「0000」です。パスワードは最大10文字までの英数字で設定してください。
HTTP PASSWORD ENABLE	HTTPサーバーにログインする際のパスワード入力の有無を設定します。パスワードを入力する際は、USER NAME に本機の名称を設定します。

PD LIST INFORMATION

HOME 画面左側にある PD LIST をクリックして表示画面に入ります。

LAN を使ってマルチ接続(数珠つなぎ)されたディスプレイのモニターID番号とIPアドレスを表示します。親機のみリストが表示できます。

MEMO 設定

HOME 画面左側にある MEMO をクリックして設定画面に入ります。

お好みのタイトルと表示内容を設定できます。

TITLE	最大24文字までの英数字で設定してください。
MESSAGE	最大240文字までの英数字で設定してください。文字は1行に30字まで、9行まで入力できます。
MEMO PASSWORD	初期設定は0000です。
MEMO PASSWORD ENABLE	MEMO 設定時のパスワード入力の有無を設定します。

SD-CARD VIEWER の設定

HOME 画面左側にある SD- CARD VIEWER をクリックして設定画面に入ります。

詳細は本取扱説明書の機能「メディアプレーヤーでできること」内の「共有SDカード設定で画像または動画をコピーする場合」を参照ください。

外部制御

外部機器との接続方法

ディスプレイとコンピューターなどの外部機器との接続方法には、次の2つがあります。

① RS-232C 端子を使用した接続

RS-232C 端子を使用して、ディスプレイとコンピューターを接続します。

② ネットワーク (LAN) 経由での接続

LANケーブルを使用して、ディスプレイとコンピューターを接続します。使用するLANケーブルの種類については、ネットワーク管理者にご確認ください。

接続インターフェース

① RS-232C 端子を使用した接続

通信条件

項目	詳細
プロトコル	RS-232C
ボーレート	9600[bps]
データ長	8[bits]
パリティ	なし
ストップビット	1[bit]
フロー制御	なし

② ネットワーク (LAN) 経由での接続

通信条件(LANによる接続)

項目	詳細
プロトコル	TCP
ポート番号	7142
伝送速度	自動設定 (10/100Mbps)

③ コントロールコマンド

Function (Monitor ID = 1)	Code Data
Power ON	01 30 41 30 41 30 43 02 43 32 30 33 44 36 30 30 30 31 03 73 0d
Power OFF	01 30 41 30 41 30 43 02 43 32 30 33 44 36 30 30 30 34 03 76 0d
Input Source Select DisplayPort1	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 30 46 03 04 0d or 01 30 41 30 45 30 41 02 31 31 30 36 30 30 30 46 03 04 0d
Input Source Select DisplayPort2	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 31 30 03 73 0d or 01 30 41 30 45 30 41 02 31 31 30 36 30 30 31 30 03 73 0d
Input Source Select DVI	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 30 33 03 71 0d or 01 30 41 30 45 30 41 02 31 31 30 36 30 30 30 33 03 71 0d
Input Source Select HDMI1	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 31 31 03 72 0d or 01 30 41 30 45 30 41 02 31 31 30 36 30 30 31 31 03 72 0d
Input Source Select HDMI2	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 31 32 03 71 0d or 01 30 41 30 45 30 41 02 31 31 30 36 30 30 31 32 03 71 0d
Input Source Select VGA(RGB)	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 30 31 03 73 0d
Input Source Select VGA(YPbPr)	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 30 43 03 01 0d
Input Source Select VIDEO	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 30 35 03 77 0d
Input Source Select MP	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 38 37 03 7D 0d or 01 30 41 30 45 30 41 02 31 31 30 36 30 30 38 37 03 7D 0d
Input Source Select OPTION	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 30 44 03 06 0d or 01 30 41 30 45 30 41 02 31 31 30 36 30 30 30 44 03 06 0d
Sound Mute ON	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 38 44 30 30 30 31 03 09 0d
Sound Mute OFF	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 38 44 30 30 30 32 03 0a 0d

その他のコマンドおよびモニターIDを指定して設定した場合は、付属のユーティリティディスク内のExternal_Control_J.pdfをご参照ください。

ASCII コントロールコマンドについて

本機は、External_Control_J.pdfに記載されたコマンドの他に、当社のディスプレイまたはプロジェクターを制御するための共通ASCIIコントロールコマンドに対応しています。

コマンドの詳細は当社ホームページをご覧ください。

本機で使用するパラメーター

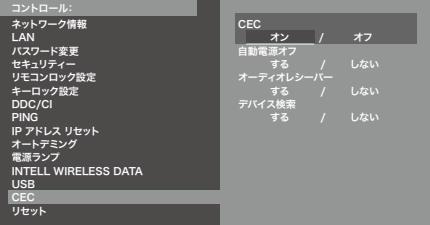
● input コマンド

入力信号名称	レスポンス	パラメーター
DVI	dvi	dvi or dvi 1
HDMI1	hdmi 1	hdmi 1 または hdmi
HDMI2	hdmi2	hdmi2
DisplayPort 1	displayport 1	displayport 1 または displayport
DisplayPort2	displayport2	displayport2
VGA	vga	vga、vga 1、computer、computer 1、rgb または rgb 1
VIDEO	video	video または video 1
MP	mp	mp
OPTION	option	option

● status コマンド

レスポンス	エラー状態
error:temp	温度異常
error:fan	冷却ファン異常
error:light	バックライト異常
error:system	システムエラー

HDMI CEC 対応コマンド

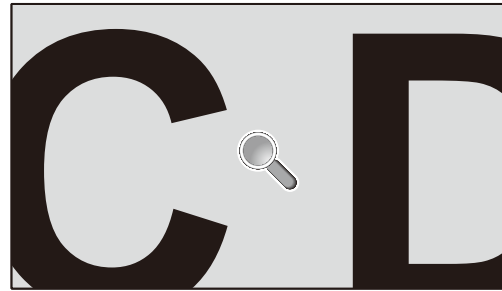
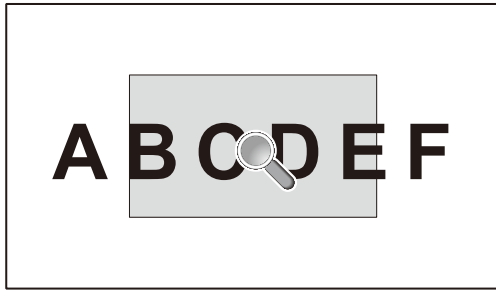
OSD メニュー	HDMI CEC コマンド	動作内容	操作手順
CEC (Consumer Electronics Control)	One Touch Play	HDMI CEC 対応機器の電源をオンにすると、HDMI ケーブルで接続されたディスプレイの電源がオンになります。入力端子が対象の HDMI に自動で切り替わります。ディスプレイの電源が既にオンしている場合は入力端子のみ切り替わります。	 <p>コントロール: ネットワーク情報 LAN パスワード変更 セキュリティ リモコンロック設定 キーロック設定 DDC/CI PING IP アドレス リセット オートテミング 電源オフ INTELL WIRELESS DATA USB CEC リセット</p> <p>CEC オン / オフ 自動電源オフ する / しない オーディオレシーバー する / しない デバイス検索 する / しない</p> <p>CEC メニューの設定は以下の手順でおこないます。 ▲▼ボタンでコントロール→CEC を選び、SET/POINT ZOOM ボタンで CEC を選択します。 ＋ボタンでオンを選び、SET/POINT ZOOM ボタンでオンを選択します。</p>
	Remote Control Pass Through	本体付属のリモコンによるボタン操作等を HDMI ケーブルで接続した HDMI CEC 対応機器に転送することができます。 例) 本体付属のリモコンにて、HDMI CEC 対応機器のメニューの一部を操作します。	
	Power Status	接続されている HDMI CEC 対応デバイスから本体がオン状態にあるかスタンバイ状態にあるかの情報を取得する機能です。	
	System Information	接続されているデバイスの情報 (CEC version, Physical Address 等) を取得する機能です。また本体の OSD 言語を切り替えたら、接続しているデバイスのメニュー言語も追従して切り替わる「Change Language」機能へ対応します。(Change Language 機能は接続されるデバイスが多言語対応している必要があります。)	
自動電源オフ	System Standby	本体付属のリモコンにてディスプレイの電源をオフにすると、HDMI ケーブルで接続された HDMI CEC 対応機器も連動して電源がオフになります。 接続されているレコーダーが TV 番組を録画している等の場合は、ディスプレイからのシステムスタンバイの信号によらず、レコーダーの電源はオン状態のままとなる場合があります。 詳しくは、レコーダーのマニュアルを参照ください。	▲▼ボタンで自動電源オフを選び、SET/POINT ZOOM ボタンで自動電源オフを選択します。 ＋ボタンでするを選び、SET/POINT ZOOM ボタンでするを選択します。
オーディオレシーバー	System Audio Control	HDMI ケーブルを利用してデジタル音声信号を送る機能です。HDMI CEC 対応音声機器を、ディスプレイと HDMI CEC 対応機器の間に HDMI ケーブルで接続してください。本体付属のリモコンにある音量調節プラスボタン (+)、音量調節マイナスボタン (-) を操作することで、HDMI CEC 対応音声機器に接続されているスピーカーの音量を調節することができます。このとき、ディスプレイ内蔵のスピーカーまたは外部スピーカーから音声は出ず、MUTE 状態になります。	▲▼ボタンでオーディオレシーバーを選び、SET/POINT ZOOM ボタンでオーディオレシーバーを選択します。 ＋ボタンでするを選び、SET/POINT ZOOM ボタンでするを選択します。
デバイス検索	Device OSD Name Transfer	接続されているデバイスの名称を取得する機能です。	▲▼ボタンでデバイス検索を選び、SET/POINT ZOOM ボタンでデバイス検索を選択します。 ＋ボタンでするを選び、SET/POINT ZOOM ボタンでするを選択します。
	Routing Control	デバイス検索で表示された名称を選択し、HDMI CEC 操作対象のデバイス入力を切り替える機能です。入力を切り替えた後のリモコン操作は選択したデバイスにのみ転送します。	

本機の CEC 機能は Feature Abort に対応しています。

HDMI CEC 対応機器を本機に接続することをおすすめします。

詳細は本取扱説明書の「接続方法について」を参照ください。

ポイントズーム機能



リモコンのSET/POINT ZOOM ボタンを使って画像の一部を拡大して表示することができます。チャンネル/ズーム調節プラスボタン (CH/ZOOM+)、チャンネル/ズーム調節マイナスボタン (CH/ZOOM-) で拡大、縮小を調節します。1～10倍まで拡大することができます。

- 1 リモコンの [SET/POINT ZOOM] ボタンを押します。アイコンが拡大鏡に変わります。
- 2 [▲]、[▼]、[+]、[-] で拡大したい部分にアイコンを移動します。
- 3 [CH+] を押すとアイコンの位置を中心に画像が拡大します。[CH-] を押すと縮小します。
- 4 [SET/POINT ZOOM] または [EXIT] を押すと、拡大鏡アイコンが消えます。
- 5 [EXIT] を押すと、画像が元のサイズに戻ります。
- 6 [MENU] を押すと OSD メニューを表示します。

お知らせ

- アスペクトのダイナミックと ZOOM は解除され、フルの表示で動作します。ポイントズーム機能解除後は、元の設定に戻ります。
- ポイントズーム機能動作時にアスペクトの設定を変更すると、ダイナミックと ZOOM はフルの表示で動作します。
- 倍率を切り替えると画像が乱れることがあります。
- 以下の機能が設定されている場合、ポイントズーム機能は解除されます。
映像反転でオフ以外を選択した場合、マルチ画面モード、スクリーンセーバー、入力切替のスーパー、テキストティッカー、クローズドキャプション、タイルマトリクス。
- 拡大鏡アイコンは画像が表示されていない部分には移動できません。
- ポイントズーム機能で拡大した表示設定は保存されません。EXIT ボタンを押すと元の表示状態に戻ります。また入力信号を切り替えた場合、ディスプレイの電源をオフした場合、スタンバイ状態から復帰した場合も元の表示に戻ります。
- ポイントズーム機能が動作している場合、スチル機能は使用できません。
- ターミナルモードで HDMI を設定 2 にしている場合と解像度 3840 × 2160 (60Hz) の DisplayPort 信号を入力している場合、ポイントズーム機能は使用できません。

Proof of Play機能

表示状態をセルフチェックし、ネットワークを通じて本機の状態を通知する機能です。
以下のセルフチェックをおこないます。

チェック項目	通知内容
① 選択されている映像入力	DVI, HDMI1, HDMI2, DisplayPort1, DisplayPort2, VGA(RGB/YPbPr), VIDEO, MP, OPTION*
② 入力信号の解像度	(例) (H)1920, (V)1080, (H)1360, (V)768 or No signal or Invalid signal
③ 選択されているオーディオ入力	IN1, IN2, HDMI1, HDMI2, DisplayPort1, DisplayPort2, OPTION(analog)*, OPTION(digital)*, MP
④ 入力されているオーディオ信号の有無	Audio in or No Audio in or N/A (IN1, IN2), OPTION(analog)*
⑤ 映像の出力状態	Normal Picture or No Picture
⑥ オーディオの出力状態	Normal Audio or No Audio
⑦ 年月日時間	年/月/日/時間(h)/分(m)/秒(S)
⑧ EXPANSION DATA	00h: Normal Proof of Play event 01h: Proof of Play event is "last power on time" 10h: MEDIA PALYER is stop 11h: MEDIA PLAYER is start 12h: MEDIA PLAYER is pause 13h: MEDIA PLAYER error occur 20h: Contents Copy from USB 21h: Contents Copy form network folder 30h: Contents Copy Success 31h: Contents Copy Error (No media) 32h: Contents Copy Error (Connect error) 33h: Contents Copy Error (Out of disk space) 34h: Contents Copy Error (Read/Write error) 40h: Human detected (Human sensor Status) 41h: Human detect cleared (Human Sensor Status)

* 対応するオプションボード装着時のみ切り替わります。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

通知メッセージ例

- ① HDMI1
- ② 1920 x 1080
- ③ HDMI1
- ④ IN1
- ⑤ Normal Picture
- ⑥ Normal Audio
- ⑦ 2014/1/1/0h/0m/0s
- ⑧ 10h: MEDIA PALYER is stop

※詳しくは付属のユーティリティディスク内のExternal_Control_J.pdf仕様書をご参照ください。

Intelligent Wireless Data機能

本機の主電源が入っていない場合でも、スマートフォンを使用してディスプレイの設定を把握することができます。
OSDメニューの項目によっては、スマートフォンを使用して設定を変更することができます。

お知らせ

- 本機の無線通信センサー位置については、本取扱説明書の「各部の名称」を参照ください。
- 専用アプリケーションが必要です。使用方法はアプリケーションの取扱説明書を参照してください。本機能については販売店へお問い合わせください。
- ISO15693に対応しています。

最初にパスワードを設定します。
初期設定は「0000」です。

Function name
Setting Copy
Setting read and write function
Display information
Security Setting

PIP(Picture in picture)機能の親画面と子画面の制限

① DisplayPort = 1.1a / HDMI = 設定1

	端子	子画面												
		DisplayPort1	DisplayPort2	DVI	HDMI1	HDMI2	VGA(RGB)	VGA(YPbPr)	VIDEO	OPTION		MP		
		DisplayPort IN1	DisplayPort IN2	DVI-D	HDMI IN1	HDMI IN2	VGA(RGB, YPbPr)		VIDEO IN	Option board slot (SLOT2(DP))	Option board slot (SLOT2(HDMI))	-		
親画面	DisplayPort1	DisplayPort IN1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	DisplayPort2	DisplayPort IN2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	DVI	DVI-D	○	○	○	-	○	○	-	○	-	○	-	-
	HDMI1	HDMI IN1	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	-	-
	HDMI2	HDMI IN2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	VGA(RGB)	VGA(RGB, YPbPr)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	VGA(YPbPr)		○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	VIDEO	VIDEO IN	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-
	OPTION	Option board slot(SLOT2(DP))	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		Option board slot(SLOT2(HDMI))	○	○	-	-	○	○	○	-	○	○	○	-
MP	-	○	○	-	-	○	○	-	○	-	○	-	○	

② DisplayPort = 1.1a / HDMI = 設定2

	端子	子画面											
		DisplayPort1	DisplayPort2	DVI	HDMI1	HDMI2	VGA(RGB)	VGA(YPbPr)	VIDEO	OPTION		MP	
		DisplayPort IN1	DisplayPort IN2	DVI-D	HDMI IN1	HDMI IN2	VGA(RGB, YPbPr)		VIDEO IN	Option board slot (SLOT2(DP))	Option board slot (SLOT2(HDMI))	-	
親画面	DisplayPort1	DisplayPort IN1	○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	○
	DisplayPort2	DisplayPort IN2	○	○	○	-	-	○	○	○	○	-	○
	DVI	DVI-D	○	○	○	-	-	○	○	-	○	-	-
	HDMI1	HDMI IN1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	HDMI2	HDMI IN2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VGA(RGB)	VGA(RGB, YPbPr)	○	○	○	-	-	○	-	○	○	-	○
	VGA(YPbPr)		○	○	○	-	-	-	○	○	○	-	○
	VIDEO	VIDEO IN	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	-
	OPTION	Option board slot(SLOT2(DP))	-	○	○	-	-	○	○	○	○	-	○
		Option board slot(SLOT2(HDMI))	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
MP	-	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-	○	

③ DisplayPort = 1.2 / HDMI = 設定1

	端子	子画面											
		DisplayPort1	DisplayPort2	DVI	HDMI1	HDMI2	VGA(RGB)	VGA(YPbPr)	VIDEO	OPTION		MP	
		DisplayPort IN1	DisplayPort IN2	DVI-D	HDMI IN1	HDMI IN2	VGA(RGB, YPbPr)		VIDEO IN	Option board slot (SLOT2(DP))	Option board slot (SLOT2(HDMI))	-	
親画面	DisplayPort1	DisplayPort IN1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	DisplayPort2	DisplayPort IN2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	DVI	DVI-D	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-
	HDMI1	HDMI IN1	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-
	HDMI2	HDMI IN2	-	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○
	VGA(RGB)	VGA(RGB, YPbPr)	-	-	○	○	○	-	○	-	○	○	○
	VGA(YPbPr)		-	-	○	○	○	-	○	-	○	○	○
	VIDEO	VIDEO IN	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-
	OPTION	Option board slot(SLOT2(DP))	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Option board slot(SLOT2(HDMI))	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-
MP	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	

④ DisplayPort = 1.2 / HDMI = 設定2

	端子	子画面												
		DisplayPort1	DisplayPort2	DVI	HDMI1	HDMI2	VGA(RGB)	VGA(YPbPr)	VIDEO	OPTION		MP		
		DisplayPort IN1	DisplayPort IN2	DVI-D	HDMI IN1	HDMI IN2	VGA(RGB, YPbPr)		VIDEO IN	Option board slot (SLOT2(DP))	Option board slot (SLOT2(HDMI))	-		
親画面	DisplayPort1	DisplayPort IN1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	DisplayPort2	DisplayPort IN2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	DVI	DVI-D	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
	HDMI1	HDMI IN1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	HDMI2	HDMI IN2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VGA(RGB)	VGA(RGB, YPbPr)	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	○
	VGA(YPbPr)		-	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	○
	VIDEO	VIDEO IN	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-
	OPTION	Option board slot(SLOT2(DP))	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		Option board slot(SLOT2(HDMI))	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
MP	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	

映像出力

親画面	DisplayPort1	DisplayPort2	DVI	HDMI1	HDMI2	VGA(RGB)	VGA(YPbPr)	VIDEO	OPTION		MP
端子	DisplayPort IN1	DisplayPort IN2	DVI-D	HDMI IN1	HDMI IN2	VGA(RGB, YPbPr)		VIDEO IN	Option board slot (SLOT2(DP))	Option board slot (SLOT2(HDMI))	-
映像出力	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-

DisplayPort 出力コネクタから映像出力する際は、入力 [OSDメニュー]→[入力]を DisplayPort 1 または OPTION に設定してください。

本機の映像出力機能は HDCP で保護された映像コンテンツに対応しています。その場合のマルチ接続は最大3台までとなります。

OPTION を使用する場合はスロット2 CH設定 [OSDメニュー]→[オプション]→[スロット2CH設定]を1CHに設定し、スロット2CH選択 [OSDメニュー]→[オプション]→[スロット2CH選択]を DisplayPort に設定してください。

お知らせ

- スロット2タイプオプションのうち、DisplayPort 出力コネクタから映像出力できるのは DisplayPort 信号出力をもつオプションのみとなります。

用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

DDC 2B規格(Display Data Channel) P38

VESAが提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DDC/CI規格(Display Data Channel Command Interface) P54

ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。

DisplayPort P7, 15, 24

VESAが提唱するデジタルインターフェース標準です。主にコンピューターからの映像、音声信号を1本のケーブルで受信することが可能です。

DPM (Display Power Management) P26

VESAが提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPMでは、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

DVI-D端子(Digital Visual Interface - Digital) P22, 23

デジタル入力のみに対応しているDVI端子です。

HDCP(High-Bandwidth Digital Content Protection) P83~87

デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。HDCPに対応した映像機器を接続することにより、HDCPで保護された映像コンテンツを視聴することができます。HDCPの規格は、Digital Content Protection, LLCという団体によって、策定・管理されています。ただし、HDCPの規格変更などがおこなわれた場合、本機が故障していなくても、デジタル入力信号の映像が表示されないことがあります。

HDMI(High-Definition Multimedia Interface) P7, 15, 24

デジタル映像・音声入出力の規格です。1本のケーブルで映像・音声・制御信号の送受信が可能です。デジタル信号をアナログ変換する必要が無いため高画質な映像とデジタル音声が楽しめます。

Plug&Play P38

Windows®で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

sRGB規格 P36

IEC (International Electrotechnical Commission) により規定された色再現国際規格です。sRGB対応のディスプレイなら、ネットワーク上でどのディスプレイでも色調を揃えることができる規格で、対応プリンター、スキャナー、デジタルカメラなどとの色合わせもしやすくなります。

VESA規格(Video Electronics Standards Association) P10, 11, 26, 38

ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

位相 P41

アナログ信号をきれいに表示するための調節項目の1つです。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

インターレース P43

1つの画面(フレーム)の表示を1行おきに描く(走査する)方式です。テレビのような動きのある画面を表示するときには、この方式を使用できますが、静止画を表示するには、画面のちらつきが目立ち不向きです。そのため、コンピューターのディスプレイでは、ほとんどのものが、すべての行を走査するプログレッシブ方式(ノンインターレース)を採用し、静止画のちらつきを抑えています。

応答速度 P83~87

表示している画面を変化させたときの画面の切り替わりの速さ(追従性)のことで、数値が小さいほど応答速度は速くなります。

オプション用スロット P16

追加オプション用スロットです。スロット2、スロット3タイプ対応のオプションボードが装着できます。対応可能なオプションボードについては販売店にお問い合わせください。

輝度 P83~87

単位面積あたりの明るさを示す度合いのことで、数値が高いほど表示画面が明るくなります。

コントラスト比 P83~87

白と黒の明るさの比率を示す比率のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

コンポーネント映像 P22

映像信号を輝度信号(Y)と、色系統信号(赤系(Pb) / 青系(Pr))に分けて送り、受け側の表示機器で画面に映すときに合成して映像にします。輝度信号と色系統信号が分けて送られるため、従来のアナログテレビ放送などで発生しやすい、不要な色付きや色にじみなど画質の悪化を抑えることができます。

残像

P6

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象です。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

視野角

P83~87

斜めから見た場合など、正常な画像が見られる角度のことで、数値が大きいほど広い範囲から画像が見られます。

水平周波数／垂直周波数

P23, 83~87

水平周波数：1秒間に表示される水平線の数のことで、水平周波数31.5kHzの場合、1秒間に水平線を31,500回表示するということです。

垂直周波数：1秒間に画面を何回書き換えているかを表します。垂直周波数が60Hzの場合、1秒間に画面を60回書き換えているということです。

スクイーズ信号

P27

DVDやBSデジタルチューナーなどの横と縦の比が16：9の映像を、横方向に圧縮して4：3の画面のアスペクトで記録した映像信号。

デインターレース

P43

走査方式を、インターレース方式から、プログレッシブ方式に変換することです。

ノイズリダクション

P43

TVアンテナの受信状態が悪い場合などの映像の細かいざらつき(ノイズ)を低減します。

パワーマネージメント機能

P26

コンピューターの消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない(一定時間以上キー入力がないなど)場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

表示画素数／解像度

P23, 83~87

一般的には「解像度」と呼ばれています。1画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が大きいほど多くの情報量を表示することができます。

プログレッシブ

P43

1つの画面を1回の走査で表示する方式です。上から順に走査して全画素を表示していく方式で順次走査方式とも呼ばれます。インターレースに比べると、画面のちらつき感の少ない、きれいな映像を見ることができます。ノンインターレースとも言われます。

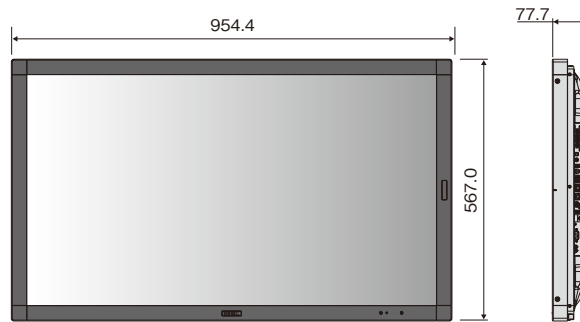
仕様

V404-T

サイズ(表示サイズ)	40型 (101.61cm) (対角)		
液晶方式	アクティブマトリクス方式カラー TFT液晶		
有効表示領域	885.6×498.15mm		
表示画素数	1920×1080		
画素ピッチ	0.461mm		
表示色	約10億7374万色		
視野角(標準値)	左右178°、上下178° (コントラスト比10)		
輝度	300cd/m ² (工場出荷設定標準値) 440cd/m ² (最大値) (周囲温度25℃)		
コントラスト比(標準値)	4000 : 1		
応答速度(標準値)	8ms (G to G)		
走査周波数	水平周波数		15.625/15.734/31.5-91.1kHz
	垂直周波数		50~85Hz(50/60Hzフレームロック) (アナログ)、24~85Hz(50/60Hzフレームロック) (デジタル)
入力端子	DVI	DVI-D 24ピン	デジタルRGB信号 DVI規格T.M.D.S準拠 HDCP 1.4 VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60 ^{*2} , 1920×1080(60Hz), 1125p(1080p), 1125i(1080i)
	DisplayPort	DisplayPort コネクター	デジタルRGB信号 DisplayPort規格 Ver1.2準拠 HDCP 1.3 VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60 ^{*2} , WUXGA60 ^{*2} , 1920×1080(60Hz), 1125p(1080p), 1125i(1080i), 750p(720p) : 50Hz/60Hz, 525p(480p) : 60Hz, 625p(576p) : 50Hz, 3840×2160(24Hz/30Hz/60Hz(DisplayPort 1.2)) ^{*2*3}
	HDMI	HDMI コネクター	デジタル色差信号 デジタルRGB信号 HDMI HDCP 1.4/2.2 VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60 ^{*2} , WUXGA60 ^{*2} , 1920×1080(60Hz), 1125p(1080p), 1125i(1080i), 750p(720p) : 50Hz/60Hz, 525p(480p) : 60Hz, 625p(576p) : 50Hz, 525i(480i):60Hz, 625i(576i): 50Hz, 3840×2160(24Hz/25Hz/30Hz/60Hz(設定2)) ^{*2*3} , 4096×2160(24Hz) ^{*2*3}
	VGA(RGB) ^{*4}	ミニD-Sub15ピン	アナログRGB信号 RGB : 0.7Vp-p/75Ω VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60 ^{*2} , WUXGA60 ^{*2} , 1920×1080(60Hz)
	VGA(YPbPr) ^{*4}	ミニD-Sub15ピン	同期信号 セパレート同期信号 : TTLレベル 正/負極性 シンクオングリーン : 0.3Vp-p/75Ω 負極性
	VIDEO ^{*4}	RCA端子×1	コンポジット信号 輝度信号Y : 1.0Vp-p/75Ω, 色差信号Cb/Cr (Pb/Pr) : 0.7Vp-p/75Ω HDTV/DVD : 1125p(1080p), 1125i(1080i), 750p(720p) : 50Hz/60Hz, 525p(480p), 525i(480i) : 60Hz, 625p(576p), 625i(576i) : 50Hz
出力端子	DisplayPort	DisplayPortコネクター	デジタルRGB信号 DisplayPort規格 Ver1.2準拠 HDCP 1.3
音声端子	オーディオ入力	3.5φステレオミニジャック×1	アナログ音声信号 ステレオ L/R 0.5Vrms
		DisplayPort コネクター	デジタル音声信号 PCM 32, 44.1, 48KHz (16, 20, 24bit)
		HDMI コネクター	デジタル音声信号 PCM 32, 44.1, 48KHz (16, 20, 24bit)
	オーディオ出力	3.5φステレオミニジャック×1	音声信号 入力選択された信号を出力 : ステレオ L/R 0.5Vrms
音声出力	外部スピーカー端子8Ω、音声出力15W+15W(実用最大出力) 内蔵スピーカー : 10W+10W(ステレオ)		
制御信号	制御入力コネクター		D-SUB9ピン(RS-232C)×1
	LANポート		RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX×2
	リモコン入力コネクター		3.5φステレオミニジャック×1
microSDカードスロット		microSDカードスロット×1 microSDHC 32GBまで対応	
USBポート	USB1		USB2.0 ダウンストリームポート
	USB2		USB2.0 アップストリームポート
	USB CM1(2A)		電力供給用 供給電力 : 5V/2A
	USB CM2		メンテナンス用
	USB MP		メディアプレーヤー用
使用環境条件	温度	0~35℃	
	湿度	20~80% (結露のないこと)	
	高度	3000m	
保管環境条件	温度	-20~60℃	
	湿度	10~90% (結露のないこと)	
電源	電源入力		AC100V、50/60Hz
	消費電力 (オプション非使用時)	標準	75W ^{*1}
		パワーセーブ時	3.0W以下
		スタンバイ時	0.5W以下 ^{*1}
スロット2タイプオプション供給電力		16V / 3.6A	
質量	約22.7kg		
検出方式	赤外線走査方式		
OS	Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10		
マルチタッチ	Windows7以降使用時において最大10点(使用状況によって制限あり)		
接続端子	USB2.0コネクター		
保護ガラス	材質		強化ガラス
	厚さ		4.0mm
	表面処理(反射防止)		AGコーティング
	透過率		≥ 88%
	外光反射率		≤ 6.5%
	表面硬度		6H
ガラス強度 ^{*5}		130cm	

外形寸法(突起部を除く)

- ※1 工場出荷時の設定条件
- ※2 簡易圧縮表示
- ※3 表示される文字が不鮮明になる場合があります
- ※4 共用端子
- ※5 本装置画面中央に500gの鉄球を落としても割れない距離の目安



仕様は予告なしに変更することがあります。

寸法:mm

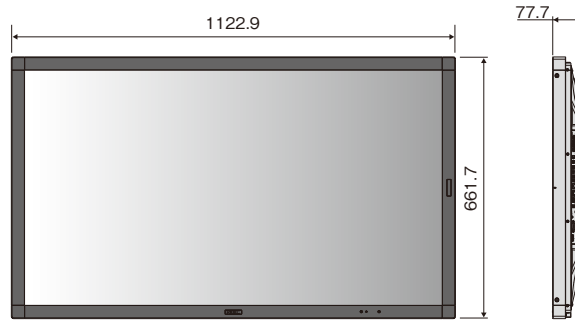
仕様

V484-T

サイズ(表示サイズ)	48型 (120.94cm) (対角)		
液晶方式	アクティブマトリクス方式カラー TFT液晶		
有効表示領域	1054.08×592.92mm		
表示画素数	1920×1080		
画素ピッチ	0.549mm		
表示色	約10億7374万色		
視野角(標準値)	左右178°、上下178° (コントラスト比10)		
輝度	300cd/m ² (工場出荷設定標準値) 440cd/m ² (最大値) (周囲温度25℃)		
コントラスト比(標準値)	4000 : 1		
応答速度(標準値)	8ms (G to G)		
走査周波数	水平周波数		15.625/15.734/31.5-91.1kHz
	垂直周波数		50~85Hz(50/60Hzフレームロック) (アナログ)、24~85Hz(50/60Hzフレームロック) (デジタル)
入力端子	DVI	DVI-D 24ピン	デジタルRGB信号 DVI規格T.M.D.S準拠 HDCP 1.4 VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60 ^{*2} , 1920×1080(60Hz), 1125p(1080p), 1125i(1080i)
	DisplayPort	DisplayPort コネクター	デジタルRGB信号 DisplayPort規格 Ver1.2準拠 HDCP 1.3 VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60 ^{*2} , WUXGA60 ^{*2} , 1920×1080(60Hz), 1125p(1080p), 1125i(1080i), 750p(720p) : 50Hz/60Hz, 525p(480p) : 60Hz, 625p(576p) : 50Hz, 3840×2160(24Hz/30Hz/60Hz(DisplayPort 1.2)) ^{*2*3}
	HDMI	HDMI コネクター	デジタル色差信号 デジタルRGB信号 HDMI HDCP 1.4/2.2 VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60 ^{*2} , WUXGA60 ^{*2} , 1920×1080(60Hz), 1125p(1080p), 1125i(1080i), 750p(720p) : 50Hz/60Hz, 525p(480p) : 60Hz, 625p(576p) : 50Hz, 625i(480i):60Hz, 625i(576i): 50Hz, 3840×2160(24Hz/25Hz/30Hz/60Hz(設定2)) ^{*2*3} , 4096×2160(24Hz) ^{*2*3}
	VGA(RGB) ^{*4}	ミニD-Sub15ピン	アナログRGB信号 RGB : 0.7Vp-p/75Ω VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60 ^{*2} , WUXGA60 ^{*2} , 1920×1080(60Hz)
	VGA(YPbPr) ^{*4}	ミニD-Sub15ピン	同期信号 セパレート同期信号 : TTLレベル 正/負極性 シンクオングリーン : 0.3Vp-p/75Ω 負極性
	VIDEO ^{*4}	RCA端子×1	色差信号 輝度信号Y : 1.0Vp-p/75Ω, 色差信号Cb/Cr (Pb/Pr) : 0.7Vp-p/75Ω HDTV/DVD : 1125p(1080p), 1125i(1080i), 750p(720p) : 50Hz/60Hz, 525p(480p), 525i(480i) : 60Hz, 625p(576p), 625i(576i) : 50Hz
出力端子	DisplayPort	DisplayPortコネクター	デジタルRGB信号 DisplayPort規格 Ver1.2準拠 HDCP 1.3
音声端子	オーディオ入力	3.5φステレオミニジャック×1	アナログ音声信号 ステレオ L/R 0.5Vrms
		DisplayPort コネクター	デジタル音声信号 PCM 32, 44.1, 48KHz (16, 20, 24bit)
		HDMI コネクター	デジタル音声信号 PCM 32, 44.1, 48KHz (16, 20, 24bit)
	オーディオ出力	3.5φステレオミニジャック×1	音声信号 入力選択された信号を出力 : ステレオ L/R 0.5Vrms
音声出力	外部スピーカー端子 8Ω、音声出力 15W+15W (実用最大出力) 内蔵スピーカー : 10W + 10W(ステレオ)		
制御信号	制御入力コネクター		D-SUB9ピン(RS-232C) × 1
	LANポート		RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX × 2
	リモコン入力コネクター		3.5φステレオミニジャック × 1
microSDカードスロット	microSDカードスロット×1 microSDHC 32GBまで対応		
USBポート	USB1	USB2.0 ダウンストリームポート	
	USB2	USB2.0 アップストリームポート	
	USB CM1 (2A)	電力供給用 供給電力 : 5V/2A	
	USB CM2	メンテナンス用	
	USB MP	メディアプレーヤー用	
使用環境条件	温度	0 ~ 35℃	
	湿度	20~80% (結露のないこと)	
	高度	3000m	
保管環境条件	温度	-20~60℃	
	湿度	10~90% (結露のないこと)	
電源	電源入力	AC100V、50/60Hz	
	消費電力 (オプション非使用時)	標準	85W ^{*1}
		パワーセーブ時	3.0W以下
		スタンバイ時	0.5W以下 ^{*1}
スロット2タイプオプション供給電力	16V / 3.6A		
質量	約28.5kg		
検出方式	赤外線走査方式		
OS	Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10		
マルチタッチ	Windows 7以降使用時において最大10点(使用状況によって制限あり)		
接続端子	USB2.0コネクター		
保護ガラス	材質	強化ガラス	
	厚さ	4.0mm	
	表面処理(反射防止)	AGコーティング	
	透過率	≥ 88%	
	外光反射率	≤ 6.5%	
	表面硬度	6H	
ガラス強度 ^{*5}	130cm		

外形寸法(突起部を除く)

- ※1 工場出荷時の設定条件
- ※2 簡易圧縮表示
- ※3 表示される文字が不鮮明になる場合があります
- ※4 共用端子
- ※5 本装置画面中央に500gの鉄球を落としても割れない距離の目安



仕様は予告なしに変更することがあります。

寸法:mm

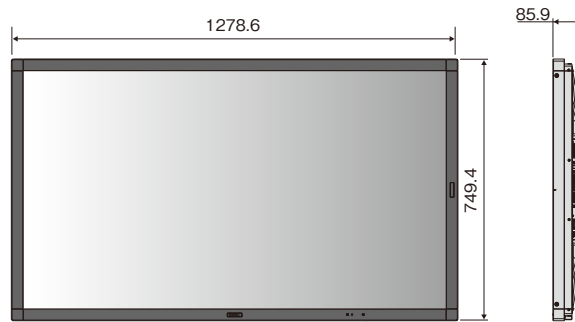
仕様

V554-T

サイズ(表示サイズ)	55型 (138.78cm) (対角)			
液晶方式	アクティブマトリクス方式カラー TFT液晶			
有効表示領域	1209.6×680.4mm			
表示画素数	1920×1080			
画素ピッチ	0.630mm			
表示色	約10億7374万色			
視野角(標準値)	左右178°、上下178° (コントラスト比10)			
輝度	300cd/m ² (工場出荷設定標準値) 440cd/m ² (最大値) (周囲温度25℃)			
コントラスト比(標準値)	1200 : 1			
応答速度(標準値)	8ms (G to G)			
走査周波数	水平周波数		15.625/15.734/31.5-91.1kHz	
	垂直周波数		50~85Hz(50/60Hzフレームロック) (アナログ)、24~85Hz(50/60Hzフレームロック) (デジタル)	
入力端子	DVI	DVI-D 24ピン	デジタルRGB信号 DVI規格T.M.D.S準拠 HDCP 1.4 VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60 ^{*2} , 1920×1080(60Hz), 1125p(1080p), 1125i(1080i)	
	DisplayPort	DisplayPort コネクター	デジタルRGB信号 DisplayPort規格 Ver1.2準拠 HDCP 1.3 VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60 ^{*2} , WUXGA60 ^{*2} , 1920×1080(60Hz), 1125p(1080p), 1125i(1080i), 750p(720p) : 50Hz/60Hz, 525p(480p) : 60Hz, 625p(576p) : 50Hz, 3840×2160(24Hz/30Hz/60Hz(DisplayPort 1.2)) ^{*2*3}	
	HDMI	HDMI コネクター	デジタル色差信号 デジタルRGB信号 HDMI HDCP 1.4/2.2 VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60 ^{*2} , WUXGA60 ^{*2} , 1920×1080(60Hz), 1125p(1080p), 1125i(1080i), 750p(720p) : 50Hz/60Hz, 525p(480p) : 60Hz, 625p(576p) : 50Hz, 525i(480i):60Hz, 625i(576i): 50Hz, 3840×2160(24Hz/25Hz/30Hz/60Hz(設定2)) ^{*2*3} , 4096×2160(24Hz) ^{*2*3}	
	VGA(RGB) ^{*4}	ミニD-Sub15ピン	アナログRGB信号 RGB : 0.7Vp-p/75Ω VGA60, SVGA60, XGA60, WXGA60, SXGA60, UXGA60 ^{*2} , WUXGA60 ^{*2} , 1920×1080(60Hz)	
	VGA(YPbPr) ^{*4}	ミニD-Sub15ピン	同期信号 セパレート同期信号 : TTLレベル 正/負極性 シンクオングリーン : 0.3Vp-p/75Ω 負極性	
	VIDEO ^{*4}	RCA端子×1	色差信号 輝度信号Y : 1.0Vp-p/75Ω, 色差信号Cb/Cr (Pb/Pr) : 0.7Vp-p/75Ω HDTV/DVD : 1125p(1080p), 1125i(1080i), 750p(720p) : 50Hz/60Hz, 525p(480p), 525i(480i) : 60Hz, 625p(576p), 625i(576i) : 50Hz	
出力端子	DisplayPort	DisplayPortコネクター	デジタルRGB信号 DisplayPort規格 Ver1.2準拠 HDCP 1.3	
	音声端子	オーディオ入力	3.5φステレオミニジャック×1 アナログ音声信号 ステレオ L/R 0.5Vrms	
			DisplayPort コネクター	デジタル音声信号 PCM 32, 44.1, 48KHz (16, 20, 24bit)
			HDMI コネクター	デジタル音声信号 PCM 32, 44.1, 48KHz (16, 20, 24bit)
	オーディオ出力	3.5φステレオミニジャック×1 音声信号 入力選択された信号を出力 : ステレオ L/R 0.5Vrms		
音声出力	外部スピーカー端子 8Ω、音声出力 15W+15W (実用最大出力) 内蔵スピーカー : 10W + 10W(ステレオ)			
制御信号	制御入力コネクター	D-SUB9ピン(RS-232C) × 1		
	LANポート	RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX × 2		
	リモコン入力コネクター	3.5φステレオミニジャック × 1		
microSDカードスロット	microSDカードスロット×1 microSDHC 32GBまで対応			
USBポート	USB1	USB2.0 ダウンストリームポート		
	USB2	USB2.0 アップストリームポート		
	USB CM1 (2A)	電力供給用 供給電力 : 5V/2A		
	USB CM2	メンテナンス用		
	USB MP	メディアプレーヤー用		
使用環境条件	温度	0 ~ 35℃		
	湿度	20~80% (結露のないこと)		
	高度	3000m		
保管環境条件	温度	-20~60℃		
	湿度	10~90% (結露のないこと)		
電源	電源入力	AC100V、50/60Hz		
	消費電力 (オプション非使用時)	標準	110W ^{*1}	
		パワーセーブ時	3.0W以下	
		スタンバイ時	0.5W以下 ^{*1}	
スロット2タイプオプション供給電力	16V / 3.6A			
質量	約39.0kg			
検出方式	赤外線走査方式			
OS	Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10			
マルチタッチ	Windows 7以降使用時において最大10点(使用状況によって制限あり)			
接続端子	USB2.0コネクター			
保護ガラス	材質	強化ガラス		
	厚さ	4.0mm		
	表面処理(反射防止)	AGコーティング		
	透過率	≥ 88%		
	外光反射率	≤ 6.5%		
	表面硬度	6H		
ガラス強度 ^{*5}	130cm			

外形寸法(突起部を除く)

- ※1 工場出荷時の設定条件
- ※2 簡易圧縮表示
- ※3 表示される文字が不鮮明になる場合があります
- ※4 共用端子
- ※5 本装置画面中央に500gの鉄球を落としても割れない距離の目安



仕様は予告なしに変更することがあります。

寸法:mm

[お知らせ]本製品で使用している MPEG-4 AVC、MPEG-4 Visual ライセンスについて

1. MPEG-4 AVC

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

2. MPEG-4 Visual

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com).